

形に沿うように沈線が3条並走する。

## 6 縄文時代中期の遺構と遺物

縄文時代中期の主要な遺構は地形に関わり、低位に位置する調査区東側ではみられず、より高位にある調査区西側に展開する。縄文時代中期の様相は堅穴住居を中心とする集落の居住域を構成する遺構群と配石遺構など祭祀的な意味合いで構築された遺構群からなる。なお、遺構には、調査中略号を使用したが、本稿では縄文住居1~62と表記し、念のため調査時略号も併記している。出土遺物は堅穴住居より多くの土器・石器が出土した。

### (1) 堅 穴 住 居

縄文時代中期の堅穴住居は掘り込みを伴い、床面には地床炉や石囲炉を有するものが大半である。堅穴住居の密度は高く、縄文時代中期の間でも時期差があることを示唆している。遺構検出面はⅦ層上面であり、Ⅷ層がすでに失われていたより高位面の西端についてはⅨ層より下位の面で検出している。しかし、削平面であるにも関わらず中期の堅穴住居はある程度埋土が残存していることを考えると、調査区西端高位面において黒ボクに相当するⅦ層があまり厚く堆積していなかったことを物語っている。埋土の観察によれば、ほぼ全ての堅穴住居が自然堆積であり、故意に埋め戻された様相を呈する住居は認められない。一部焼失した住居もあったが建築部材を特定し上屋を復元することはできなかつた。

(福島)

#### 縄文住居1 (第130図、写真図版100) SI406

古代の遺構調査中、検出した石囲炉である。不揃いの亜角礫が円を描くように巡るが、西側は欠落している。石囲炉北側に接して土器が埋設されていた。土器は地文のみであるが、下膨れの器形から中期後葉～末葉の深鉢であると考えられる。遺構の帰属時期もこの時期であると思われる。

#### 縄文住居2 (第130図、写真図版101) SI407

古代の遺構調査中、石囲炉を検出した。住居は平面円形基調であると考えられるが、住居大半は調査区外西側へ続く。埋土は自然堆積である。石囲炉は古代の住居によって擾乱されている。少量の縄文土器が出土した。遺物・遺構面からみて縄文時代中期の堅穴住居であると考えられる。

(中村)

#### 縄文住居3 (第131図、写真図版102) SI419

平面梢円形の小規模な住居である。石囲炉があるが、石は散在しており、乱れている。少量の縄文土器が出土した。縄文時代中期後葉の住居であると考えられる。

(船渡)

#### 縄文住居4 (第131図、写真図版103) SI425

古代の遺構の調査中に検出した。円形を基調とする堅穴住居であると思われる。床面にはやや掘り窪めた地床炉が認められる。被熱が非常に顕著であり、赤化のみならず硬化も著しい。埋土や床面から縄文土器や土製品が出土した。土器は大木10式のもので占められ、当該期の堅穴住居であろう。

(川村)

#### 縄文住居5 (第131図、写真図版103) SI435

調査区西側の最も高位面で検出された。検出面が大きく削平を受けており、石囲炉の残骸がわずか

に残存する。残存状況が良くないため平面形態や規模が判断できない。縄文時代中期の可能性が高い。

(船渡)

#### 縄文住居6 (第132図、写真図版105) SI437

平面円形の竪穴住居である。縄文住居5 (SI425) に切られる。床面にはやや掘り窪めた地床炉が認められる。埋土から縄文時代中期の土器が少量出土したが、詳細な時期は不明である。

(川村)

#### 縄文住居7 (第133図、写真図版106) SI482

平面梢円形の住居である。床面と考えられる焼土粒が薄く分布する平坦面と、少量の暗褐色シルトを含む梢円形のプランを認めたため、竪穴住居と想定した。埋土より縄文土器が出土した。縄文土器は大木9~10a式であり、中期末葉の住居であると考えられる。

#### 縄文住居8 (第133図、写真図版107) SI483

平面円形の竪穴住居であり、縄文住居4 (SI425) に切られる。床面北側には地床炉が認められる。大木9式~10a式の土器が定量出土した。このことから縄文時代中期後葉から末葉頃の住居であると考えられる。

(中村)

#### 縄文住居9 (第134図、写真図版107) SI484

平面円形基調であると考えられるが、大半が調査区外北へ続く。暗褐色シルトの埋土であるが、遺物は少量限定的である。詳細な時期は不明であるが、検出面から縄文時代中期の可能性が考えられる。

(福島)

#### 縄文住居10 (第134図、写真図版108) SI485

平面円~梢円形の竪穴住居である。床面中央やや南寄りの位置で土器埋設炉を検出した。焼土部分は土抗状に掘り窪められている。焼土の周囲に石組は認められないが、焼土南辺にのみ一個の炉石が認められ、その下面に土器 (D107) が埋設されていた。埋土や床面から土器が定量出土した。中には赤色顔料容器とみられる特殊な土器も含まれる。出土遺物から縄文時代中期後葉から末葉に位置付けられる住居であると考えられる。

#### 縄文住居11 (第135図、写真図版109) SI486

平面梢円形の住居である。床面ほぼ中央に2箇所の連なる焼土が検出された。2基の焼土は外縁部で接しているため、上面からの観察では8の字形に焼土が形成されている。いずれの焼土も中央部は浅くレンズ状に凹む形状であった。これを取り囲む石組は存在しなかつたが、焼土西側縁辺部に限定し、一つの板状礫が立てられた状態で設置されていた。本来は複式炉として方形基調の石組が存在した可能性が考えられる。埋土から縄文時代中期の土器が少量出土した。出土した土器より縄文時代中期後葉の住居であると思われる。

#### 縄文住居12 (第135図、写真図版110) SI487

遺構の大半は縄文住居13 (SI488) によって切られているが、円形あるいは多角形を基調とする平面形態の住居であるとみられる。埋土からわずかに土器が出土しており、大木8b式に相当すると思われ、縄文時代中期中葉の竪穴住居であると考えられる。

#### 縄文住居13 (第136図、写真図版110) SI488

平面略円形の竪穴住居である。上面に集石を伴う集石15の下部土坑 (SK485) に切られている。床

面は締まり、中央南寄りで地床炉を検出した。炉の中央は浅くレンズ状に掘り窪められていた。埋土より少量の土器が出土した。土器は縄文時代中期後葉であるとみられ、遺構間の切り合い関係とも矛盾しない。

(中村)

**縄文住居14（第137図、写真図版111）SI489**

平面略台形の竪穴住居である。床面中央東寄りには小規模な焼土が認められる。埋土より土器が少量出土した。縄文時代中期中葉～後葉の竪穴住居であると考えられる。

**縄文住居15（第138図、写真図版112）SI490**

平面略台形の小規模な竪穴住居である。床面中央東寄りには焼土が認められる。埋土より土器が少量出土した。縄文時代中期の竪穴住居であると考えられる。

**縄文住居16（第138図、写真図版113）SI492**

平面梢円形を呈する竪穴住居である。床面には焼土と礫からなる石囲炉の名残が認められる。埋土から少量の縄文土器が出土した。土器から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

(福島)

**縄文住居17（第139図、写真図版114）SI493**

平面やや不整な円形の竪穴住居である。縄文住居18（SI494）を切る。床面中央北東寄りで石囲炉を検出した。石囲炉は平面円形あるいは多角形となるよう花崗岩等の板状礫を選択して全周させている。埋土および床面より縄文土器が定量出土した。縄文土器は大木10a式が主体であり、縄文時代中期末頃の住居であるとみられる。遺構の切り合い関係とも矛盾しない。

**縄文住居18（第140図、写真図版115）SI494**

平面不整な円形の竪穴住居である。縄文住居17（SI493）に切られるが、この掘り込みは床面まで到達していない。床面は固く締まり、3基の炉を確認した。いずれもこの住居に伴うものであると考えられるが、新旧関係があるものと考えられる。方形基調の炉1は廃絶直前に機能していた最新の炉であるとみられる。一方、炉2・3はそれぞれ床面よりわずかに下面に落ち込み、その上面を貼床で被覆されており、より古段階に機能したようである。さらに、炉2は前庭部のような浅い掘り込みを伴い、石囲炉以外の石列も認められ、複式炉であった可能性が考えられる。埋土および床面より縄文土器が出土しており、土器から縄文時代中期後葉の住居であると考えられる。

(中村)

**縄文住居19（第141図、写真図版116）SI495**

平面不整な円形の小規模な竪穴住居である。縄文住居20（SI496）を切る。床面には地床炉が3箇所認められる。いずれも床面よりやや凹んだ地床炉であり、炉2のみ縄文土器深鉢下半（D160）が埋設されている。炉2は凹み内部まで住居の埋土が堆積していることから廃絶に近い段階に機能していた炉であると判断できる。その他の2基の先後関係は不明であるが、部分的な貼床によって被覆されている点から炉2より先行していたと判断される。比較的多くの縄文土器が出土しており、これら土器の特徴から大木10a式に帰属すると思われる。住居も中期末葉の時期であると思われる。

**縄文住居20（第141図）SI496**

遺構の大半を縄文住居19（SI495）に切られ、全体形および規模は不明である。残存部から平面方形の可能性もある。少量の縄文土器が出土したが、時期を特定することは難しい。検出面、切り合いからみて縄文時代中期中葉～後葉の可能性がある。

**縄文住居21（第142図、写真図版117）SI801**

3段階の変遷が認められ、A～C段階とした。Cは微かに痕跡が残存し、最古段階であると判断した。Aは最も平面規模が大きく、平面円～略方形で、Cを壊して構築されている。BはAの完全埋没後に作られた最新段階の住居であるとみられる。Aは炉が残存しており、北寄りに複式炉が設けられている。石囲炉と前庭部からなる。長軸方向は南北である。石囲部の形状は東西がやや長い隅丸台形状を呈し、前庭部の形状は北壁側が聞く台形状を呈する。原位置を保った構成礎は石囲部で東側と西側に1個ずつ、前庭部で南側の両側に6個残存している。構成礎は扁平な亜角礎で、焼土は断面形が浅皿状を呈する。焼土直上のにぶい赤褐色土には骨片が多く含まれている。縄文時代中期の土器が多く出土した。Aの住居機能時に近い状況で出土した土器の型式は大木10式相当で、住居の時期も縄文時代中期末葉に比定される。

**縄文住居22（第144図、写真図版118）SI802**

平面梢円形を呈する。石囲部1・石囲部2・前庭部で構成される複式炉である。前庭部が住居壁際にあるとすれば南西壁に位置することになる。複式炉前庭部前方の西側で踏み固めら堅くなっている。住居内北東隅より埋設土器（D198）を検出した。概ね住居の長軸上において正立斜位に埋設されていたが、底部は埋設されていた当初から欠損していたとみられる。埋土から出土した縄文土器から判断して中期後葉～末葉頃の住居であると考えられる。

(阿部)

**縄文住居23（第145図、写真図版119）SI740**

平面隅丸台形であるとみられる。縄文住居18（SI494）に切られ、縄文住居24（SI741）を切る。平坦な床面では地床炉と石囲炉がそれぞれ1基検出された。石囲炉南東床面は顯著に固く締まっている。この石囲炉は埋没直前まで露出していた炉であると考えられる。出土遺物は比較的多いが、縄文土器は大木8b～10a相当まで型式幅があり、混入遺物も多分に含まれていることが容易に想像できる。より下層から出土した土器は大木10a式相当の土器であり、その他古い型式的土器は切り合う他の住居由来の混入遺物であると思われる。住居の時期は縄文時代中期末頃である可能性が高い。

(須原)

**縄文住居24（第146図、写真図版120）SI741**

平面円形を基調とするものと考えられるが、遺構の大半が他住居によって失われている。縄文住居18（SI494）・縄文住居23（SI740）に切られる。出土遺物から時期を判断できないが、遺構の重複関係から縄文時代中期中葉～後葉頃の可能性がある。

**縄文住居25（第146図、写真図版121）SI742**

平面梢円形の住居である。縄文住居54（SI911）・縄文住居27（SI751）に切られる。埋土より縄文土器が一定量出土した。縄文土器は大木9b～10a相当である。遺構の重複からみて住居の時期は縄文時代中期後葉である可能性が高い。

(松渡)

**縄文住居26（第147図、写真図版122）SI744**

平面不整な円形の住居である。大形木柱列の木柱10埋没後の住居であると思われる。また、縄文住居27（SI751）・縄文住居48（SI904）を切っていると思われる。床面は凹凸があり、明瞭な平坦面を見出せなかった。床面には平面長方形の石囲炉が検出された。石囲炉は仕切り石によって2分されている。埋土より縄文土器が見つかった。出土した縄文土器は縄文時代中期後葉のものが多いため、他住居のものが混入した可能性もあり、判然としない。

**縄文住居27（第148図、写真図版123）SI751**

平面方形基調の堅穴住居であると考えられる。縄文住居25（SI742）を切り、縄文住居26（SI744）に切られる。床面で石圓炉を検出したが、石が欠落している部分があり、本来の形状は不明である。埋土より少量の縄文土器が見つかった。また、大木9b式の深鉢と思われる土器が床面で出土していることから、この住居は縄文時代中期後葉の遺構であると思われる。

(船渡)

**縄文住居28 SI754**

縄文時代の集落の南東部に位置する。平面形態は円形の住居であると想定されるが、北側は中世前半の堀1によって失われている。中央より南寄りに石圓炉が認められる。本来は前庭部を持つ配置であると推測され、その範囲が硬化していた。縄文時代中期後葉の大木9a式相当の土器が少量出土した。切り合う他住居なく、これらが住居の時期を示すと思われる。

**縄文住居29（第149図、写真図版124）SI758**

縄文時代の集落の南東部に位置する。平面楕円形の住居であるが、南側の端部は前庭部の張り出しだためか、やや尖り気味である。貼床はないが、石圓炉の前庭部に相当する遺構南部には褐色粘土を貼った硬質面が認められた。石圓炉は長方形である。これには浅いが、硬化した面の広がる前庭部を有するとみられる。縄文時代中期後葉の大木9a式相当の土器が少量出土した。切り合う他住居なく、これらが住居の時期を示すと思われる。

(中村)

**縄文住居30（第149図、写真図版125）SI812**

平面やや不整な円形を呈する。住居ほぼ中央で石圓炉を検出した。石圓炉は複式炉と考えられ、方形で小規模な部分とより大きな石組からなる。また、南側は前庭部と思われる部分が硬化している。出土遺物は縄文土器がある。土居は大木9式期であるとみられる。出土した遺物と遺構から推測して縄文時代中期後葉の堅穴住居であると考えられる。

(西澤)

**縄文住居31（第150図、写真図版126）SI813**

縄文住居43（SI827）を切る。床面が傾斜するため住居ではないかもしれない。

(澤目)

**縄文住居32（第150図、写真図版125）SI815**

床面で炭化材が多く認められたため焼失住居であると思われる。床面中央南寄りでは複式炉を検出した。複式炉は方形石圓内部に土器埋設炉、方形石圓炉、石組を伴う前庭部がセットになっている。土器埋設（D166）は深鉢下半のみが認められた。前庭部の石組は石圓炉に接する部分のみ列状に施されている。大木10a式に相当すると想定され、この住居は縄文時代中期末葉であると考えられる。

(西澤)

**縄文住居33（第150図、写真図版137）SI827**

縄文住居31（SI813）に切られる。床面が傾斜するため住居ではないかもしれない。

(澤目)

**縄文住居34（第151図、写真図版128）SI816**

不整な平面形態の住居である。床面中央には地床炉と石が集中する。石圓炉であった可能性が考えられる。出土遺物が少量で時期を特定できないが、縄文時代中期の範疇であると思われる。

**縄文住居35（第152図、写真図版129）SI817**

平面円形の住居である。同一箇所に2棟分の住居が存在する。規模の大きい縄文住居34B(SI1825)が古く、これの埋没後に規模の小さい縄文住居34A(SI1825)が作られたものと思われる。床面は中心部で比較的硬化した面がみられる。床面では1基の炉と2箇所の焼土を検出した。焼土も地床炉であると考えられ、1基の炉上面の凹みには住居埋土で充填堆積しており、B段階の炉であるとみられる。縄文土器が多く埋土から出土した。A段階埋土からは大木9a式、B段階はこれらに加え、大木10a～10b式とみられる土器がそれぞれ出土しており、A段階が縄文時代中期後葉、B段階が縄文時代中期末葉にそれぞれ位置付けられる。

#### 縄文住居36（第153図、写真図版130）SI1818

中世前半の堀1によって大半が失われているが平面円形と推測される。床面には多くの炭化材が残存していることから焼失住居であるとみられる。床面には長方形の石囲炉が認められ、この石囲を仕切り石によって2分されている。出土遺物および遺構の形態から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

#### 縄文住居37（第153図、写真図版131）SI1819

平面円形の竪穴住居である。床面では炭化材が多く認められ、焼失住居であると推測される。本来は複式炉であったと想定され、仕切りのある石囲炉に加えて前庭部の掘り込みを有する。しかし、この上に別の石囲炉が乗っており、時期差があるものと思われる。大木9b～10b式の土器が出土したが、住居機能時に近い出土状況の土器は大木10b式であると考えられる。出土遺物および遺構の形態から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

(西澤)

#### 縄文住居38（第154図、写真図版132）SI1820

中世前半の堀1によって大半が失われているが、平面円形と推測される。埋土からわずかに縄文土器が出土した。出土土器から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

#### 縄文住居39（第154図、写真図版135）SI1824

低地に接し下降する緩斜面地に立地する不整な円形で小規模な竪穴住居である。遺構下面より陥し穴が検出された。縄文時代中期の遺構であると考えられるが、より詳細な時期は不明である。

(澤目)

#### 縄文住居40（第155図、写真図版134）SI1822

縄文住居41（SI1830）と重複し、これを切る。床面には炭化材が多く認められ、焼失住居であると推測される。平面楕円形であると推測され、中央南東寄りに複式炉の名残が認められる。石は残存していないが、土器埋設炉が残存する。埋設された土器（D196）は大木9b～10式相当であると考えられ、住居は縄文時代中期後葉～末葉であると考えられる。

(西澤・福島)

#### 縄文住居41（第158図、写真図版140）SI1830

縄文住居40（SI1822）と重複し、これに切られる。調査時点では円形の竪穴住居であると認識して調査を進めたが、整理の過程で平面長方形あるいは長楕円形の竪穴住居であると考えた。したがって、図は調査時点での認識で留まっている。写真では周溝も長軸方向に列を成す柱穴も認められる。床面は市団く締まった平坦面である。石囲炉は円形基調であるが西端部石列が欠落しており、縄文住居40（SI1822）の前庭部によって壊されているものと考えられる。柱穴の埋土より土器（D195）が出土しており、特徴は大木9a式に相当する。遺物より縄文時代中期中葉～後葉の住居であると考えられる。

(福島)

**縄文住居42 (第156図、写真図版136) SI826**

低地に接し下降する緩斜面地に立地する不整な円形で小規模な竪穴住居である。遺構下面より陥し穴が検出された。縄文時代中期の遺構であると考えられるが、詳細な時期は不明である。

**縄文住居43 (第157図、写真図版137) SI827**

低地に接し下降する緩斜面地に立地する不整な円形の竪穴住居である。縄文住居31 (SI813) に切られる。縄文時代中期の遺構であると考えられるが、詳細な時期は不明である。

(澤目)

**縄文住居44 (第157図、写真図版138) SI828**

中世前半の堀1によって大半が失われているが、平面円形と推測される。床面では炭化材を多く検出しておらず、焼失住居であると考えられる。完存していないが、石囲炉を検出した。仕切り石が認められることから2分されていたものとみられる。埋土からわずかに縄文土器が出土した。土器は大木9a式相当である。出土土器から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

**縄文住居45 (第158図、写真図版139) SI829**

概ね平面円形の竪穴住居である。床面では石囲炉が認められ、石囲炉で仕切り石が認められ、2分されている。大木9b~10a式であると思われる。いずれも床面より出土しており、住居も縄文時代中期後葉～末葉であると考えられる。

(西澤)

**縄文住居46 (第159図、写真図版142) SI901**

縄文時代中期集落の東端部に位置する。集落内でもいくつかみられる方形基調の住居であり、平面は隅九長方形である。位置的に水に漬きやすい環境だったためか埋土最上位には沖積層の堆積が及んでいる。中期末の集落廃絶期まで畠みが残存していた可能性が高い。断面では周堤状の高まりも確認できた。周堤は積み上げ痕跡が認められないため地山削り出しの可能性が考えられる。床面中央やや東寄りには、円形に整えられた石囲炉が認められる。埋土から縄文土器が少量出土した。これらは大木9a式に相当するまとまりである。出土遺物から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

(立花・福島)

**縄文住居47 (第160図、写真図版143) SI903**

平面不整な円形である。床面は平坦で、中央に焼土が検出された。焼土の周囲には堀方が認められることから本来は石囲炉であったものと考えられる。埋土はシルト主体の自然堆積である。少量の縄文土器が出土した。わずかな出土遺物より縄文時代中期中葉～後葉の竪穴住居であると推測される。

(須原)

**縄文住居48 (第160図、写真図版144) SI904**

平面梢円形の竪穴住居である。縄文住居26 (SI744) に切られる。床面では南東部に石囲炉が認められ、床面を掘り込んだ前庭部がみられる。前庭部は粘土貼り付けで硬化している。出土遺物が限定的で詳細な時期は不明であるが、縄文時代中期中葉～中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

(立花)

**縄文住居49 (第161図、写真図版146) SI906**

平面多角形（六角形？）である。遺構南西部は粘土採掘坑によって切られている。遺構埋土は自然堆積である。固く締まった床面には2基の炉を検出した。住居南端部に掘り込み前庭部を有する炉は住居プランに則った形態である。前庭部に石組が部分的に残存する。焼土周りにも石が巡らされていた可能性が高い。この炉は人為的に埋め戻された形跡があり、石を外した後に埋め戻され床面が再生された

とみるべきである。一方単独の石囲炉は4個の縁で方形区画が作られ、それにもう一区画付随する可能性がある。こちらが新設の炉として機能したものと考えられる。周溝も平面プランに則って掘り込まれている。埋土から縄文土器が多く出土した新古入り混じっているが、大木10a式が主体のようである。出土遺物より中期末葉の竪穴住居であると考えられる。

(須原)

#### 縄文住居50（第162図、写真図版147）SI907

不整な平面形態であり、複数の住居が錯綜している可能性も考えられる。床面では3基の炉を検出した。うち南側の2基（A・C）は石囲炉であり、もう1基（炉B）も破壊された石囲炉だと考えられる。出土遺物は大木10式に相当するとみられる。縄文時代中期末葉の住居であると考えられる。

(立花)

#### 縄文住居51（第163図、写真図版148）SI908

平面やや不整な円形の竪穴住居である。床面南端部に石囲炉が検出された。石囲炉は平面長方形で仕切り石によって2分された複式炉である。石囲炉には前庭部が付随する。前庭部にも石列が認められる。埋土より大木9a式に相当する土器が出土した。縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

#### 縄文住居52（第164図、写真図版149）SI909

平面形態は不明であり、床面のみ検出した。石囲炉に前庭部が付随する複式炉であると推定される。床面に接して1点の縄文土器（D88）が出土した。出土土器から考えて縄文時代中期後葉の住居であると推測される。

(須原)

#### 縄文住居53（第165図、写真図版150）SI910

平面不整な円～方形である。周溝が複数条認められることから複数棟存在するものとみられる。床面では3基の炉を検出し、うち1基は石囲と前庭部を有する土器（D70）埋設炉（B）であった。同様の軸方向と前庭部を有する炉（C）は炉（B）作り替え前の炉である可能性が考えられる。これらとは別に石囲炉がみられ、単純な石囲炉であり残存状況から最新段階であるとみられる。埋土から多くの縄文土器が出土した。これらは大木8b～10a式相当である。縄文時代中期後葉～末葉の遺構であると推測される。

(立花)

#### 縄文住居54（第166図、写真図版151）SI911

平面円形基調の竪穴住居である。大木柱列に切られる。粘土貼り付けによって硬化した南側床面には複式炉が認められる。石囲炉と前庭部からなり、長方形を呈する石囲炉は、仕切り石によって2分されている。ただし、それぞれの方形区画は大きさが異なり、前庭部側がやや大きく作られている。埋土より出土した土器は、大木9b式に相当すると思われる。出土遺物および遺構の特徴から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

#### 縄文住居55（第167図、写真図版152）SI912

縄文時代中期集落の東端部に位置する平面円形の竪穴住居である。埋土はシルトで自然堆積である。床面には2基の炉が確認された。炉1は焼土と石の抜き取り痕跡からなり、本来は石囲炉であったと考えられる。炉2は石囲炉であり、平面方形を指向して石が巡る。ただし、石は石材・大きさ・形態とともに不規則であり、内部は被熱していない。埋土より大木9a式に相当する土器が出土した。出土遺物から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

**縄文住居56（第168図、写真図版153）SI913**

平面長方形の竪穴住居である。床面中央付近で石囲炉を1基検出した。石囲炉は平面円形である。1箇所欠落がみられるが、石は全周すると推測される。燃焼部は床面よりもわずかに低い面で被熱している。遺構の自然埋没後直上では集石遺構が構築されている。埋土よりわずかな土器が出土しており、土器は大木9a式に相当するものとみられる。出土遺物と検出面から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

(須原)

**縄文住居57（第169図、写真図版155）SI754**

縄文時代中期集落の南東部に位置する。集石および列石を除去すると検出可能であることから、この住居埋没後配石遺構が構築されたものとみられる。遺構北端は中世前半の堀1によって切られているが、平面楕円形を呈すると思われる。床面中央やや南寄りに石囲炉を検出した。平面形は南端が直線的な楕円形である。石囲炉南端には前庭部と想定しうる褐色粘土を貼り付けた硬質面が認められた。埋土より縄文土器が出土し、土器は大木9a式でまとまっている。出土遺物および遺構の特徴から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

(中村)

**縄文住居58（第170図、写真図版133）SI821**

竪穴住居の全体像は掴めなかったが、小規模な石囲炉のみを検出した。石囲炉の平面は楕円形で仕切り石によって分割されている。出土遺物はないが、縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であった可能性が考えられる。

**縄文住居59（第170図、写真図版141）SI831**

竪穴住居の全体像は掴めなかったが、石囲炉のみを検出した。石囲炉の平面は長方形で仕切り石によって2分されている。明瞭な掘り込みはみられないものの、石囲炉南端に取り付くように硬化面が認められ、前庭部であった可能性が高い。出土遺物はないが、縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であった可能性が考えられる。

**縄文住居60（第170図、写真図版141）SI832**

竪穴住居の全体像は掴めなかったが、石囲炉であるとみられる礫と焼土を確認した。礫は散在しており、原位置を留めていない礫もあると思われる。縄文時代中期の住居であったと考えられる。

(澤目)

**縄文住居61（第170図、写真図版145）SI905**

全体形状は不明であるが、床面および石囲炉と柱穴を確認した。石囲炉は平面長方形で、仕切り石で2分される。また、前庭部の掘り込みも付随する。柱穴内より縄文土器片が出土しており、土器は大木9b式相当である。削平を受け住居の平面形態は不明ながら、遺構の特徴と出土遺物から縄文時代中期後葉の住居床面であると考えられる。

(須原)

**縄文住居62 SI301**

調査区西側、縄文時代集落の最西端に位置し、調査区西端に広がる湿地に接するように立地する。小判形に近い長楕円形を呈する。床面中央付近には地床炉が認められた。埋土は黒褐色シルトの自然堆積であり、出土遺物も多くはない。出土遺物および遺構の形態から縄文時代中期中葉～後葉の住居であると考えられる。

(福島)

## (2) 埋設遺構

竪穴住居との関係性が掴めない土器埋設遺構を集落内で4基検出した。これらは土器埋設遺構と呼称し、土器埋設遺構1（SX908）、土器埋設遺構2（SX801）、土器埋設遺構3（SX909）、土器埋設遺構4（SX923）である。いずれも埋設された土器は完存するものはないが、上下が失われていても全周する。これらの土器はいずれも縄文時代中期の集落では古い土器群に位置付けられる土器である。本来は竪穴住居に付随していたもので、その後の集落展開によって遺構本体が失われ、最終的にこれらは土器埋設遺構のみが残された可能性も考えられる。

### 土器埋設遺構1～4（図版179、写真図版173）

土器埋設遺構1（SX908）は大木8b式の大形深鉢（D333）を天地逆にして埋設されていた。土器下半部は失われている。狹小な堀方を有しており、いわゆる埋甕に近いあり方である。土器埋設遺構2（SX801）も大木8b式の深鉢（D335）を天地逆にして埋設されていた。土器下半および底部は失われている。これも狹小な堀方が認められ、いわゆる埋甕に近い状況である。土器埋設遺構3（SX909）は大木8b～9a式相当の小形深鉢（D346）の口縁部付近を検出し埋設土器であると判断した。土器は口縁部を上にしているものの底部に向けて斜位に埋められていた。比較的大きめの堀方を有する。土器埋設遺構4（SX923）は正面に埋められた状況の深鉢底部（D339）である。土器は大木8b式あるいは9a式に相当すると思われる。

### 石器埋納遺構1（図版179、写真図版173）

梢円縦を4点まとめて納めた状況を呈する。隣接する田舎遺跡でも検出したものと同様の遺構である。遺跡内では特殊磨石として磨面を持つ石器に形態は似ているが、使用面は認められないためこれから使用するためにストックされていたものである可能性が考えられる。

（福島）

## (3) 配石遺構

配石遺構は、調査区西側でも南寄りに位置する集石・列石・石圓の複合的な遺構である。これらうち列石と石圓はそれぞれ組み合わさった形で構成されており、一体の遺構であると考えられるが、集石はこれらと重なるように検出される場合もあるため必ずしも同一視できない。いずれも沖積層下部であるVI層によって完全に被覆され、VII層上面が純粋な検出面となっていることから沖積作用が始まる少し前に構築されたものであり、遺棄された状態で懸濁水によって水没していったものと考えられる。また、これらの下位には縄文時代中期の集落が形成されていることから縄文時代中期～後期初頭までの間に構築され、そのまま遺棄され、埋没した遺構群であると判断できる。

（福島）

### 集石1（第170図、写真図版156）SX905

調査区西側に位置する。平面不整形を呈する円礫・亜角礫のまとまりで構成される。本来は円を描くように配された可能性も考えられるが、乱れが生じている。下部には土坑状の掘り込みがあるが、上部との関係は不明である。

### 集石2（第172図、写真図版157）SX904

平面梢円形を呈する円礫および亜角礫の集合である。下位には浅い掘り込みを伴うが石を据えるための堀方の可能性も考えられる。

### 集石3（第173図、写真図版158）SX902

浅い堀方を有し、礫は円礫が多数を占める。一部立石として立ったままの礫が1点認められる。欠失部あるいは複数の集石の集合体の可能性もある。

**集石4** (第173図、写真図版159) SX919

略方形を呈するが、堀によって北側を切られているため本来は円形基調であった可能性が考えられる。1点の花崗岩を中心に放射状に配置されている可能性も考えられる。

**集石5** (第173図、写真図版159) SX918

円礫と大きめの角礫によって構成されている。検出した礫は散逸的で構成までは判明しない。部分的に円形、弧状となる箇所があり、複数の円形集石を内包あるいは複合する可能性がある。

**集石6** (第174図、写真図版160) SX920

散逸的で欠失している部分が多くある可能性が高い。円礫を中心とするが、角礫も若干混じる。東側には列石のように線的に並ぶものもある、列石に伴う石組であった可能性も考えられる。

**集石7** (第174図、写真図版160) SX921

やや大きめの花崗岩が円を描くように配置され、その内区を小円礫で充填した集石であると考えられる。大半は乱れが生じており、元の形状は失われているものと考えられる。

**集石8** (第173図、写真図版160) SX914

4分の1程度が残存する円形の集石であると推測される。中心には角礫花崗岩の立石が立てられていたと考えられる。立石は円礫の欠落部分側にやや傾いている。この立石を中心に長楕円形の円礫が放射状に隙間無く置かれている。長楕円形の円礫は中心に近くなるほど細く小さい傾向があり、意図的に選択されて配置されているものと考えられる。外縁部はより大形の礫が全周した可能性がある。

**集石9** (第173図、写真図版159) SX913

堀1に北半を切られた半円状に円礫がまとめられており、本来は平面円形の集石であったものと推測される。円の中心と思われる部分は欠落しており、この円中心部に立石が伴う可能性が考えられる。円礫の配置に明確な規則性は認められない。

**集石10** (第174図、写真図版167) SX911

列石の一部を覆うように検出された平面円形を呈する円礫のまとまりである。残存状況が良好であり、平面的な礫の配置が推測可能である。円外縁部は板状あるいは棒状の礫で円の外周に沿って縁取りがなされている。円内部は楕円形を中心とする円礫が放射状に密な状態で敷き詰められている。円礫は長辺を有効に配置するのではなく、設定された円の中に隙間無くぎっしり詰め込んだような状況である。中心部は欠落しているが、中心に本来立石があった可能性が高い。放射状円礫の中には、より大きな角礫が2個、間隔を空けて立石状に検出された。より複雑な円配置であったと思われる。配置等から列石より時間的後に構築されたものと考えられる。

**集石11** (第174図、写真図版162) SX912

平面円形を呈する円礫を中心とした集石である。円礫は概ね放射状に配置され、一部外縁部を花崗岩の角礫で縁取る様子が認められる。円の中心まで円礫が詰まっており、立石があつたかどうか定かではない。しかし、円中心部はわずかに凹んでおり、円礫上に立石が倒立する可能性も考えられる。

**集石12** (第174図、写真図版156) SX905

平面円形を呈する円礫のまとまりである。礫の配置に規則性はないが、より大形の角礫が立石状にみられる。集石の下位には平面円形の土坑が認められ、埋土は人為堆積である。墓壙の可能性も考えられるが、人骨は出土しなかった。

**集石13** (第172図、写真図版157) SX903

長楕円形の円礫のまとまりである。平面円形であると推測されるが、欠落部分が大きく詳細は不明である。理由は不明であるが、本来円形の集石に乱れが生じたものとみられる。

#### 集石14（第172図、写真図版157）SX922

平面双円形に円礫のまとまりが認められた。近在する縄文住居46（SI901）とは直接的な切り合い関係はないが、検出面の様子から住居廃絶後の埋没中に構築された集石であるとみられる。すでに水が漬き始め、沖積作用の堆積が始まった頃に構築されたと考えられる。円礫の配置に規則性はほぼ認められないが、角柱状の石柱が1点倒位で検出された。角柱は成形されており、立石として用いられたものと判断される。原位置に近い状況で倒れた可能性も考えられるが、これを据えた掘り込みは認められない。

#### 集石15（第179図、写真図版166）SK485

平面円形に円礫のまとまりが認められた。縄文住居13（SI488）と重複し、下部土坑がこれを切っている。円礫は長楕円形のものが多く、放射状に敷き詰められていた様子が残存する礫配置から読み取ることができる。集石下部には土坑があり、墓壙の可能性も考えられる。

#### 列石1（第175図、写真図版162・163）SX900

2条の並走する列石である。南側を堀1によって切られている。北側では途切れがあり、連続性は不明であるが、SX907も同一軸線上にあるため密接な関係があったものと考えられる。列石は2条が約1mの間隔を空け、平行に延びる。軸方向は北北西方向であり、概ね直線的である。2条の列を構成する礫は、長楕円形の円礫が主体であり、長辺を列方向と直交するように並べられている。礫はそれぞれ堀方を持たないため、土をかき寄せて周囲が固定された可能性がある。西列には4箇所の平面略円形の石團が付属する。石團の中央には、その他の構成礫よりも大きい花崗岩が認められ、これらが立石であると考えられ、半ば倒立している立石も認められる。一方、東列には、やや乱れがあるが1箇所の石團が認められる。列石に石團のアクセントがあるが、これらは左右対称の関係ではないようである。西列は北端で列に乱れが生じており、列が欠失している箇所には集石が認められる。この集石は、外縁部の大形礫による縁取りから考えて直径約2mの円形であるとみられる。列の乱れとこの集石が呼応しているかのような状況である。現段階では、列石の解体と新たな集石の構築が併行しておこなわれたと想定される。

#### 列石2（第176図、写真図版164）SX907

列石1の北側で検出された列石である。その他の列石よりも散逸的で本来の形状を留めていない可能性が高い。巨視的にみると、散逸的な礫の分布は、南側に近接する列石1とほぼ同一軸方向、2条平行の列石であると捉えることができる。西列は乱れが大きいが、礫の集中は一列想定され、列上に2箇所の花崗岩が間隔を空けて存在する。これら花崗岩は石團中央の立石部分に該当していた可能性が考えられる。さらに、西側にはもう1列、短い礫の列状のまとまりがあり、3条であった可能性も考えられる。南側列石1を越え、列石3にも通じる可能性を指摘しておく。一方、東列は南端に石團があり、中央には倒位であるが、花崗岩の角柱状礫が存在する。この東列は列石1の西列に連続するように並ぶが、石團より北側は乱れており行方が不明瞭である。

#### 列石3（第177図、写真図版165・167）SX910

列石1の南側にほぼ同一軸で延びる2条の列石を主体とする。堀1によって列石の北端が寸断され、列石直下には縄文時代中期の堅穴住居57（SI754）が検出されている。その他の列石よりも残存度が高く、列の長さも10mを超える。列石の構成礫は大半が長楕円形あるいは棒状の円礫である。円礫は列石1同様、列の軸方向と直交する向きに円礫長辺を据え、1個ずつ並べられている。2条の列

の間には1~1.2m程度の間隔があり、概ね平行する。やはり列には、石圓と立石が要所で付属する。西列には近接する2基1対の石圓が2箇所あり、規則性が見出される。一方、東列はその配置がやや異なり、3基1対の可能性が考えられる。また、一部石圓を起点として東西に延びる列も確認され、石圓には分岐点の意味を内包するものもあったと考えられる。西列北側には比較的まとまった集石10があり、これによって解体されている可能性がある。直下の堅穴住居が大木9a式期であるとみられるため、この列石は、それ以降の構築であると考えられる。

#### 列石4 (第178図、写真図版165) SX916

列石3西側に直接接していないが、分岐するように弧状に延びる。その他の列石と異なり、列は複数の円環を組み合わせて1条の列石としているようである。残存状況の良好な部分から推測すると、列状に2列長辺方向を順行させ、その平行する2列間を直交方向に向きを変えた円環で充填するよう並ぶ。弧状、並べ方が列石3とは大きく異なっているが、列石3の石圓から分岐するように延びるため一連の遺構である可能性が高い。

#### 列石5 (第178図、写真図版167) SX924

列石3西側に位置し、散逸的であるが円環が列状となる。立石を伴う石圓とみられる箇所も認められる。列は1条であるとみられ、微妙に曲線を描いている。

(須原・福島)

### (4) 大形木柱列

調査区西側で検出した大形の11基の土坑群は環状に巡って配置されていることが判明した。環状配置はやや長楕円形となっており、長軸となる主軸は北西方向を指向する。軸線を中心に左右対称配置となっており、それぞれ対象の土坑規模はそれぞれ近似する。ただし、北側列は堅穴住居があるため開口部径は小さくなっている。また、これら土坑の規模は頂点から離れるに従って規模が小さくなる傾向である。各土坑の配置から木柱が坑内に据えられていたものと判断したが、北西端と南東端に向か、木柱そのものも徐々に小さいものへと変化する可能性を指摘しておく。いずれも1.5~2mの開口部を持つ平面円形の遺構である。深さは大半が1.5mを越え、深く掘り込まれている。各木柱は平面円形を呈し、他の貯藏穴などよりも深く円筒形に掘り込まれる。そのため調査中は幾度も掘削や記録作業を激しい湧水によって阻まれた。開口部は開くが、中位から下位にかけての壁は垂直に立ち上がり、崩落等が認められない。これらの特徴から土坑は大形の木柱を据えた直後に埋め戻された堀方であることが想定される。ただし、これら土坑断面では明瞭な柱痕跡は認められなかった。木柱の残存するうちに引き抜かれた可能性が考えられる。これら木柱の時期を特定できる出土遺物は得られていないが、遺構の重複関係（縄文住居3棟）から大木9a~9b式期の住居を切り、大木9b~10a式期の住居に切られている。したがって、この木柱列は中期後葉頃、短期間に構築されたものとみられる。同様の遺構調査例として一関市清水遺跡例が挙げられ、その平面的な配置も酷似する。

#### 木柱1~11 (第190図、写真図版168~170)

各土坑は木柱1~11の呼称を与えた。木柱1 (SK916) は木柱列の北西頂点部分に位置する。開口部は大きく外方へ開くが、下位は垂直に立ち上がる。底面は平坦である。木柱2 (SK842) は南側木柱列のうち頂点部分に隣接する。陥し穴 (SK) に切られる。開口部はわずかに外方に開き、壁面下位は垂直気味に立ち上がる。木柱3 (SK844) も開口部は外方へ開き、壁面下位は垂直気味に立ち上がる。木柱4 (SK844) は壁面下位がわずかに膨らむ。木柱5 (SK851) は湧水のため底面の記録が不可能であったが、規模および形態は対の関係にある木柱8 (SK722) と近似するものと推測される。木

柱6（SK724）と木柱7（SK723）はそれぞれ同一規模であり、他の木柱よりも平面規模は小さく、深さも浅い。木柱8（SK722）および木柱9（SK721）は縄文住居48（SI904）を切って構築されている。木柱10（SI744—SK01）は縄文住居26（SI744）と重複しており、木柱埋没後に住居が構築されており、住居より古いことがわかる。出土遺物少なく、遺物から遺構の時期を特定するのは困難であるが、先述した通り、縄文時代中期後葉に機能した遺構であると考えられる。

### （5）貯蔵穴

#### 貯蔵穴1～31（第182図、写真図版174～179）

調査区西側で検出した土坑のうち、貯蔵穴の特徴を備えるものは27基である。その多くはVII層以下で検出できる。多くはより高位の削平された範囲に分布するため結果的にIX層上面での検出となる。大半の貯蔵穴は平面円形で、底面径が開口部より大きくなるフラスコ形状である。遺跡の西側に多く分布する。俯瞰すると竪穴住居が西側で希薄になるにつれ貯蔵穴の密度は高くなる傾向である。このことから貯蔵穴と居住域の占地に区別がなされ、併存関係にありながらも貯蔵エリアは集落西側に展開するものと想定される。

### （6）粘土探掘坑

#### 粘土探掘坑1～10（写真図版182・183）

調査区西側で検出した土坑のうち、大きく不定形の土坑を粘土探掘坑とした。これらはいずれも下位にあるIX層などを狙って掘り進めており、開口部は竪穴だが、底面から横方向に掘り込まれている。粘土探掘坑で得られた土は、住居の貼床などに用いられていることが調査中に判明した。これは、縄文時代中期の遺構面およびその基盤ではみられない客土が部分的に貼り付けられていたことが確認できた。特に床面より前庭部周辺に多く分布する傾向である。これらの知見から粘土探掘坑は土器や土製品製作で用いられているのではなく、おもに住居の造作や補修等で用いる土を得るためにものであったと考えられる。これら探掘土は乾燥すると固く縮まる様子が調査中も確認できた。

### （7）陥し穴

#### 陥し穴1～8（第189図、写真図版180・181）

調査区西側で集落内ではあるが、陥し穴も検出された。形態や深さは一様ではないが、陥し穴の機能を想定される逆茂木痕を底面が検出される遺構も存在する。細長い、溝状の陥し穴が存在しないことから、これらは縄文時代中期集落開始以前のものが多く含まれると考えられる。

（福島）

### （8）縄文時代中期の遺物

調査区西側に展開する縄文時代中期の集落に伴う遺物を掲載した。土器・石器からなるが、石器については時代が前後する遺物も混在する可能性がある。

#### 縄文土器（第295～344図、写真図版266～301）

D10～487は縄文時代中期の土器である。土器型式では概ね大木8a式～大木10式までの時期が想定される。現在、各大木土器型式は細分案がいくつか示されているが、まとまりを欠く恐れがあるため、今回は各型式を前半と後半に区分した編年観を用いることとした。出土した中期の土器は、より古相段階の大木8a式、より新相の大木10b式が少量であることから集落の消長を示している状況である。

したがって、縄文時代中期集落の主要な時期は概ね大木8b式～10a式までであると考えられる。ただし、大木8b式土器の出土量に比して、当該期の竪穴住居の検出数は少なく、検出数が増えるのは大木9a式以降の竪穴住居であり、集落最盛期は大木9式～10a式段階に求めることができよう。出土した中期の土器を概観すると、深鉢が主体でわずかな浅鉢が器種構成に加わる。さらに少量の器台も存在する。深鉢は地文のみのものと、地文に様々な文様が付加されるものとに分けることができる。これら様々な文様は大木8a～9a段階の隆沈線、9b式～10b式段階の沈線、刺突列などが主要な文様として挙げられる。また、この段階では磨消縄文も多用される。また、胎土に雲母が多く認められる個体があり、これらは総じて大木10式に相当する土器である。この時期すべての土器ではないが、川原など流水のほとりの決めの細かな土砂を採取し、混和材として素地粘土に混ぜ込んで、成形した可能性が考えられる。

D10は口縁部に無文帯があり、体部には磨消縄文に継続の刺突列が伴う。D21は器台である。無文で外面はミガキが認められる。円形の透孔が複数箇所あったものと考えられる。D23は沈線を挟んで上下2列の刺突列が横方向に連続する。D26は貧弱な沈線で区画された内部に地文が残存する磨消縄文である。D30は非常に緻密な胎土と丁寧なミガキが特徴的な大形の深鉢体部片である。複雑な曲線によって区画された内部を地文で充填している。D34は上半部に沈線で区画された外部を磨消縄文が展開する。沈線末端には部分的に単純な刺突列がみられる。D38は文様が地文のみであるが、口縁部はわずかな幅でヨコナデによって消され、無文帯が創出されている。一方、D40は同様に地文が主体であるが、横方向に沈線が巡り、無文帯を画している。D44は体部下端部を横方向にケズリが施され、地文を消している。D45は口縁部無文帯から派生するように環状の装飾が認められる。無文帯下端には刺突列が巡る。D50は浅鉢である。注口が付く。D51は体部下半に膨らみを有する深鉢である。沈線で区画が施され、外面には磨消縄文がみられ、口縁部付近には刺突列が沈線に沿って連続する。内外面に小さなヒレ状突起が付帯される。D56は小形の深鉢である。口縁部から体部にかけて沈線で区画がみられ、内部は地文が磨り消されている。沈線区画端部と口縁部内面にはヒレ状突起が付加されている。D74・75は口縁部無文帯を有し、これから垂下する沈線によって体部文様帯は区画される。区画内部は地文磨り消しによって外部と隔てられる。これに加え、いずれも縦方向に刺突列が連続するが、前者は竹管状工具の先端、後者は丸棒状工具の先端を寝かせた状態で押圧されている。D78は体部上半が残存する深鉢である。大きな波状口縁であるが、口縁部無文帯を画する沈線はほぼ水平である。連続する凹形に垂下する区画が沈線によって創出されており、内部は地文が磨り消されている。D77は口縁部に取り付く加飾部分である。全面的に赤色顔料が塗布されている。D85は口縁部から底部まで残存する深鉢である。口縁部外面にはヒレ状突起が認められる。D89は小形の深鉢である。頸部が大きく屈曲する器形である。沈線によって満巻き等の文様が施されている。D97は丁寧なミガキが全面施された土器である。外面には隆沈線によって流麗な文様が展開し、突出部による加飾が附加されている。D108はダルマ形を呈する土器であるが、横口式になっており、上部は脱着可能な状態で焼成されたものとみられる。内面には赤色顔料が付着しており、特に蓋天井部と横口周辺内面は他所より濃い赤色になっている。外面は無文であるが、特殊な土器であることは疑いない。県内でもいくつか類例があり、赤色顔料を入れるための専用容器であると考えられる。容器に顔料を入れる際には、蓋を取って入れ、蓋を載せた天井部を指で押さえながら片手で持ち、横口から振りかけるように顔料を出すという一連の使用方法が推測される。共伴遺物から推測すると中期後葉から末葉に帰属する可能性が考えられる。D121はミニチュアの深鉢である。口縁部に沈線が1条巡る。D127は小形の深鉢である。口縁部は2単位の波状口縁で、体部は括れを有する器形である。文様は沈線による省力化され

た満巻き文が描かれている。D141は体部外面に地文が施され、口縁部は1条の沈線で区画された無文帯を有する。口縁部は水平であるが、段差が認められ、口縁部の高さが異なる。D151～153は器高い深鉢である。地文のみであり、口縁部に明瞭な無文帯はみられない。体部下端は調整によって地文が消されている。D157は体部中位に最大径を持つ深鉢である。体部外面には沈線による「P」の字を横に倒したような区画が認められ、区画内部は地文が磨り消されている。「P」の字の始点と終点にはそれぞれヒレ状突起が付加されている。D158は口縁部から体部上半片である。口縁部は内彎し、外面には文様帯が認められる。この文様帯貼り付けの隆線と刺突列が巡る。D161は口縁部が4単位の波状となる深鉢である。体部下半がやや膨らみを持ち、下膨れ器形である。外面は沈線によって「H」・「U」などのアルファベット形の区画が描き出されており、外部の地文は磨り消されているが、一部区画には刺突列が充填される箇所もある。D166は体部上半および口縁部を欠く。体部には沈線による区画文があり、区画外部の地文は磨り消されている。D168は口縁部無文帯が太い沈線によって区画されている。体部上半には横向き「J」の字状区画が沈線によって削出されており、その内部は地文が磨り消されている。この区画の始点と終点にはそれぞれヒレ状突起が付与されている。D171は体部が丸く膨らむ壺形の深鉢である。頸部は括れ、口縁部は外傾する。頸部には橋状の突起が4単位附加され、体部は沈線によって文様が描かれているが、全面ミガキが施されており、地文は認められない。D188は深鉢口縁部片である。口縁部には隆沈線によって横位の長方形区画が連続する。区画内は地文である撚糸の回転文が横位に展開し、体部の縦位の撚糸とは向きが異なっている。D189～193は小形の深鉢である。いずれも文様は沈線が主流である。D186は地文のみの深鉢である。D196は沈線で区画された内部に充填繩文が認められる。区画は「工」の字形を縦に複数結合した形態である。D200は一部口縁部を欠くが、概ね全体形状が把握できる。口縁部は緩やかに外傾し、外面は無文帯が沈線によって画されている。体部には「O」の字形の区画が沈線によって表現されており、その内部は撚糸による地文が磨り消されている。区画上下にはヒレ状突起が認められる。D201は口縁部が外傾する形態である。口縁部は無文帯であり、沈線によって区画されている。この無文帯から体部の無文帯へと連続する。体部の区画は沈線で区画され、内部は地文磨り消しによって無文化されている。D207は横位沈線によって文様がみられる。上部と下部に3条1単位、その間には1条の波状沈線が巡っている。官古以北の土器に似る。D218は体部中位に最大径を持つ大形深鉢である。文様は地文のみである。D263は頸部に橋状突起を有する壺形の深鉢であるが、体部の膨らみは大きくない。D276はキャリバー形の深鉢口縁部片であると思われる。外面には隆沈線によって文様が展開し、口縁部に接して円盤状の突起が付加されている。突起は上から見ると満巻き文になっている。D287は比較的スリムで直線的な体部に、波状口縁が続く器形である。口縁部形態に沿うように隆沈線が認められるが、体部の文様は沈線のみで構成されている。D299は口縁部無文帯、体部は磨消繩文である。これらは沈線によって区画されており、所々刺突列もみられる。D333は土器埋設遺構1(SX908)の土器である。大形の深鉢であり、キャリバー形となるように頸部が括れ、口縁部は内彎する。口縁部は水平口縁であり、内彎する口縁部文様帶は隆沈線によって横長に文様が展開する。この文様は満巻き文が認められ、一部満巻きには棘状の三角文が取り付く。緩やかに括れる頸部は無文帯であり、上下は隆沈線によって区分されている。体部文様はやはり隆沈線によるものである。無文帯および内面は丁寧にミガキが施されている。D335は土器埋設遺構2(SX801)の土器である。下半は欠損している。口縁部には水平方向に隆沈線が認められる。D353は口縁部が加飾された深鉢である。加飾部はうねりを伴う横向き円環状の突起と上向き円環状突起が交互に配されている。体部の地文は撚糸綱回転であり、部分的に沈線で区画され、内部の地文が磨り消されている。中期末の特徴を備えている。D396・

D437は器台である。いずれも無文であり、透かしの円孔が側面に認められる。D461は波状口縁の深鉢である。口縁部のみ陸沈線で文様が施されるが、体部の文様は沈線を主体としている。沈線は2状1単位や3状1単位のものである。

#### 石器（第358～394図、写真図版314～344）

K1～33は石斧である。大半が磨製石斧であり、一部製品には北海道産のアオトラ石が石材として認められる。これらは擦り切り技法によって加工されており、その擦り切り痕跡が残っている。弥生時代の大陸系磨製石斧以外でアオトラ石が用いられている石斧はK20・21などである。

K34～71は片面加工石器と称した石器群である。円縁を敲打によって大きく剥離させ、片側の自然面を残して、一方の剥離面側の外縁部をより細かな剥離調整で整えている。この剥離調整によって大半が楕円形を呈する。いくつかの製品には自然面側にも剥離調整がおよぶものもある。石斧未成品の可能性も考えられるが、この次の工程で留まっている未成品が出土していないことを考えると、この形態で完成形とし、何らかの利器として使用されたものと推測される。これらの使用方法は不明であるが、長輪方向片側幅広部に刃部を想定した場合、刃部角度が大きいためスクレーバーのような使用が考えられる。

K72・73は軽石製の浮子であると考えられる。K72は台形板状に成形されており、頂部に貫通する円孔が認められる。K73は円盤形であるが、貫通孔が3箇所認められる。いずれも水に浮く軽石であることから浮子であると想定した。

K74～119は敲磨器類である。K74～91は一側縁あるいは両側縁に強い擦痕が認められるもので、いわゆる特殊磨石に分類されるものである。形態は楕円形、三角柱形、扁平形、丸棒状に分類できる。楕円形・扁平形のものは長側面に、三角柱形は三角形の一頂部長側面に、丸棒状は長側面に、それぞれ非常に強い磨りが認められる。磨り面は未使用面と比べて極端に平滑で、磨り面の外形線は稜を持つ場合が多い。平坦で非常に硬い物質が対象物となつたと推測される。

K92～109・112・113は磨石に敲打痕が伴い、その箇所がクレーター状に凹む石器である。凹石とも称される。円形や楕円形のものが主体であるが、棒状のものもわずかに認められる。一定の使用方法が想定される。

K110・K111は棒状の敲石である。先端部に敲打痕が認められる。握って使用された可能性が高い。

K114～117は角柱状の石材の長側面を磨り面として使用したものである。今回はこれらのまとまりを砥石とした。形状からみて置いて使用された可能性が高く、磨り面は磨り減って大きく凹む。表裏2面使用、4面使用のものがある。磨製石斧など利器の刃部研磨に用いられた可能性も考えられる。

K118・119も形態は異なり、破損しているが、使用法としては砥石の機能を有する可能性がある。

K120～145は石皿であると考えられる。K120・121・122には長方形の脚部が削り出されている。使用面側には縁が削り出されているものもみられる。全体形状の判明するものは出土しておらず、大半のものが破損している。破損後に敲石として転用されているためか、敲打痕が認められる例が多い。K145は軽石製でその他の石皿とは用途や機能が異なる可能性が考えられる。

K146～150は台石とした。板状の礫であり、その他全体的に不定形である。同様の板状礫は多数出土しているが、表面に明瞭な使用痕があるものののみを抽出し掲載した。K150は大形の礫で片面中心部が擦痕を伴い大きく凹んでいる。

K151～271は石鎌である。K151～249は無茎鎌である。これらのうちK151～198は基部に抉りがあり、回基無茎石鎌である。K199～216は明瞭な茎はないが、基部がやや突出する形態である。K217～249は基部が平坦で凹凸がみられない平基無茎石鎌である。K250～271は有茎鎌に分類できる。基部に

茎が意図的に作り出されている。これらの多くが凸基有茎蕨である。石材はすべて頁岩であると考えられる。

K272～290は石錐である。先端が細く長く作り出されている。大きく開いた基部を有するK279～290は錐部の調整が非常に細かい。石材はすべて頁岩である。

K291～301は尖頭器である。形状は様々であるが、多くは長楕円形である。両面に剥離調整が施されている。石材はすべて頁岩である。

K302～389は石匙である。これらのうちK302～376は基部摘まみ部分を上にした場合、刃部が縦長となる。一方、K378～388は基部摘まみ部分を上にした場合、刃部が横長となるものである。縦長の刃部のものは、裏面が刃部のみの微細剥離調整が基本であるが、K324・339・361・375は両側縁調整がなされている。

K390～396は石箇である。長台形あるいは長方形であり、通常の石斧より小形である。両面ともに微細な剥離調整が施されている。刃部はより幅広部分であると考えられる。

K397～495は不定形の剥片石器である。刃部が認められるため削搔器であると考えられる。

#### 土製品（第294図、写真図版265）

J25～35は土製耳飾である。円環状のものと円盤状のものと2者ある。いずれも刺突列による文様が認められ、J31・33のようにヒレ状突起が附加されているものもある。これらは土器の文様との近似性から繩文時代中期末頃のものである可能性が高い。J36・37は土偶であると考えられる。J36は肢體表現に乏しいが、表には小さい突起が認められる。へその表現の可能性も考えられる。J37は板状で表裏に沈線と繩文による文様が展開する。側面にも沈線があり、突出部には刺突がなされている。形態から土偶の下半身であると推測される。J38～45はキノコ形土製品である。傘部分まで残存するものと石突き部分のみ残存するものがある。いずれも簡易な成形である。J46・47は先端部を失っているが、基部側に円孔が穿たれた、いわゆる斧状土製品である。J46は表面に複節の繩文が施されている。一方、J47は鋭利なもので施された刻みが連続する。粘土の動きから、横向方向に筋書きされたものではなく、刃物のような物を連続して押しつけて施文されている。J49は匙形土製品であると考えられる。小椀形の一方にわずかな突出が認められ、突出部基部には沈線が巡る。J48は土器片の側縁部を再加工した土製円盤である。側縁部はすり減っており、破面が研磨された可能性が高い。土器外側には複節の繩文が認められる

#### 石製品（第256～358図、写真図版312・313）

H42は石製の勾玉である。薄い扁平板状で、「C」の字形を呈する。上部には穿孔が認められる。H43は滑石製の装飾品と思われる石製品である。本来の形状は不明であるが、特に内面側該当部分の整形がほかより粗いことから管状であった可能性が考えられる。2箇所の穿孔があることから簡素な管玉のような形態の製品ではない。H44は1箇所の穿孔がある石製品である。垂飾製品の可能性が推定される。H45は頁岩製の石棒であると考えられる。片側は欠損する。表面は研磨によって滑らかであり、部分的に端面を持ち、断面多角形となる部分もある。H46は頁岩製の石劍であると考えられる板状の石製品である。表面は研磨され、その無数の擦痕が明瞭である。H47は石製垂飾具と思われる穿孔された石製品である。板状のデイサイト製であり、全面が研磨されている。新しい時代の提げ砥石の可能性もある。H48は砂岩製の石棒である。先端部は欠損している。全面に細かなチッピングによる成形痕跡が認められるが、その後研磨されている。H49は石棒あるいは石柱である。表面は研磨されており、両端部は欠損している。本来は配石遺構中心部に立っていたものとみられる。

## 7 繩文時代早期の遺構と遺物

繩文時代早期の主要な遺構は、比較的高位にある調査区西側に展開する。ここでは繩文時代中期の面の下位に早期末の遺構面が広がる。VII層を除去し、IX層上面で堅穴住居を中心とする集落の居住域を構成する遺構群を検出した。これよりも西側のより高位面でも遺構が展開する可能性も考えたが、より西側ではすでにIX層上面まで下げる遺構検出を試みており、早期の堅穴住居の分布範囲は限定的であることが確認できた。ただし、分布域を外れより西側では、早期の土坑（SF401）を1基検出した。堅穴住居は大形のものが主体であり、中期堅穴住居の2倍を超える平面規模である。出土遺物は土器・石器を中心に多くみられる。土器は尖底・砲弾形であり、内外面繩文が施されるものも含む。土器の特徴を集約すると、赤御堂式相当であると推測される。さらに、これらに比べると僅少であるが、調査区西側で繩文時代早期中葉の遺物も出土している。しかし、繩文時代早期中葉の遺構は確認されなかつた。

### （1）堅穴住居

#### 繩文住居63（第191図、写真図版184）SI914

繩文時代集落域の最も低位に位置する。繩文時代中期の繩文住居46（SI901）はこの遺構の埋土中に構築されている。当初SI753など複数の堅穴住居が重複していると考えたが、調査を進めるとこれらはすべて一つの遺構に内包されるものと判断した。長方形を基調とする平面形態で、規模は大形である。北辺には平面的突出部が認められ、当初別遺構である可能性を考えたが、この住居の一部である可能性も否定できない。住居の一部であれば、床面より浅いため出入口のような施設の可能性もある。床面は激しい湧水のため炉は確認できなかつた。床面では固化できなかつたが、無数の柱穴を確認した。柱穴は壁際に沿って列状に認められるが、短辺となる西側壁には壁に接して柱穴列が配置されている。埋土は自然堆積であり、下層に炭化物を主体とする薄層が認められた。埋土や床面から土器が多く出土した。土器は繩文時代早期末葉の土器であり、検出層位および出土遺物から繩文時代早期末葉の堅穴住居であると判断される。

#### 繩文住居64（第92図、写真図版185）SI915

平面長方形を基調とする大形の堅穴住居である。北西方向を指向する軸角である。床面では無数の柱穴を確認したが、規則性を見出すことができなかつた。繩文時代早期の土器が出土したが、大半は繩文住居68（SI756）の遺物として取り上げられているものが含まれると思われる。検出層位からみれば繩文時代早期の堅穴住居であり、その他の住居と特徴が共通するため早期末葉であると思われる。

#### 繩文住居65（第193図、写真図版186）SI916

繩文住居63（SI914）南側を一部切るが、これよりも掘り込みが浅いため繩文住居63の床面まで到達していない。平面長方形を呈すると推定される。床面には地床炉1基と無数の柱穴が確認された。柱穴は側壁に沿ったものが列をなしているため、これらが主要な柱穴であった可能性が考えられる。埋土より内外面繩文の施された土器を含む繩文時代早期末葉の土器が出土した。検出層位および出土遺物から繩文時代早期末葉の堅穴住居であると判断される。

#### 繩文住居67（第190図、写真図版154）SI757

十和田中折火山灰よりも下位で検出された。繩文住居64（SI915）の直上に位置し、これを切っていると判断される。平面方形から長方形の住居である。埋土から繩文時代早期末葉の土器が出土した。検

出層位および出土遺物から縄文時代早期末葉の堅穴住居であると判断される。

#### 縄文住居68 SI756

十和田中郷火山灰よりも下位で検出された。縄文住居64 (SI915) の直上に位置し、これを切っていると判断される。平面方形から長方形の住居である。埋土から縄文時代早期末葉の土器が出土した。検出層位および出土遺物から縄文時代早期末葉の堅穴住居であると判断される。

### (2) 土 坑

#### 縄文土坑1～4 (第194図、写真図版187) SK726・727・728・SF401

縄文土坑1～3はVII層除去し、IX層状面で検出した機能不明の土坑である。縄文土坑4 (SF401)のみ調査区西端で確認された。この土坑は焼土が認められる。縄文時代早期とみられる土器が良好な状態で出土したことからこの時期の遺構であると考えた。

### (3) 縄文時代早期の遺物

#### 早期末の土器 (第345～352図、写真図版302～308)

D488～595は縄文時代早期末の土器である。これら土器の特徴を概説する。

【器形】大半の土器が尖底あるいは丸底であり、口縁部は大きく開き、底部に向け窄まる砲弾形を呈すると思われる。口縁部の形態は大きく分けて3形態ある。直線的な形態、端部のみが短く外反あるいは外傾する形態、大きく緩やかに外彎あるいは外反する形態、これら3形態である。成形痕跡が比較的明瞭である特徴がみられる。

【成形】粘土紐織ぎ目、内面の指頭あるいは拳などによる圧痕が多く認められる。尖底の底部は最小単位で脱落している破片が多く認められ、この破面が擬口縁となる例が多い。成形方法は不明であるが、乾燥がより進んだ状態で底部が接合された結果とみられる。胎土は多く砂粒を含んだ粗いものが主体で、混和材として纖維を含む個体も存在する。

【文様】縄文は単節で横回転のものが大半である。縄文は内外面にあるものも認められ、1点のみ条痕が認められる (D566)。表裏縄文は粘土紐織ぎ目に強くみられ、より器面調整に近い技法であることがわかる。口縁部に文様帯を持つ土器が多く、文様構成は様々である。口縁端部は有文・無文の別があり、有文のものは縄文原体回転、縄文原体連続、棒状工具による圧痕あるいは刻み、などバラエティに富む。口縁部文様帶は、無文帶ベースのもの、縄文ベースのものの2大別でき、さらにこれらを、帯状の貼付隆線が巡るもの、縄文原体の圧痕が連続して巡るものに分けられる。

【型式】これらの土器群は、土器型式では赤御堂式に相当するとと思われるが、県内ではまとまった類例が少なく比較資料に乏しい。比較するとすれば、同時期で酷似する特徴を有するまとまった土器群が遠野市九重沢遺跡で認められる (岩手埋文2004)。しかし、両者とも赤御堂貝塚の標識資料と必ずしも特徴を共有しておらず、地域的な特徴を具備しているものと想定され、広域編年上重要な土器群であると考えられる。

D488～497は縄文早期住居1より出土した土器である。おもに口縁部片と底部片を選択して掲載した。D488・494～496は口縁部外面に縄文の無い文様帶において原体圧痕列がみられる。口縁端部の欠失しているD496以外は口縁端部に原体圧痕が認められる。D489は口縁部がわずかに外反する。口縁端部には棒状工具の圧痕が施される。D490は口縁端部に原体圧痕列、体部と口縁部の境目付近には継ぎの原体圧痕が一定間隔で連続する。口縁部内面には3条の水平方向の沈線が認められる。胎土に纖維を微量含んでいる可能性がある。D491は直線的に開く口縁形態の可能性がある。口縁端部に原体圧痕

が施され、外面には引っ搔き傷のような刺突列が縦位に連続する。D492・493はいずれも尖底の底部片である。逆円錐状であり、粘土紐積み上げの最小単位で脱落したものと思われる。そのため破面は擬口縁となる。D497は口縁部が大きく開いた器形である。口縁端部に原体圧痕が施され、口縁部外面には無文帯が創出されている。胎土に繊維は含まないが、雲母を一定量含む。

D498～526は縄文早期住居2より出土した土器である。口縁部が残存するのは、D499～503・505・506・508～511・512・513・516・518～521・523・526であり、D511は全体形が判明する。口縁部形態は3形態がそれぞれ含まれる。口縁部文様帶は、縄文の無い区画に原体圧痕が巡るD499～502・521・524・526、縄文のある区画に原体圧痕が巡るD518、縄文の無い区画に隆線が巡るD503・505・506・510・511・513・518・523・525、縄文のある区画に隆線が巡るD509・513・506、など多種多様である。口縁部文様帶を持たないD520のような個体も存在する。D508は口縁部から体部にかけての破片である。口縁端部には丸棒状工具側面を斜位に押し当てた刻み目が連続する。内面は指頭圧痕が多く認められる。外面にはスス、内面にはコゲが多く付着する。胎土には雲母が目立つ。D526は口縁部に丸棒状工具側面による刻み目があり、これによって口縁は小波状となっている。口縁部外面は多重の原体圧痕が水平方向に巡る。底部片はD514・515・517・522である。D522は尖底であるが、その他の土器と異なり底部から体部への立ち上がりが直線的であり、なおかつその開きは大きく角度は約90°である。上半部が欠損しているため全体の器形は不明であるが、広い口径で低い器高の浅鉢器形である可能性もある。D511は低端部が欠損しているが、ほぼ半身が残存しており、全体形が復元できる。内外面ともに縄文が施されているが、内面は口縁部の緩やかな括れ部分のみの施文である。口縁部の折り曲げや隆線の貼付等の諸作業の内面側の當て具として縄文が施されたものと考えられる。口縁端部は人差し指の先端を押し当てた刻み目が巡り、爪の痕跡が認められる。中にはその刻み目に原体圧痕がともなう箇所も散見される。これらによって口縁部は小波状を形成している。口縁部の括れには、上下2条の貼付隆線が平行に巡る。いずれの隆線も表面には縄文の原体圧痕列が一定間隔でみられる。この原体圧痕は斜位に施され、上下の隆線で向きを変えている。下段の原体圧痕は隆線をはみ出し、下地の無文帯に及んでいる。体部の縄文は単節であるが、器形の変化点で回転方向を変えている。D523は下半が残存する。内外面ともに縄文が認められるが、内面の縄文は横方向の帯状単位があり、無文帯と縄文帯が交互にみられる。無文帯部分は粘土紐の縦ぎ目当たっており、これら縦ぎ目のナデ消しによって縄文が消失したようである。このことから内面の縦ぎ目をナデ消す作業が内面の縄文施文よりも後の作業であることがわかる。口縁部外面には貼付隆線が巡り、隆線には縦位の原体圧痕が短い一定間隔で連続する。隆線に付された原体圧痕は深く刻み込まれており、原体を折り曲げ、その屈曲部を強く押しつけている可能性が考えられる。胎土には雲母を一定量含むが、繊維は認められない。その他の同時期の土器に比べると焼成が非常に良好で硬質である。

D527～537は縄文早期住居3より出土した土器である。口縁部が残存するのは、D527・532・533・535である。口縁部形態はD527・533の2点が端部のみ外傾、D532が直線的、D535が緩やかに外彎する。内外面ともに縄文が認められ、口縁端部にもみられる。内面の縄文は口縁部の外傾した範囲のみで展開しており、口縁端部のものと一体であると思われる。口縁部の折り曲げに内面から縄文原体を回転させた可能性が考えられる。短く屈曲する口縁部で、外面の屈曲部には幅広の貼付隆線が巡る。隆線には絶条体の圧痕が縦位に一定間隔で施されている。今回出土した当該期の土器群にあって異色の存在である。D532は口縁部から体部下半の破片である。口縁部はわずかに外傾し、体部は緩やかな曲線を描きながら底部に向けて窄まる形態である。口縁端部には縄文が認められ、原体の圧痕あるいは回転によるものである。口縁部と体部との境界には1条の貼付隆線が巡り、隆線には原体圧痕列が

一定間隔で連続する。口縁部には対となる2個の補修孔がある。D533は口縁部細片である。口縁部は短く外反し、屈曲点外面には低い貼付隆線が巡る。この隆線および口縁端部には繩文が伴う。D535は口縁部と体部の境界は不明瞭である。内面には指による凹凸が顕著である。胎土は砂粒が多く含まれ、やや粗い。繩文のみであり、それ以外の施文方法が認められない。D537は底部片、その他は体部片である。D528は口縁部外面に2条の隆線がみられ、断面蒲鉾形の隆線頂部には原体圧痕が伴う。

D538～545は繩文早期住居4、D546～548は繩文早期住居5より出土した土器、D549～554は繩文時代中期の竪穴住居に混入した土器である。D539・541・544・546・547・549・554は口縁部が残存する。口縁部形態はD539・541・546・549が直線的、D544が端部のみ外傾、D554が大きく緩やかに外彎する。これらのうちD539・544・549の3点は口縁部に原体圧痕が伴う隆線が貼り付けられている。D539は隆線直下に弧状の沈線が認められる。D544の口縁端部は端部のみならず内外面も合わせて繩文が回転施文されており、特徴的である。D554は口縁部外面に横位の原体圧痕が巡る。D546は隆線が無く、無文帯も小さい幅である。口縁端部には指頭の押捺が連続する。D540・542・543・548は尖底を呈する底部片であるが、D540は先端がやや潰れたような形状である。

D555～565は繩文早期住居6より出土した土器である。口縁部形態は緩やかに外彎する形態のものではなく、直線的なものが端部が外傾するものに限られる。また、D560の1点以外は隆線が施されず、無文帯も認められない。よって、外面は底部から口縁部まで繩文に埋め尽くされている。ただし、D564は引っ掛け傷のようなアクセントが連続する。また、口縁端部は原体圧痕ではなく、原体の回転によるものが主体である。

D567～572は繩文時代早期に該当するその他の遺構出土の土器である。D566は焼土を伴う土坑から出土した土器である。円筒形で直線的な口縁形態であり、非常に特徴的である。土器上半は貝殻条痕と思われる横方向の痕跡が認められる。この条痕によって下地の繩文が磨り消されたものと思われる。この文様帶には原体圧痕が区画上下にそれぞれ巡る。原体圧痕は3条の平行曲線で、これらは原体の長さで弧状に連続押捺されている。この弧は上下反転した配置となっている。今回の調査で出土した早期土器群で条痕がみられる土器はこれ1点に限られる。

D573～595は遺構外出土の繩文時代早期末の土器である。大半が住居群周辺で出土したものであり、本来いずれかの遺構に伴うものであった可能性が高い。これらは住居等で出土したものと共に通する。

#### 早期中葉の土器（第353図、写真図版308）

D596～617は繩文時代早期中葉の土器である。貝殻腹縁文と沈線で構成される幾何学的な文様が施されたものが多く、いざれも物見台式相当の土器群であると考えられる。大きな砂粒をあまり含まず、精良な胎土の土器が多い傾向である。また、焼成は良好なものが多いのも特徴的である。大半の土器の器表面は、丁寧なミガキが施されており、場合によっては化粧土（スリップ）が塗布されたものも認められる。橙色や黄橙色の色調のものが多い傾向である。

（福島）

第1表 田舎車堂前遺跡揭示土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・(残存値)・その他最大量

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
1	210	198	土師器坏	SI09・カマド・覆土	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい黄緑	(15.4)	[2.6]	-	
2	210	198	土師器坏	SI09・北東・埋土 SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外面部回転ナダ	橙	(15.0)	5.2	(6.8)	底面部回転ナダ
3	210	198	土師器坏	SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい黄緑	(13.4)	5.4	(6.4)	底面部回転ナダ
4	210	198	土師器坏	SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外面部回転ナダ・ ケズリ	にぶい褐	-	[2.8]	5.3	底面部ヘタケズリ
5	210	198	土師器坏	SI11・北西区・床底	内面ミガキ 外面部回転ナダ	橙	14.8	5.8	(6.6)	底面部回転ナダ
6	210	198	土師器坏	SI11・南西区・床近く	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい褐	(13.2)	[3.3]	-	
7	210	198	土師器坏	SI11・南西・覆土上 SI11・北西・覆土上	内面ミガキ 外面部回転ナダ・ ケズリ	橙	(15.0)	[5.6]	-	
8	210	198	土師器坏	SI11・南西・覆土上 SI11・南西セクション	内面ミガキ	橙	(14.0)	[3.7]	-	
9	210	198	土師器坏	SI11・カマド廻道内	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい黄緑	(14.0)	[2.7]	-	
10	210	198	土師器坏	SI12・埋土下層	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい褐	(13.6)	[4.1]	-	
11	210	198	土師器坏	SI12・廻道・埋土 SI12・中央・埋土下層 SI12・南北・埋土下層	内面ミガキ 外面部回転ナダ・ 回転ヘタケズリ	橙	13.8	5.1	(6.2)	底面部回転ナダ
12	210	198	土師器坏	SI14・南・埋土	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい褐	-	5.0	5.8	底面部回転ナダ
13	210	198	土師器坏	SI201・埋土一括	内面ミガキ 外面部回転ナダ	橙	14.2	5.1	6.2	刻畫「日」 底面部回転ナダ
14	210	198	土師器坏	SI201・No.1周辺か	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい黄緑	(13.8)	[4.8]	(7.0)	底面部回転ナダ
15	210	198	土師器坏	SI201・最上層	内面ミガキ 外面部回転ナダ	明赤褐	(14.4)	4.7	(5.8)	底面部回転ナダ
16	210	198	土師器坏	SI201・埋土中位層	内面ミガキ 外面部回転ナダ	明赤褐	(14.0)	4.6	(6.6)	底面部回転ナダ
17	210	198	土師器坏	SI201・P3・埋土	内面ミガキ 外面部ケズリ	にぶい褐	-	[2.8]	(9.3)	タルル付番
18	210	198	土師器坏	SI201・埋土中位層	内面ミガキ 外面部回転ナダ	橙	-	[1.7]	(6.6)	底面部回転ナダ
19	210	198	土師器坏	SI201	内面ミガキ 外面部ケズリ	にぶい褐	-	[1.8]	(6.6)	底面部回転ナダ
20	210	198	土師器坏	SI202・カマド前・廻道・埋土	内面ミガキ 外面部ケズリ・ 回転ヘタケズリ	にぶい褐	-	[1.5]	7.2	多角形ミガキ 底部ヘタケズリ
21	210	198	土師器坏	SI202・埋土中位層	内面ミケ 外面部ケズリ	浅黄緑	-	[2.2]	(6.0)	
22	210	198	土師器坏	SI202・床上	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい褐	-	[1.8]	(6.0)	底面部ヘタケズリ
23	210	198	土師器坏	SI203	内面ミガキ 外面部回転ナダ	明褐	(14.2)	5.4	5.9	多角形ミガキ 底面部 底面部回転ナダ
24	211	198	土師器坏	SI203・床面	内面ハケ 外面部回転ナダ	橙	(13.8)	5.1	6.6	底面部回転ナダ
25	211	198	土師器坏	SI204・No.4・埋土	内面ミガキ 外面部回転ナダ	にぶい褐	(13.0)	5.4	6.2	底面部回転ナダ

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存部]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
26	211	198	土師器坏	S1204・No.1・堆土	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	(13.3)	4.8	(6.2)	
27	211	198	土師器坏	S1204・Ⅱ区・粘土内	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	-	[1.7]	5.2	底部凹転赤帯り
28	211	198	土師器坏	S1204・Ⅲ区・床内	内面ミガキ 外面部転ナダ	淡黄褐	-	[3.6]	(6.0)	底部凹転赤帯り
29	211	198	土師器坏	S1204・No.1・堆土	内面ミガキ 外面部転ナダ	模	-	[2.7]	(6.6)	底部凹転赤帯り
30	211	199	土師器坏	S1206・Aベルト・-20cm	内面ミガキ 外面部転ナダ・ ケズリ	に赤い模	-	[2.9]	5.8	底部凹転ヘラケズリ
31	211	199	土師器坏	S1206・B	内面ミガキ 外面部転ナダ・ ケズリ	に赤い模	-	[3.7]	(5.8)	底部凹転赤帯り
32	211	199	土師器坏	S1206・Aベルト・-20cm	内面ミガキ	に赤い模	-	[1.4]	(8.0)	底部凹転赤帯り
33	211	199	土師器坏	S1208・堆土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	-	[3.5]	(6.4)	底部凹転赤帯り
34	211	199	土師器坏	S1208・煙突・堆土中位	内面ミガキ 外面部ケズリ	に赤い黄模	(14.2)	5.4	(5.0)	
35	211	199	土師器坏	S1209・堆土下層	211 内面ミガキ	に赤い黄模	-	[1.7]	(5.6)	底部凹転赤帯り
36	211	199	土師器坏	S1212・P1裏となりの柱穴	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	14.0	5.6	6.0	底部凹転赤帯り
37	211	199	土師器坏	S1212・下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(14.0)	5.7	(6.1)	底部凹転赤帯り
38	211	199	土師器坏	S1212・堆土上～下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	模	13.8	6.0	5.5	底部凹転赤帯り
39	211	199	土師器坏	S1213・堆土	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(14.2)	4.6	5.5	底部凹転赤帯り
40	211	199	土師器坏	S1213・南西・堆土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	淡黄褐	(14.2)	4.95	(5.2)	底部凹転赤帯り
41	211	199	土師器坏	S1212・下層 S1213・堆土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	-	[4.2]	6.2	底部凹転赤帯り
42	211	199	土師器坏	S1213・カマド・堆土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(13.8)	4.8	5.7	底部凹転赤帯り
43	211	199	土師器坏	S1213・P1	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	(14.0)	3.95	(6.7)	底部凹転赤帯り
44	212	199	土師器坏	S1213・堆土下層	内面ミガキ 外面部ヘラナダ・ ケズリ	に赤い模	(14.4)	5.5	5.1	
45	212	199	土師器坏	S1213・堆土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ・ 回転ヘラケズリ	に赤い黄模	-	[2.9]	(6.2)	底部凹転赤帯り
46	212	199	土師器坏	S1213・堆土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(14.6)	[4.2]	-	
47	212	199	土師器坏	S1213・堆土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ・ ケズリ	に赤い模	(14.6)	4.85	(6.0)	底部凹転赤帯り
48	212	199	土師器坏	S1213・堆土上～下層	内面ミガキ 外面部転ナダ・ ケズリ	模	-	[4.2]	(5.8)	底部凹転赤帯り
49	212	199	土師器坏	S1213・堆土上～下層 S1234・P1	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(15.3)	5.3	(6.5)	底部凹転赤帯り
50	212	199	土師器坏	S1213・堆土上～下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(14.6)	[4.7]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土機構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
51	212	199	土師器坏	SI214・SI214a・SI238 (同じ住居だった)	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	-	[1.3]	5.4	直照回転あ切り
52	212	199	土師器坏	SI215・南西	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	(14.6)	[4.9]	-	
53	212	199	土師器坏	SI215・南西・埴土下層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	浅黄緑	-	[4.2]	(6.6)	直照回転あ切り
54	212	199	土師器坏	SI217・西側・下層	内面ミガキ	にぶい桜	-	[2.2]	(4.4)	直照回転あ切り
55	212	199	土師器坏	SI218・堆土上層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	(13.0)	[4.0]	-	附書「?」
56	212	199	土師器坏	SI222・南西	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい赤褐	(13.5)	[4.8]	-	直照回転あ切り
57	212	199	土師器坏	SI222・カマド裏・堆土上層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	13.1	4.6	6.1	直照回転あ切り
58	212	199	土師器坏	SI222・東北・埴土下層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	(14.8)	4.5	(5.2)	直照回転あ切り
59	212	199	土師器坏	SI222・北西・埴土下層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	14.0	5.3	5.4	直照回転あ切り
60	212	199	土師器坏	SI223 SI212	内面ミガキ 外表面回転ナダ	桜	(13.6)	[4.6]	-	
61	212	199	土師器坏	SI223・南東 SI215・北西・埴土中位	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい桜	13.4	4.9	6.0	直照回転あ切り
62	212	199	土師器坏	SI228・堆土	内面ミガキ 外表面回転ナダ	褐灰	14.0	5.1	6.2	多角形ミガキ 直照回転 ヘリタギリ
63	212	200	土師器坏	SI233	内面ミガキ 外表面回転ナダ	浅黄緑	14.2	5.5	5.2	質地高い 直照回転あ切り
64	212	200	土師器坏	SI226・堆土上層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	褐灰	-	[4.1]	-	工具回転ナダ
65	213	200	土師器坏	SI233・ベルト内(床底含む)	内面ミガキ 外表面回転ナダ	浅黄緑	14.0	5.5	5.7	直照回転あ切り
66	213	200	土師器坏	SI233・北西・堆土下層, SI235, SI214a-SI238, SI223・下層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい桜	15.0	6.0	(6.6)	直照回転あ切り
67	213	200	土師器坏	SI233・北西・堆土下層	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	(14.2)	[5.6]	-	附書「#」
68	213	200	土師器坏	SI233・ベルト内(床底含む)	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	(14.8)	[4.2]	-	
69	213	200	土師器坏	SI234・カマド	内面ミガキ 外表面回転ナダ	浅黄緑	-	[3.3]	(6.4)	
70	213	200	土師器坏	SI234	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい桜	(14.2)	5.0	5.8	直照回転あ切り
71	213	200	土師器坏	SI235・堆土	内面ミガキ 外表面回転ナダ ヘリタギリ	にぶい黄緑	(15.0)	5.2	-	
72	213	200	土師器坏	SI235・堆土	内面ミガキ 外表面回転ナダ	灰黄褐	(14.3)	5.3	6.0	直照回転あ切り
73	213	200	土師器坏	SI235・堆土	内面ミガキ 外表面回転ナダ	にぶい黄緑	-	[4.4]	-	附書「#?」
欠										
75	213	200	土師器坏	SI235・堆土	内面ミガキ 外表面回転ナダ	桜	-	[3.3]	(6.6)	直照回転あ切り

## 田舎車堂前遺跡揭示土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
76	213	200	土師器坏	S1235・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	灰黄褐	(16.1)	5.5	6.4	台に転用? 底部切削あり
77	213	200	土師器坏	S1236・ベルト内(床底含む)・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	-	[2.9]	(6.2)	
78	213	200	土師器坏	S1242・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	-	[2.4]	(5.4)	
79	213	200	土師器坏	S1242・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.8]	(6.0)	底部切削あり
80	213	200	土師器坏	S1502・埋土最上層	内面ミガキ 外面部転ナデ	浅黄褐	15.4	5.7	7.0	多角形ミガキ 底部切削あり
81	213	200	土師器坏	S1504・床直	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	14.7	5.6	6.9	底部切削あり
82	213	200	土師器坏	S1505・埋土最下層、北東下部・床直	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	(14.4)	5.5	6.0	内面底面削り 底部切削あり
83	213	200	土師器坏	S1505・下部南半・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	(12.9)	5.3	(6.0)	底部切削あり
84	213	200	土師器坏	S1505・下部南半・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	(12.4)	5.2	(5.4)	底部切削あり
85	214	200	土師器坏	S1401・カマド・床面	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい橙	(13.9)	5.0	(6.2)	底部切削あり
86	214	200	土師器坏	S1401・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	-	[1.8]	5.8	底部切削あり
87	214	200	土師器坏	S1403・西南部土坑・貼床下部	内面ミガキ 外面部転ナデ	浅黄褐	(14.8)	[5.6]	(7.8)	底部切削あり
88	214	200	土師器坏	S1403・東側	内面ミガキ 外面部転ナデ・ ケズリ	浅黄褐	-	[2.25]	(6.0)	底部ヘラクゼリ
89	214	200	土師器坏	S1403・西	内面ミガキ 外面部転ナデ	浅黄褐	-	[1.6]	(6.2)	底部切削あり
90	214	200	土師器坏	S1404・埋土	内面ミガキ 外面部転 ヘラケズリ	灰黄褐	(14.2)	4.8	(6.2)	
91	214	200	土師器坏	S1404・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	褐灰	(13.6)	5.7	6.8	底部切削あり
92	214	200	土師器坏	S1411・カマド床直・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい橙	(14.6)	5.1	6.6	底部切削あり
93	214	201	土師器坏	S1412・床面	内面ミガキ 外面部転ナデ	浅黄褐	(14.0)	[4.5]	-	
94	214	201	土師器坏	S1413・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	-	[3.2]	(6.0)	底部切削あり
95	214	201	土師器坏	S1416・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	にぶい黄褐	-	[2.6]	5.8	底部切削あり
96	214	201	土師器坏	S1418・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	浅黄褐	-	[2.6]	(5.2)	底部切削あり
97	214	201	土師器坏	S1418, S1420・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	橙	-	[2.6]	(6.2)	底部切削あり
98	214	201	土師器坏	S1418, S1420・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	浅黄褐	(15.2)	[5.8]	-	
99	214	201	土師器坏	S1418, S1420・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	明褐灰	(15.6)	[4.2]	-	
100	214	201	土師器坏	S1418・埋土	内面ミガキ 外面部転ナデ	明褐灰	(14.1)	4.8	6.3	多角形ミガキ 底部ヘラクゼリ

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
101	214	201	土師器坏	S1420・床底	内面ミガキ 外面回転ナデ	明褐灰	14.9	5.2	7.1	蓋部分、
102	214	201	土師器坏	S1420・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.9)	[5.2]	(6.0)	直脚回転角切り
103	214	201	土師器坏	S1422・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	-	[1.9]	5.6	直脚回転角切り
104	214	201	土師器坏	S1424・カマド極上・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	淡黄橙	(14.2)	5.7	(6.0)	直脚回転角切り
105	214	201	土師器坏	S1424・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[1.3]	5.4	直脚回転角切り
106	214	201	土師器坏	S1424・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	淡黄橙	13.7	4.9	6.5	直脚回転角切り
107	215	201	土師器坏	S1426	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[1.9]	(7.0)	直脚回転 角切り
108	215	201	土師器坏	S1426,S1427・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.7]	6.6	直脚回転 角切り 外脚回転 角切り
109	215	201	土師器坏	S1427・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	淡黄橙	(14.7)	5.0	6.0	内面素消失 直脚回転角切り
110	215	201	土師器坏	S1427・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[1.7]	(6.0)	内面素消失 直脚回転角切り
111	215	201	土師器坏	S1429・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.4]	(7.0)	直脚ヘラケズリ
112	215	201	土師器坏	S1430・カマド内	内面ミガキ 外脚回転ナデ	にぶい橙	(14.2)	5.2	(6.6)	
113	215	201	土師器坏	S1430・カマド端	内面ミガキ 外脚回転ナデ	淡黄橙	-	[1.8]	6.0	直脚回転角切り
114	215	201	土師器坏	S1431・埋土	内外面ミガキ	にぶい橙	-	[2.8]	(5.6)	
115	215	201	土師器坏	S1432・埋土	内面ミガキ	淡黄橙	-	[1.3]	(6.0)	直脚回転角切り
116	215	201	土師器坏	S1433・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	にぶい橙	-	[2.7]	(6.0)	直脚回転角切り
117	215	201	土師器坏	S1436・埋土	内面ミガキ	橙	-	[1.1]	7.1	直脚回転角切り
118	215	201	土師器坏	S1436・埋土	内面ミガキ 外脚ケズリ	にぶい橙	-	[2.6]	5.0	直脚ヘラケズリ
119	215	201	土師器坏	S1436・埋土 S1476・堆土	内面ミガキ 外脚回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	にぶい橙	(17.6)	5.8	5.4	蓋「人」?
120	215	201	土師器坏	S1438・埋土 S1439・北東隅埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	14.0	5.1	(6.3)	直脚回転 角切り
121	215	201	土師器坏	S1438・埋土 S1439・北東隅埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[5.3]	6.0	直脚回転角切り
122	215	201	土師器坏	S1439・北東隅・埋土・堆土下層	内面ミガキ 外脚回転ナデ	にぶい黄橙	(15.8)	5.4	(6.0)	直脚回転角切り
123	215	201	土師器坏	S1439・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	にぶい橙	(12.8)	4.2	6.5	直脚回転角切り
124	215	202	土師器坏	S1439・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	淡黄橙	-	[2.8]	5.6	直脚回転角切り
125	215	202	土師器坏	S1443・埋土	内面ミガキ 外脚回転 ヘラケズリ	にぶい橙	-	[1.8]	(6.4)	直脚回転角切り

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
126	215	202	土師器坏	S1443・埋土 S1447・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ・ 回転ヘラケズリ	に赤い模	(15.0)	4.2	(5.8)	多角形ミガキ、 直面部輪み切り
127	215	202	土師器坏	S1443・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い模	-	[2.7]	5.4	直面部輪み切り
128	216	202	土師器坏	S1444・カマド直上	内面ミガキ 外面部輪ナデ・ ケズリ	に赤い黄模	13.2	5.1	5.7	底土堅く、 焼きムク多い、 直面部輪み切り
129	216	202	土師器坏	S1444・埋土上位	内面ミガキ 外面部輪ヘラケズリ	に赤い黄模	-	[1.6]	(5.9)	直面部輪み切り
130	216	202	土師器坏	S1444・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	浅黄模	(16.4)	[4.8]	-	
131	216	202	土師器坏	S1444・カマド直上	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い模	(14.2)	5.0	5.7	墨書き「人」、 直面部輪み切り
132	216	202	土師器坏	S1444・カマド付近・カマド直上	内面ミガキ 外面部輪ナデ・ ケズリ	明赤模	12.6	5.4	5.1	墨書き「人」、 直面部輪み切り
133	216	202	土師器坏	S1445・埋土	内面ミガキ	に赤い黄模	-	[1.2]	(5.4)	直面部輪み切り
134	216	202	土師器坏	S1445・埋土	内面ミガキ 外面部輪 ヘラケズリ	浅黄模	-	[1.6]	(6.0)	直面部輪み切り
135	216	202	土師器坏	S1445・埋土・床直	内面ミガキ 外面部輪ナデ	浅黄模	(14.6)	[5.4]	-	
136	216	202	土師器坏	S1447・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い黄模	(14.0)	4.7	(5.9)	直面部輪み切り
137	216	202	土師器坏	S1447・埋土	内面ミガキ	に赤い模	-	[1.2]	(6.0)	直面部輪み切り
138	216	202	土師器坏	S1447・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	模	(14.4)	5.0	6.3	直面部輪み切り
139	216	202	土師器坏	S1447・埋土	内面ミガキ 外面部輪	灰白	13.2	5.0	6.0	直面部輪み切り
140	216	202	土師器坏	S1447・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い模	(13.5)	5.1	(5.9)	直面部輪み切り
141	216	202	土師器坏	S1447・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ・ ケズリ	に赤い模	(13.3)	5.0	5.6	直面部輪み切り
142	216	202	土師器坏	S1450・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い黄模	(15.4)	4.5	4.8	直面部輪み切り
143	216	202	土師器坏	S1450・埋土	内面ミガキ	に赤い模	(13.2)	4.9	6.0	直面部輪み切り
144	216	202	土師器坏	S1452・埋土	内面ミガキ	に赤い模	-	[2.3]	(7.2)	直面部輪み切り
145	216	202	土師器坏	S1452・カマド付近・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い模	(13.0)	5.4	(5.2)	直面部輪み切り
146	216	202	土師器坏	S1452・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い黄模	(12.6)	[5.6]	-	
147	216	202	土師器坏	S1452・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い黄模	(13.2)	4.8	(6.2)	墨書き?
148	217	202	土師器坏	S1454・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	模	(12.8)	[4.4]	-	
149	217	202	土師器坏	S1454・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	に赤い模	-	[3.2]	(5.6)	直面部輪み切り
150	217	202	土師器坏	S1454・埋土	内面ミガキ 外面部輪ナデ	浅黄模	(13.6)	5.3	(5.3)	直面部輪み切り

田舎車堂前遺跡揭示土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
151	217	202	土師器坏	S1454・南埋土、埋土	内面ミガキ	に赤い櫻	-	[3.7]	6.0	直脚回転赤切り
152	217	202	土師器坏	S1454・埋土	内面ミガキ	に赤い櫻	-	[2.9]	(6.2)	直脚回転赤切り
153	217	202	土師器坏	S1454・南埋土	内面ミガキ	に赤い櫻	-	[1.9]	(6.4)	内面洗浄済未 直脚回転赤切り
154	217	202	土師器坏	S1454・南埋土	内面ミガキ	に赤い黄櫻	-	[2.1]	5.8	内面洗浄済失
155	217	202	土師器坏	S1454・検出面～10cm下	内面ミガキ	に赤い櫻	-	[1.4]	(6.0)	直脚回転赤切り
156	217	202	土師器坏	S1454・検出面～10cm下	内面ミガキ	に赤い櫻	-	[2.6]	(6.2)	直脚回転赤切り
157	217	203	土師器坏	S1454・南埋土	内面ミガキ	に赤い黄櫻	-	[1.6]	6.2	直脚回転赤切り
158	217	203	土師器坏	S1454・検出面～10cm以下	内面ミガキ	灰黄褐	-	[1.7]	(5.0)	直脚回転赤切り
159	217	203	土師器坏	S1456・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い黄櫻	-	[1.3]	5.6	直脚回転赤切り
160	217	203	土師器坏	S1456・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	櫻	-	[1.5]	5.2	直脚回転赤切り
161	217	203	土師器坏	S1458・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い黄櫻	-	[2.3]	5.8	直脚ヘラクゼア
162	217	203	土師器坏	S1461・埋土、埋土上層	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い黄櫻	-	[2.5]	6.4	直脚回転赤切り
163	217	203	土師器坏	S1461・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	浅黄櫻	-	[1.9]	(5.0)	直脚回転赤切り
164	217	203	土師器坏	S1463・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い櫻	-	[5.1]	(6.4)	内面洗浄済失 直脚回転赤切り
165	217	203	土師器坏	S1464・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い黄櫻	(14.6)	[4.9]	(5.6)	直脚ヘラクゼア
166	217	203	土師器坏	S1464・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い櫻	-	[4.3]	(6.6)	直脚回転赤切り
167	217	203	土師器坏	S1466	内面ミガキ 外脚回転ナデ	浅黄櫻	(13.4)	5.5	6.0	直脚回転赤切り
168	217	203	土師器坏	S1468・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い櫻	-	[2.7]	(6.3)	直脚ヘラクゼア
169	217	203	土師器坏	S1471・埋土 S1482・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ・ 回転ヘラクゼア	櫻	14.4	5.0	5.7	直脚回転赤切り
170	218	203	土師器坏	S1471・鉢床	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い櫻	(14.4)	[5.8]	-	
171	218	203	土師器坏	S1471・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い黄櫻	(14.4)	4.7	(5.4)	直脚回転赤切り
172	218	203	土師器坏	S1472・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	櫻	(14.0)	[5.3]	-	質地多い。
173	218	203	土師器坏	S1475・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	櫻	-	[1.9]	(6.0)	直脚回転赤切り
174	218	203	土師器坏	S1475・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ・ ヘラクゼア	に赤い櫻	-	[0.8]	5.7	直脚回転「文」字 直脚回転赤切り
175	218	203	土師器坏	S1476・埋土	内面ミガキ 外脚回転ナデ	に赤い櫻	13.5	4.8	(7.2)	直脚回転赤切り

## 田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[現存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
176	218	203	土師器坏	S1476・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	(13.2)	4.5	6.0	直頭回転赤切引
177	218	203	土師器坏	S1478・埋土・埴、埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(14.0)	[5.2]	(6.4)	雲母多い、 直頭回転赤切引
178	218	203	土師器坏	S1478・埋土	内面ミガキ	に赤い黄模	-	[2.3]	(5.6)	直頭回転赤切引
179	218	203	土師器坏	S1481・埋土・括	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	(13.6)	[4.6]	-	
180	218	203	土師器坏	S1481・埋土・括	内面ミガキ	模	(14.0)	[4.5]	-	墨書き「大」
181	218	203	土師器坏	S1487・埋土	内面ハケ 外面部転ナダ	浅黄模	(14.2)	[5.2]	-	
182	218	203	土師器坏	S1702・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄模	(12.9)	5.2	5.7	雲母少量 直頭回転赤切引
183	218	203	土師器坏	S1702・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄模	(14.0)	[4.8]	-	雲母多量
184	218	203	土師器坏	S1702・埋土最上層	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄模	(16.0)	5.5	(8.0)	雲母少量
185	218	203	土師器坏	S1702・埋土最上層	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄模	(14.4)	[4.9]	-	
186	218	203	土師器坏	S1705・埋土(トレンチ)、 北・埋土、東側・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	灰黄模	(13.2)	[4.2]	-	
187	218	203	土師器坏	S1705・北・埋土、北側・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ・ 回転ヘラクゼリ	灰黄模	(13.4)	4.8	(5.8)	
188	218	203	土師器坏	S1706・床底	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	(13.1)	4.3	7.0	墨書き「大」 直頭回転赤切引
189	218	203	土師器坏	S1707・北西・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	-	[2.6]	6.0	直頭回転赤切引
190	218	203	土師器坏	S1707・北東・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄模	-	[2.6]	5.5	直頭回転赤切引
191	218	204	土師器坏	S1710・棲出面	内面ミガキ	浅黄模	-	[1.8]	5.6	直頭回転赤切引
192	219	204	土師器坏	S1716・埋土	内面ハケ 外面部転ナダ・ ケズリ	に赤い模	-	[3.4]	(5.8)	
193	219	204	土師器坏	S1717・埋土 S1718・床面	内面ミガキ	模	(14.8)	5.05	7.2	墨書き「大」 直頭回転赤切引
194	219	204	土師器坏	S1718・埋土、埋土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	(15.0)	5.1	6.4	雲母多い、 直頭ヘラケズリ
195	219	204	土師器坏	S1718・カマド付近直上	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い黄模	14.3	4.5	6.2	墨書き「十」 直頭ヘラケズリ
196	219	204	土師器坏	S1721・東・IV層(複瓦層)	内面ミガキ 外面部転ナダ	模	-	[2.8]	(7.1)	直頭回転赤切引
197	219	204	土師器坏	S1726・埋土 S1739・埋土、埋土(南東壁側)	内面ミガキ	に赤い黄模	-	[1.9]	(6.2)	直頭回転赤切引
198	219	204	土師器坏	S1732・埋土、カマド埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ・ 回転ヘラケズリ	に赤い模	14.4	4.5	6.0	直頭回転赤切引
199	219	204	土師器坏	S1738	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	13.5	5.2	5.0	直頭回転赤切引
200	219	204	土師器坏	S1739・カマド監理土・(北西壁)監理埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	に赤い模	(16.7)	5.6	7.2	直頭回転赤切引

## 田舎車堂前遺跡揭露土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

揭露No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
201	219	204	土師器坏	S1739・粘床・郷方埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄緑	-	[1.4]	(7.0)	
202	219	204	土師器坏	S1739・南東壁・郷方埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[1.9]	(5.6)	底部へラケズリ
203	219	204	土師器坏	S1739・カマド西辺・埋土下部	内面ミガキ 外面回転ナデ・回転ヘラケズリ	橙	-	[2.8]	5.3	底部へラケズリ
204	219	204	土師器坏	S1739・北東壁側・郷方埋土 S1727・埋土	内面ハケ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.1]	(6.2)	底面回転あ缺り
205	219	204	土師器坏	S1746・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	14.6	5.0	5.4	外面スス付 底部回転あ缺り
206	219	204	土師器坏	S1803・G3・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.0)	5.1	(4.4)	底面回転あ缺り
207	219	204	土師器坏	S1803・郷方埋土、 西検出ニアツ探乱	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	明褐色	14.8	6.0	5.9	底面回転あ缺り
208	219	204	土師器坏	S1805・郷方	内面ミガキ	にぶい橙	(15.4)	[4.5]	-	雲母多い。
209	219	204	土師器坏	S1202・埋土中位層	内外面ミガキ	黒	-	[3.2]	-	
210	219	204	土師器坏	S1202・埋土中位層	内外面ミガキ	黒	(15.6)	[3.1]	-	
211	219	204	土師器坏	S1204・埋土中位層、南壁埋土	内外面ミガキ	黒	13.8	5.4	6.6	底面回転あ缺り
212	219	204	土師器坏	S1204・埋土床	内外面ミガキ	黒褐色	(14.0)	[4.1]	-	
213	220	204	土師器坏	S1205・埋土中位層～下層	内外面ミガキ	黒褐色	(13.3)	[3.7]	-	
214	220	204	土師器坏	S1205・No.2・中位層	内外面ミガキ	にぶい橙	(12.9)	[4.6]	-	
215	220	204	土師器坏	S1206・埋土・20cm	内外面ミガキ	黒褐色	-	[2.9]	(6.6)	底部ミガキ
216	220	204	土師器坏	S1213・埋土	内外面ミガキ	黒	(15.5)	4.95	5.7	底部ヘラケズリ
217	220	204	土師器坏	S1401・北側、土坑 S1401、412・埋土	内外面ミガキ 外表面ケズリ	橙	(15.3)	6.6	(7.4)	
218	220	204	土師器坏	S1234	内外面ミガキ	黒	16.8	6.2	5.6	
219	220	204	土師器坏	S1724・埋土	内外面ミガキ	黒	(16.4)	4.5	7.2	底部ミガキ
220	220	204	土師器坏	S1726・埋土	内外面ミガキ 外表面ケズリ	黒褐色	-	[2.9]	5.4	底部ヘラケズリ
221	220	204	土師器坏	S1739・埋土・一括(北煙窓)	内外面ミガキ	褐灰	-	[4.4]	(6.4)	
222	220	204	土師器坏	S1739・粘床・郷方埋土、南東壁 S1726・埋土	内外面ミガキ	黒	(16.0)	4.35	6.8	底部ミガキ
223	220	204	土師器坏	S1201・埋土	回転ナデ	浅黃橙	(13.2)	4.8	6.0	裏ね突き板 底面回転あ缺り
224	220	204	土師器坏	S1202・埋土中位層		にぶい橙	-	[1.8]	(7.0)	底部ヘラケズリ
225	220	205	土師器坏	S1201 S1204・是上層、埋土中位層	回転ナデ	にぶい褐	(16.9)	[4.3]	-	B226と同一鉢

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

（復元値）・〔現存値〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
226	220	205	土師器坏	S1204・最上層	回転ナデ	にぶい桜	-	[2.3]	(6.2)	B22と 同一個体 直鉛回転未切り
227	220	205	土師器坏	S1206	回転ナデ	灰白	-	[2.6]	(6.0)	直鉛回転未切り
228	220	205	土師器坏	S1217・西側下層。 II A10～III A1b～2j・検出面	回転ナデ	にぶい桜	(12.8)	5.9	(6.0)	
229	220	205	土師器坏	S1223・埋土上層	回転ナデ	にぶい桜	(14.0)	[4.6]	-	
230	220	205	土師器坏	S1233・ベルト内(床底含む)	回転ナデ	浅黄桜	(12.8)	[4.2]	-	
231	220	205	土師器坏	S1416・埋土	外面回転ナデ	灰白	(12.8)	[3.6]	-	
232	220	205	土師器坏	S1424・埋土	回転ナデ	灰白	-	[4.3]	(5.8)	遺元不足の 可能性。 直鉛回転未切り
233	220	205	土師器坏	S1436・埋土、S1476・埋土	外面回転ナデ	桜	14.4	5.2	5.7	直鉛回転未切り
234	220	205	土師器坏	S1436・埋土 S1443・埋土	回転ナデ	桜	14.5	5.5	6.6	直鉛回転未切り
235	221	205	土師器坏	S1446・埋土上層	回転ナデ	灰白	(14.7)	[3.9]	-	須恵器の 可能性あり。
236	221	205	土師器坏	S1446・埋土上層	回転ナデ	浅黄桜	(13.9)	5.6	(5.0)	須恵器の 可能性あり。 直鉛回転未切り
237	221	205	土師器坏	S1453・埋土	外面回転ナデ	にぶい桜	-	[2.7]	(6.0)	直鉛回転未切り
238	221	205	土師器坏	S1454・埋土	外面回転ナデ	浅黄桜	-	[4.7]	6.8	直鉛回転未切り
239	221	205	土師器坏	S1454・南埋土	外面回転ナデ	にぶい黄桜	(14.8)	[5.8]	-	
240	221	205	土師器坏	S1454・埋土 II Y1c～2c・疊状擾乱	外面回転ナデ	浅黄桜	(14.3)	[3.8]	-	
241	221	205	土師器坏	S1454・検出面～10cm下	外面回転ナデ	灰白	(15.6)	5.8	-	
242	221	205	土師器坏	S1454・埋土	外面回転ナデ	褐灰	(13.8)	[3.9]	-	
243	221	205	土師器坏	S1454・埋土	外面回転ナデ	にぶい黄桜	(12.8)	[5.8]	(6.2)	直鉛回転未切り
244	221	205	土師器坏	S1456・埋土		にぶい黄桜	-	[0.8]	(6.2)	直鉛回転未切り
245	221	205	土師器坏	S1468・埋土	回転ナデ	浅黄桜	-	[3.9]	(5.4)	須恵器の 可能性あり。 直鉛回転未切り
246	221	205	土師器坏	S1706・埋土	回転ナデ	浅黄桜	-	[3.7]	6.5	直鉛回転未切り
247	221	205	土師器坏	S1731・埋土 S1732・カマド・埋土	外面回転ナデ	にぶい桜	13.5	4.8	6.0	須恵器の 可能性あり。 直鉛回転未切り
248	221	205	土師器坏	S1746・埋土	回転ナデ	にぶい桜	-	[1.9]	(6.0)	直鉛回転未切り
249	221	205	土師器坏	S1806・埋土・括	外面回転ナデ	にぶい黄桜	(13.9)	5.0	(6.6)	胎土無い。 直鉛回転未切り
250	221	205	土師器坏	S1204・埋土床、埋土(西側)	外面ケズリ	にぶい桜	(13.2)	[5.3]	-	

## 田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
251	221	205	土師器坏	SI204・堆土中位層、カマド右ピット	外面ケズリ	淡黄緑	(13.6)	6.0	(8.6)	
252	221	205	土師器坏	SI204・堆土	外面ケズリ	にぶい黄緑	(13.6)	[4.7]	-	
253	221	205	土師器坏	SI204・木炭層、土坑P1か		淡黄緑	(15.6)	[4.2]	-	
254	221	205	土師器坏	SI204・カマド前・灰層内		淡黄緑	(13.6)	[6.0]	-	
255	221	205	土師器坏	SI204・床直		灰白	(14.0)	[6.7]	-	
256	221	205	土師器坏	SI212・最上層、堆土上層、 堆土最下層、SI207・堆積食時、 II A4～6-1 檜山面	外面ケズリ	淡黄緑	12.9	6.8	6.1	
257	221	205	土師器坏	SI212・堆土最上層	外面ケズリ	にぶい緑	(14.4)	5.3	(6.0)	
258	221	205	土師器坏	SI212・堆土最上層、南東・堆土下層	外面ケズリ	褐灰	(13.6)	5.3	(6.6)	
259	221	205	土師器坏	SI212・下層、北の山(?)遺構?・ SI213・堆土 残土表張	外面ケズリ	にぶい緑	(13.0)	6.0	(5.0)	
260	222	205	土師器坏	SI213・堆土下層	外面ミガキ	褐灰	12.8	6.5	6.8	ヌヌ、 台に転用?
261	222	206	土師器坏	SI213・堆土	外面ケズリ	褐灰	(14.9)	5.9	(8.0)	
262	222	206	土師器坏	SI213・堆土	外面ケズリ	褐灰	15.8	[6.7]	-	
263	222	206	土師器坏	SI213・堆土上～下層、堆土、カマド SI235 II B6a～e・表土検出面	外面ケズリ	褐灰	(12.9)	6.5	(6.8)	
264	222	206	土師器坏	SI213・堆土上～下層、堆土	外面ケズリ	にぶい緑	(14.1)	5.0	(7.2)	
265	222	206	土師器坏	SI213・堆土下層 SI235	外面ケズリ	褐灰	(12.0)	6.6	7.0	
266	222	206	土師器坏?	SI213・堆土上～下層 SI233	外面ケズリ	淡黄緑	-	[2.5]	(7.4)	
267	222	206	土師器坏	SI213・堆土 SI234	外面ケズリ	淡黄緑	(13.6)	5.8	(7.2)	
268	222	206	土師器坏	SI213・堆土下層		灰白	(13.0)	4.8	(6.9)	
269	222	206	土師器坏	SI214・堆土トレンチ	外面ケズリ	褐灰	(12.8)	5.4	7.0	台に転用?
270	222	206	土師器坏	SI215・南西、北東	外面ケズリ	にぶい緑	(14.2)	6.0	7.4	
271	222	206	土師器坏	SI215	外面ケズリ	にぶい緑	(14.6)	5.3	(7.0)	
272	222	206	土師器坏	SI233・下層	外面ケズリ	にぶい褐色	(13.8)	5.0	(8.0)	
273	222	206	土師器坏	SI234・床面	外面ケズリ	灰白色	(14.6)	5.8	7.2	
274	222	206	土師器坏	SI234、 II B21～6j、II C2a～6a・検出面	外面ケズリ	にぶい緑	(13.8)	5.6	(5.6)	
275	222	206	土師器坏	SI237・カマド周辺	外面ケズリ	淡黄緑	(13.3)	6.8	(7.1)	ヌヌ、 台に転用?

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

（復元版）・〔残存版〕・その他最大値

掲載No	図版	写真回数	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
276	222	206	土師器坏	S1502・埴土上～下層	外面ケズリ	に赤い褐色	13.1	5.6	(6.0)	
277	222	206	土師器坏	S1505・埴土最下層	外面ケズリ	灰白	(13.0)	6.0	(7.0)	
278	222	206	土師器坏	S1502・埴土上～下層、東西ベルト埴土下層	外面ケズリ	に赤い黄褐色	(13.0)	5.2	6.0	
279	222	206	土師器坏	S1404・埴土	外面ケズリ	に赤い黄褐色	-	[3.6]	(7.2)	
280	222	206	土師器坏	S1430・埴土	外面ケズリ	に赤い黄褐色	-	[2.5]	6.8	
281	222	206	土師器坏	S1436・埴土	外面ケズリ	灰白	(12.6)	6.7	(7.4)	
282	222	206	土師器坏	S1436・埴土、SK428・埴土	外面ケズリ	に赤い褐色	(13.4)	5.3	6.6	
283	222	206	土師器坏	S1439・埴土	外面ケズリ	明褐色	(11.0)	[3.5]	-	
284	222	206	土師器坏	S1454・埴土	外面ケズリ	褐色	(13.6)	[5.1]	-	
285	222	206	土師器坏	S1454・埴土		に赤い黄褐色	-	[0.7]	7.2	直頭ヘタケズリ
286	222	206	土師器坏	S1454・埴土	外面ケズリ	に赤い褐色	(14.8)	5.4	(7.0)	
287	222	206	土師器坏	S1454・埴土	外面ケズリ	褐色	(14.1)	5.8	(8.2)	
288	222	206	土師器坏	S1454・後出面～10cm下	外面ケズリ	に赤い黄褐色	(14.0)	5.7	(7.0)	
289	222	206	土師器坏	S1458・埴土	外面ケズリ	に赤い褐色	-	[2.7]	6.8	
290	222	206	土師器坏	S1474・埴土 S1470・埴土	外面ケズリ	淡黄褐色	(12.8)	[3.6]	-	ヌス多量に付着
291	222	206	土師器坏	S1729・埴土	外面ケズリ	褐色	-	[1.7]	(6.8)	
292	222	206	土師器坏	S1739・點状、瓶形埋土、攪乱丸、攪乱丸(北側)	外面ケズリ	に赤い黄褐色	(13.4)	[5.4]	-	
293	223	207	須恵器坏	S108・南西・埴土下層 S1C3a・レンガ セカションベルト・IV層下	回転ナデ	灰白	14.2	5.2	4.1	直頭回転角切り
294	223	207	須恵器坏	S111・南西・埴土上		褐色	-	[1.3]	6.2	直谷平窓？内面斜め直頭回転角切り
295	223	207	須恵器坏	S1213・埴土上～下層	回転ナデ	灰	(13.8)	4.9	(6.0)	直頭回転角切り
296	223	207	須恵器坏	S1218	回転ナデ 外面回転 ヘラケズリ	灰白	-	[1.6]	(5.8)	直頭回転角切り
297	223	207	須恵器坏	S1220・埴土上位	回転ナデ	灰白	(14.3)	[4.9]	(5.0)	直頭回転角切り
298	223	207	須恵器坏	S1222・カマドそば・埴土上層、 北東・埴土下層	回転ナデ	灰白	[14.2]	4.8	(5.0)	未使用か？直頭回転角切り
299	223	207	須恵器坏	S1235・埴土	外面回転ナデ	青灰	-	[1.7]	(6.0)	直頭回転角切り
300	223	207	須恵器坏	S1444・埴土	回転ナデ	灰白	15.1	5.2	5.3	内面擦痕 直頭回転角切り

田舎車堂前遺跡揭示土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
301	223	207	須恵器坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	灰	-	[4.2]	(6.0)	直面部転角切り
302	223	207	須恵器坏	SI436・埋土	外面回転ナデ	灰	-	[1.6]	6.3	内面微痕 底部回転角切り
303	223	207	須恵器坏	SI443・埋土 II Z・検出面	外面回転ナデ	灰白	-	[1.8]	5.4	内面微痕 底部回転角切り
304	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	明赤褐	-	[2.2]	4.8	直面部転角切り
305	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	浅黄橙	(14.0)	[4.2]	-	墨書き「?」
306	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	青灰	14.6	5.0	5.7	一部乳白色 直面部転角切り
307	223	207	須恵器坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	灰白	-	[3.8]	(5.2)	直面部転角切り
308	223	207	須恵器坏	SI456・埋土	回転ナデ	灰	-	[1.8]	4.4	直面部転角切り
309	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	灰	-	[2.0]	(6.0)	直面部転角切り
310	223	207	須恵器坏	SI442・埋土	外面回転ナデ	灰白	-	[1.8]	(5.4)	直面部転角切り
311	223	207	須恵器坏	SI470・埋土 SI474・埋土 SI420・埋土	回転ナデ	灰白	14.5	5.3	5.4	ヘラ彫 「?」か? 底部へクザリ
312	223	207	須恵器坏	SI474・埋土		灰白	-	[0.8]	5.2	直面部転角切り
313	223	207	須恵器坏	SI475・埋土 SI424・埋土	回転ナデ	灰白	(14.0)	[4.8]	5.4	直面部転角切り
314	223	207	須恵器坏	SI478・埋土一括		灰	-	[1.2]	(5.6)	直面部転角切り
315	224	207	須恵器坏	SI476・埋土	回転ナデ	灰	(14.6)	4.5	(5.4)	直面部転角切り
316	224	207	須恵器坏	SI476・埋土	回転ナデ	青灰	(12.9)	4.1	(5.4)	直面部転角切り
317	224	207	須恵器坏	SI436・埋土、埋土	回転ナデ	灰白	14.4	5.0	5.8	焼成不良の 痕跡 底部回転角切り
318	224	207	須恵器坏	SI481・埋土一括	回転ナデ	灰白	(13.2)	4.6	(5.6)	S319と同時焼成 底部へクザリ
319	224	207	須恵器坏	SI481・埋土	回転ナデ	灰白	(14.2)	4.0	5.6	S318と同時焼成 底部へクザリ
320	224	207	須恵器坏	SI481・埋土一括		灰	-	[0.8]	(6.0)	直面部転角切り
321	224	207	須恵器坏	SI710・東東・埋土	回転ナデ	灰白	(13.6)	[4.9]	(5.6)	墨書き「?」 底部底 直面部転角切り
322	224	207	須恵器坏	SI726・埋土		灰白	-	[1.4]	(5.2)	直面部転角切り
323	224	207	須恵器坏	SI507・東東・埋土、 SI503・検出面 西側ニア、 Ⅲ B 検出面	内面回転ナデ 外側ケズリ	灰白	(15.6)	3.0	(12.0)	底部へクザリ
324	224	208	土器器高台坏	SI242	内面ミガキ 外側回転ナデ	にぶい黄緑	(13.3)	6.0	(7.4)	
325	224	208	土器器高台坏	SI09・東東・埋土 SI10・北西・埋土 SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外側回転ナデ	にぶい黄緑	16.2	[6.4]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

（復元版）・〔現存版〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法（cm）			その他
							口径	器高	底径	
326	224	222	土師器高台坏	S1202・中化層・埋土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	にぶい黄緑	(15.2)	6.1	(7.4)	底部駆出ナダ
327	224	222	土師器高台坏	S1202・駆出・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	にぶい橙	-	[5.2]	(8.8)	多角形ミガキ
328	224	222	土師器高台坏	S1202・床面	外面部転ナダ	にぶい橙	-	[3.8]	(9.8)	
329	224	222	土師器高台坏	S1202・埋土中位層	内面ハケ 外面部ミガキ	褐灰	-	[3.6]	7.6	
330	224	222	土師器高台坏	S1202・最上層・床面	内外面ミガキ	黒	-	[1.6]	(8.8)	
331	224	222	土師器高台坏	S1203・カマド右・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	にぶい橙	-	[2.9]	(7.2)	
332	224	222	土師器高台坏	S1205・埋土中位層	外面部転ナダ	浅黄緑	-	[3.2]	(8.0)	
333	224	222	土師器高台坏	S1206・埋土-20cm	内外面ミガキ	黒褐	-	[2.6]	-	
334	224	222	土師器高台坏	S1213・埋土最上層	内面ミガキ 外面部転ナダ	にぶい橙	-	[2.4]	-	
335	224	222	土師器高台坏	S1212・西半・埋土最下層	内面ミガキ 外面部転ナダ ヘラケズリ	浅黄緑	-	[4.2]	(8.8)	
336	224	222	土師器高台坏	S1213・埋土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	にぶい橙	-	[4.3]	(9.0)	
337	224	222	土師器高台坏	S1221・埋土上層	外面部転ナダ	にぶい橙	-	[2.1]	7.6	
338	224	222	土師器高台坏	S1222・P1・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ・ ケズリ	灰白	16.7	6.5	7.7	
339	224	222	土師器高台坏	S1231・床面	外面部転ナダ	にぶい黄緑	-	[2.4]	(8.6)	
340	224	222	土師器高台坏	S1235・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	灰白	(15.0)	(6.2)	-	高台爪あと
341	224	222	土師器高台坏	S1233・北西・埋土下層		橙	-	[1.6]	(8.0)	
342	224	222	土師器高台坏	S1233・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄緑	(16.0)	[5.6]	-	
343	225	223	土師器高台坏	S1401・南側	外面部ミガキ	にぶい黄緑	-	[2.9]	7.6	
344	225	223	土師器高台坏	S1403・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄緑	-	[2.7]	-	底部駆出あたり
345	225	223	土師器坏	S1403・西側	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄緑	(16.0)	[4.2]	-	刻畫
346	225	223	土師器高台坏7	S1424・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄緑	17.2	[4.7]	-	裏面多孔
347	225	223	土師器高台坏	S1454・南塵土	内面ミガキ	黄緑	-	[3.3]	(8.0)	
348	225	223	土師器高台坏	S1454・検出面～10cm下・埋土	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄緑	(15.9)	6.1	9.2	
349	225	223	土師器高台坏	S1445・床直	内面ミガキ 外面部転ナダ	浅黄緑	15.9	6.2	-	
350	225	223	土師器高台坏	S1454・埋土	外面部転ナダ	にぶい黄緑	-	[3.3]	(8.0)	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
351	225	208	土師器高台坪	SI454・埋土	内外面ミガキ	黒	-	[1.8]	9.4	濃黒ミガキ
352	225	208	土師器高台坪	SI423・埋土		淡黄橙	-	[3.5]	(6.0)	
353	225	208	土師器高台坪	SI427・埋土		にぶい橙	-	[1.8]	(6.2)	
354	225	208	土師器高台坪	SI430・埋土下部	内外面ミガキ	黒	-	[2.3]	(7.2)	
355	225	208	土師器高台坪	SI459, SI461・埋土	内面ミガキ	淡黄橙	-	3.9	9.4	
356	225	208	土師器高台坪	SI478・埋土 SI403・P22	内面ミガキ 外面回転ナメ	淡黄橙	(17.0)	[6.2]	-	雲母多い
357	225	208	土師器高台坪	SI704・埋土(トレンチ)	内面ミガキ	淡黄橙	-	[2.7]	(6.6)	
358	225	208	土師器高台坪	SI739・貼床・縦方埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[4.4]	(7.7)	
359	225	208	土師器高台坪	SI746・埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.8]	-	
360	225	208	土師器高台坪	SI212・埋土	内面ミガキ 外面回転ナメ	にぶい橙	(13.5)	[4.5]	-	
361	225	208	土師器高台坪	SI215・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナメ	淡黄橙	(13.6)	[2.6]	-	
362	225	209	土師器高台皿	SI502・埋土上-下位	内面ミガキ 外面回転ナメ	にぶい橙	13.0	4.0	6.2	雲母「？」
363	225	209	土師器高台皿	SI408・埋土	内面ミガキ 外面回転ナメ	淡黄橙	(13.6)	[2.6]	-	
364	225	209	土師器高台皿	SI426・埋土	内面ミガキ 外面回転ナメ	橙	(13.6)	[3.6]	-	
365	225	209	土師器高台皿	SI704・埋土(トレンチ)	内面ミガキ	にぶい橙	(14.0)	[2.6]	-	
366	225	209	土師器高台皿	SI738・埋土・カマド埋土	内面ミガキ 外面回転ナメ	にぶい橙	(12.9)	[5.4]	(7.8)	多角形ミガキ
367	225	209	土師器耳皿	SI202・埋土中位～下層	内外面ミガキ	黒褐	8.8	[3.4]	5.6	
368	225	209	土師器耳皿	SI212	内外面ミガキ	黒	[9.4]	[3.4]	4.2	
369	225	209	土師器耳皿	SI233・北西・埋土下層	内外面ミガキ	黒	-	3.9	4.3	
370	226	209	土師器坪	SI203・カマド右・埋土	内面ミガキ 外面ハケ	淡黄橙	(16.0)	[5.0]	-	
371	226	209	土師器坪	SI204(205かも.)・中位	内外面ミガキ	にぶい黄橙	(17.1)	5.6	-	
372	226	209	土師器坪	SI205	内外面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(16.0)	[5.2]	-	
373	226	209	土師器坪	SI206・埋土下層	内外面ミガキ	淡黄橙	(14.9)	5.6	-	
374	226	209	土師器坪	SI205・床上木炭上・埋土下層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(13.8)	5.3	-	
375	226	209	土師器坪	SI205・埋土中位層	内面ミガキ 外面ケズリ	淡黄橙	(17.0)	[4.7]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元版)・[現存版]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調査	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
376	226	209	土師器坏	S1205・A	内外面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(16.0)	[5.1]	-	
377	226	209	土師器坏	S1205	内外面ミガキ	にぶい赤褐	18.0	5.2	-	
378	226	209	土師器坏	S1205・B-ベルト・埋土	内面ミガキ	にぶい褐	(15.2)	[3.1]	-	
379	226	209	土師器坏	S1205・No.2・中位層	内外面ミガキ	にぶい橙	(15.8)	4.7	-	
380	226	209	土師器坏	S1205・最上層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(11.1)	3.6	-	
381	226	209	土師器坏	S1205・No.5	内外面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(10.0)	4.5	-	
382	226	209	土師器坏	S1205・最上層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(12.6)	4.2	-	
383	226	209	土師器坏	S1205・No.2・中位層	内面ミガキ 外面ケズリ	灰白	14.6	5.2	-	
384	226	209	土師器坏	S1205・埋土下層	内外面ミガキ 外面ハケ	にぶい黄橙	16.4	4.5	-	
385	226	209	土師器坏	S1207・カマド左側1.5m・+20cm埋土	内外面ミガキ	浅黄橙	(13.4)	[3.75]	-	
386	226	209	土師器坏	S1207・カマド煙道、カマド埋土	内外面ミガキ 外面ケズリ	灰黄褐	(17.7)	[5.3]	-	
387	226	209	土師器坏	S1207・No.1・床+10cm	内外面ミガキ	橙	(17.4)	[5.6]	-	
388	226	209	土師器坏	S1219・南東・埋土、南西・埋土	内外面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(17.4)	5.4	-	
389	226	210	土師器坏	S1229		灰黄褐	(14.5)	6.0	-	
390	226	210	土師器坏	S1229・カマド付近南西・埋土下層	内面ミガキ	にぶい橙	(17.1)	5.8	-	
391	227	210	土師器坏	S1504・埋土上-下位、 中央、表土-腹出面	内外面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(17.0)	3.7	-	
392	227	210	土師器坏	S1507・カマド左袖内	内外面ミガキ	浅黄橙	(15.6)	[3.7]	-	
393	227	210	土師器坏	S1507・左半トレンチ 残土中	内外面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(15.7)	[4.2]	-	
394	227	210	土師器坏	S1706・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	灰黄褐	(15.5)	5.1	-	底部へラケテ
395	227	210	土師器高坏	S1203・南側精査～昨年床精査	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[4.0]	-	
396	227	210	土師器高坏	S1205・埋土下層	外面回転ナデ	にぶい橙	-	[4.6]	(9.2)	
397	227	210	土師器高坏	S1455・埋土	内面ハケ。 ケズリ?	橙	-	[2.5]	(11.0)	
398	227	210	土師器高坏	S1803・カマド左袖・床直	内面ミガキ	浅黄橙	-	[1.8]	-	
399	227	210	土師器高坏	S1718・埋土下層、周溝	内外面ミガキ	浅黄橙	-	[5.6]	-	
400	227	210	土師器鉢	S106・埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	(17.4)	[2.5]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

（復元版）・〔現存版〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺物・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法（cm）			その他
							口径	器高	底径	
401	227	210	土師器鉢	S1201・床面	内面ミガキ 外面回転ナデ	に赤い黄緑	-	[3.2]	-	
402	227	210	土師器鉢	S1202・床面	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	に赤い黄緑	(24.6)	[11.4]	-	
403	227	210	土師器鉢	S1237・カマド周辺 S1203・雨蓋側面～昨年度検査	内面ミガキ	に赤い赤褐	-	[9.5]	-	
404	227	210	土師器鉢	S1505・トレンチ・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄緑	(15.6)	[5.6]	-	
405	227	210	土師器鉢	S1447・埋土	外面回転 ヘラケズリ	に赤い橙	-	[1.9]	(6.2)	直面回転角切り
406	227	210	土師器鉢	S1418, 451, 453・埋土 S1454・北端土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	に赤い黄緑	-	[16.6]	(10.6)	
407	227	210	土師器鉢	S1710・貼糞	外側ケズリ 内面ミガキ	に赤い褐	-	[2.7]	[6.8]	裏面多量 直面回転角切り
408	227	210	土師器鉢	S1718・埋土	内面回転ナデ 外側ケズリ	灰黄褐	-	[3.1]	5.5	直面回転角切り
409	227	210	土師器鉢	S1203・No.2・床面		灰白	13.1	7.9	6.4	
410	227	210	土師器鉢	S1219・南東・埋土	内面ハケ 外面ミガキ	に赤い褐	(13.9)	11.4	(5.1)	
411	228	210	土師器甕	S106・カマド一括	内面ヘラナデ 外側ヘラナデ・ ケズリ	褐灰	15.4	19.6	8.2	底部木葉板
412	228	211	土師器甕	S108・ベルト 蓋C 3a・トレンチ・ セクションベルトF (住)	内外面ヘラナデ・ ハケ	褐灰	(14.2)	[9.9]	-	
413	228	211	土師器甕	S109・カマド・蓋上、中央南西・ 底面付近、TV115・底面付近、 通路T111・底2段、壁C 2 b・ 2 c段、SD46點掘物ボイント土器部	内面ハケ 外面ミガキ	褐灰	12.6	19.8	8.5	底部木葉板
414	228	211	土師器甕	S109・カマド周辺、南西・埋土上層、 北西・埋土下層、東北・埋土、 ・北東・埋土	外側ヘラナデ	褐灰	-	[19.9]	(7.6)	
415	228	211	土師器甕	S109・南東・埋土		褐灰	-	[2.8]	(7.6)	底部木葉板
416	228	211	土師器甕	S109・カマド周辺、北東・埋土 S110・北西隅・埋土下層	内面ハケ 外側ケズリ	に赤い黄緑	-	[18.7]	(10.8)	底部木葉板
417	228	211	土師器甕	S110・北西隅・埋土下層	外側ケズリ 内面一部 ユビオサニ有	灰黄褐	(9.2)	7.0	-	
418	228	211	土師器甕	S110・K1・埋土	内面外ヘラナデ・ ハケメ	褐灰	-	[7.8]	(6.9)	底部ナデ
419	228	211	土師器甕	S110・南東・埋土上層	外側ハケ	に赤い黄緑	-	[3.4]	(11.8)	底部木葉板
420	228	211	土師器甕	S111・カマド周辺内、カマド内	外側ヘラナデ	に赤い黄緑	-	[5.4]	(10.2)	
421	228	211	土師器甕	S111・カマド周辺北東区、 カマド北東区・崩落土、 カマド内・2層、3層		褐灰	-	[5.6]	(8.8)	
422	228	211	土師器甕	S111・北東・埋土上、 カマド下	内面ハケ 外側ヘラナデ	褐灰	(13.0)	[11.0]	-	
423	228	211	土師器甕	S111・右カマド線上、カマド周辺北東区、 北東区・底面付近、北東・埋土上、 カマド右隅・底付・ブロック中、 底ヒビ・東側側面・底底	外側ケズリ	灰黄褐	(12.8)	14.8	8.0	
424	229	211	土師器甕	S112・南半・埋土下層	内外内面ハケ 外側ケズリ	灰黄褐	-	[8.1]	8.3	底部木葉板
425	229	211	土師器甕	S112・南半・埋土下層	内面ハケ 外側ミガキ	棕	(18.2)	[7.6]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調査	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
426	229	211	土師器甕	SII12・埋土下層	内外面ユビナデ	褐灰	-	[5.1]	(9.6)	
427	229	211	土師器甕	SII13・床底 SD34・(壁)		にぶい黄澄	(20.8)	[8.3]	-	
428	229	211	土師器甕	SII14・ベルト	内外面ヘラナデ 外面ケズリ	褐灰	-	[6.5]	(7.8)	底部ヘラケズリ
429	229	211	土師器甕	SII14・北・埋土下層	内面ハケ 外面ヘラナデ	灰白	-	[4.8]	7.6	底部木綿底
430	229	211	土師器甕	SII14・東・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄澄	-	[3.1]	(7.4)	底部木綿底
431	229	211	土師器甕	SII14・ベルト	内外面ハケ	褐灰	(17.2)	[10.4]	-	
432a	229	211	土師器甕	SII14・北・埋土下層、 東・埋土、東・埋土下層、 北・埋土	外面ヘラナデ	にぶい黄澄	(18.6)	[17.5]	-	
432b	229	211	土師器甕	SII14・北・埋土下層、 東・埋土、東・埋土下層、 北・埋土	外面ヘラナデ	にぶい黄澄	-	[19.4]	-	
433	229	212	土師器甕	SII201・最上面	外面ケズリ	褐灰	-	[2.9]	(9.0)	底部木綿底
434	229	212	土師器甕	SII204・カマド右側・點床	内面ハケ	褐灰	(12.0)	[6.1]	-	
435	229	212	土師器甕	SII204・カマド右側・No.9	外面ケズリ	にぶい椎	-	[6.6]	(10.4)	底部木綿底
436	229	212	土師器甕	SII206・A.No.1・總底面	外面ミガキ	褐灰	-	[6.1]	5.6	底部木綿底
437	229	212	土師器甕	SII206・A.No.1・總器面		にぶい椎	-	[2.8]	(8.2)	底部木綿底
438	230	212	土師器甕	SII206・Bカマド内	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい褐	(17.8)	[17.6]	-	
439	230	212	土師器甕	SII212・埋土最上層、埋土下層	外面ケズリ	にぶい黄澄	(15.0)	[20.4]	-	
440	230	212	土師器甕	SII212	内外面ハケ 外面ヘラナデ	にぶい黄澄	-	[4.9]	7.4	底部木綿底
441	230	212	土師器甕	SII212・埋土下層、南東埋土下層	内外面ハケ	灰黃褐	-	[7.7]	10.6	底部木綿底
442	230	212	土師器甕	SII212・北の山(別遺構?)		褐灰	7.6	7.4	5.0	外面スキ、 内面ミガキ 底部ヘラケズリ
443	230	212	土師器甕	SII213	内外面ハケ	褐灰	-	[8.4]	8.0	底部木綿底
444	230	212	土師器甕	SII213・埋土下層、埋土・カマド部材	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄澄	(18.9)	32.7	(10.2)	底部ヘラケズリ
445	230	212	土師器甕	SII213・ベルト埋土	内外面ハケ	灰黃褐	(16.0)	[6.8]	-	
446	230	212	土師器甕	SII213・下層	内外面ハケ	にぶい黄澄	(11.2)	[5.8]	-	
447	230	212	土師器甕	SII214・SII214=SII238	外面ハケ	褐灰	-	[3.2]	(7.4)	
448	230	212	土師器甕	SII214・埋土上層	内面ハケ	灰白	-	[2.7]	(11.2)	底部木綿底
449	230	212	土師器甕	SII215・埋土下層	外面ケズリ	褐灰	(11.8)	[9.7]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元版)・[現存版]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
450	230	212	土師器甕	S1221・埴土上層、埴土下層	外面ハケ	に赤い褐色	-	[5.6]	[8.1]	
451	231	212	土師器甕	S1221・埴土上層	内外面ハケ	に赤い褐色	(20.6)	[9.9]	-	
452	231	212	土師器甕	S1222・埴土下層、カマド支脚	外面ハラナデ	に赤い黄褐色	-	[8.9]	8.8	底部木葉痕
453	231	212	土師器甕	S1222・カマドそば・埴土上層	外面ケズリ	灰白	-	[7.9]	8.3	
454	231	212	土師器甕	S1223・南東・埴土、西カマド・埴土	内面ハケ 外面ケズリ	に赤い黄褐色	(15.0)	[9.1]	-	
455	231	212	土師器甕	S1223・埴土上層	外面ミガキ	に赤い褐色	(17.2)	[9.8]	-	
456	231	213	土師器甕	S1223・北東・埴土下層	外面ハケ	に赤い黄褐色	-	[14.3]	[8.0]	底部木葉痕
457	231	213	土師器甕	S1231・下層	外面ハケ	に赤い黄褐色	(19.8)	[11.3]	-	
458	231	213	土師器甕	S1223・西カマド・埴土、(底) S1231・下層	内外面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐色	(19.5)	[18.8]	-	
459	231	213	土師器甕	S1233・埴土下層	外面ケズリ	褐灰	-	[6.7]	8.6	底部木葉痕
460	231	213	土師器甕	S1235	内外面ハケ	灰黄褐色	(22.7)	[22.1]	-	
461	232	213	土師器甕	S1236・埴土 S1214	外面ハケ	灰黄褐色	-	[11.3]	10.9	
462	232	213	土師器甕	S1235		灰黄褐色	-	[3.7]	8.9	底部木葉痕
463	232	213	土師器甕	S1235	内外面ハケ	に赤い黄褐色	(11.8)	[7.0]	-	
464	232	213	土師器甕	S1242・埴土	内外面ハケ	灰白	(18.0)	[15.3]	-	
465	232	213	土師器甕	S1244・埴土上層	外面ケズリ	褐灰	-	[8.8]	7.2	底部木葉痕
466	232	213	土師器甕	S1503・カマド付近・床直 S1502・ベルト・埴土	内面? 外面ハケ	褐灰	(12.4)	[7.7]	-	B466上 同一個体?
467	232	213	土師器甕	S1502・ベルト・埴土		浅黄褐色	(19.2)	[8.0]	-	
468	232	213	土師器甕	S1502・埴土	外面ハケ	浅黄褐色	(19.6)	[6.6]	-	
469	232	213	土師器甕	S1502・西壁・床面	内外面ハケ	褐灰	-	[8.8]	[8.8]	B466上 同一個体? 底部木葉痕
470	232	213	土師器甕	S1504・埴土下位、カマド近く・埴土	外面ハケ	灰白	-	[3.3]	8.4	
471	232	213	土師器甕	S1504・カマド埴土、カマド	外面ハケ	に赤い黄褐色	(15.4)	[9.6]	-	
472	232	213	土師器甕	S1504・カマド	内外面ハケ	に赤い黄褐色	(15.6)	[6.5]	-	
473	232	213	土師器甕	S1505・下部埴土		褐灰	-	[2.5]	[6.5]	
474	232	213	土師器甕	S1505・下部埴土	外面ハケ	褐灰	-	[4.5]	[6.0]	底部ハケ

## 田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[現存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
475	232	214	土師器甕	SI507・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐色	-	[8.6]	(8.4)	底部木葉板
476	232	214	土師器甕	SI507・北東・埋土下層 西側エリア・横出面	内外面ハケ	褐灰	-	[7.7]	(9.4)	底部木葉板
477	233	214	土師器甕	SI507・南西・埋土上層		褐灰	(21.0)	[12.6]	-	
478	233	214	土師器甕	SI507・南西竈側・埋土上層	内面ハケ	灰黄褐色	(20.0)	[19.0]	-	
479	233	214	土師器甕	SI507・北側・埋土	内外面ハケ	橙	(21.6)	[8.4]	-	
480	233	214	土師器甕	SI507・西側(北西) 集中部・埋土下層・北側埋土	内外面ハケ	にぶい黄緑	(19.2)	[28.1]	-	
481	233	214	土師器甕	SI401 II Z 南側	外面ケズリ	灰黄褐色	-	[17.5]	10.0	底部ヘラケズリ
482	233	214	土師器甕	SI401・南側・埋土 II Z 南側	外面ケズリ	にぶい黄緑	(23.0)	[24.5]	-	
483	234	214	土師器甕	SI402・埋土下位・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[8.0]	10.7	底部木葉板
484	234	214	土師器甕	SI403・北側	外面ハケ	灰黄褐色	(16.0)	[7.7]	-	
485	234	214	土師器甕	SI403・東側	内外面ハケ	にぶい黄緑	(23.0)	[10.8]	-	
486	234	214	土師器甕	SI403・カマド構造物中	外面ハケ	黄緑	(16.4)	[8.3]	-	
487	234	214	土師器甕	SI403・床面	外面ケズリ	褐灰	-	[4.8]	(7.8)	底部木葉板
488	234	214	土師器甕	SI403・土坑・粘土下	内面ハケ 外面回転ナデ	褐灰	(12.4)	[8.2]	-	
489	234	214	土師器甕	SI403・東側	内外面ハケ	灰黄褐色	-	[4.0]	(8.8)	
490	234	214	土師器甕	SI403・北・床面	外面回転ナデ	灰白	-	[3.2]	(10.0)	底部木葉板
491	234	214	土師器甕	SI403・カマド構造物中	内面ハケ	にぶい黄緑	-	[3.2]	(10.4)	底部木葉板
492	234	215	土師器甕	SI404・埋土	内外面ハケ	にぶい黄緑	(16.4)	[11.3]	-	
493	234	215	土師器甕	SI411・カマド・床底・埋土 カマド内・カマド土器	内外面ハケ	灰黄褐色	23.4	[26.2]	-	
494	234	215	土師器甕	SI411・カマド・床底・埋土 カマド内・カマド土器	内外面ハケ	にぶい橙	(18.4)	[22.0]	-	
495	235	215	土師器甕	SI411・ カマド・カマド土器、埋土	外面ハケ	にぶい黄緑	(21.0)	[14.7]	-	
496	235	215	土師器甕	SI411・カマド構造物	外面ケズリ・ハケ	にぶい黄緑	(26.0)	[7.0]	-	
497	235	215	土師器甕	SI411・カマド内・カマド	外面ハケ	にぶい褐	-	[21.8]	(9.6)	
498	235	215	土師器甕	SI413・埋土	内外面ハケ	にぶい橙	(13.6)	[6.0]	-	
499	235	215	土師器甕	SI413・埋土	回転ナデ	褐灰	(15.8)	[3.7]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元品)・[現存品]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
500	235	215	土師器甕	S1413・埋土・堆土下位	外面ケズリ	に赤い黄緑	-	[5.7]	(8.8)	
501	235	215	土師器甕	S1418・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐	(13.9)	[7.0]	-	
502	235	215	土師器甕	S1420・床直	外面ケズリ	褐灰	(15.2)	[10.1]	-	
503	235	215	土師器甕	S1420・埋土	内外面ハケ	浅黄緑	(20.0)	[8.8]	-	
504	235	215	土師器甕	S1420・埋土・S1403・南側、 S1418・埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[10.5]	(13.0)	底部木蓋板
505	235	215	土師器甕?	S1421・埋土	外面ハケ	灰白	-	[2.5]	(8.0)	底部木蓋板
506	235	215	土師器甕	S1421・埋土	内外面ハケ	に赤い黄緑	-	[9.3]	(9.6)	
507	235	215	土師器甕	S1429・埋土	内外面ハケ	に赤い黄緑	(13.7)	[5.6]	-	
508	236	216	土師器甕	S1429・床面	内外面ハケ	に赤い黄緑	(17.4)	[8.8]	-	
509	236	216	土師器甕	S1429・床面	内外面ハケ	に赤い黄緑	(18.4)	[12.0]	-	
510	236	216	土師器甕	S1430・埋土下部、堆道2、 旧住居、埋土上部	外面ケズリ	明褐色	11.1	11.6	8.4	
511	236	216	土師器甕	S1430・ベルト・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	浅黄緑	(13.2)	[9.7]	-	
512	236	216	土師器甕	S1430・カマド内	外面ケズリ	に赤い黄緑	-	[3.2]	(9.2)	
513	236	216	土師器甕	S1430・東東・埋土上部	外面ケズリ	に赤い褐	(14.2)	[9.8]	-	
514	236	216	土師器甕	S1430・東東・埋土上部	内面ハケ 外面ケズリ	に赤い黄緑	(22.6)	[4.8]	-	
515	236	216	土師器甕	S1430・旧住居	内外面ハケ	に赤い黄緑	(17.0)	[4.6]	-	
516	236	216	土師器甕	S1430・堆道2	外面ケズリ	に赤い黄緑	(20.2)	[8.6]	-	
517	236	216	土師器甕	S1430・カマド内	内外面ハケ	灰黃褐色	(23.0)	[10.5]	-	
518	236	216	土師器甕	S1430・埋道	内外面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(21.0)	[7.1]	-	
519	236	216	土師器甕	S1430・旧カマド	内外面ハケ	に赤い褐	(20.4)	[6.9]	-	
520	236	216	土師器甕	S1430・埋道2	内外面ハケ	褐灰	(20.6)	[8.5]	-	
521	236	216	土師器甕	S1430・東東・埋土上部、 カマド下脇	内外面ハケ	灰褐色	(22.4)	[23.3]	-	
522	237	216	土師器甕	S1430・堆道2・埋土下部	外面ケズリ	灰白	(14.8)	[9.1]	-	
523	237	216	土師器甕	S1430・堆道2	外面ケズリ	に赤い黄緑	-	[7.5]	(10.6)	底部木蓋板
524	237	216	土師器甕	S1431・埋土	内外面ハケ	に赤い黄緑	(15.5)	[5.1]	-	

## 田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
525	237	216	土師器甕	S1431・埋土		に赤い黄緑	(14.2)	[4.7]	-	
526	237	216	土師器甕	S1431・埋土、カマド堆土	外面ハケ	灰白	(17.8)	[11.7]	-	
527	237	216	土師器甕	S1436・埋土	外面ケズリ	明褐色	(19.0)	[10.1]	-	
528	237	216	土師器甕	S1436・埋土		褐灰	-	[1.4]	(11.8)	砂底
529	237	216	土師器甕	S1439・北東隅・埋土	外面ケズリ	褐灰	15.0	18.4	9.6	
530	237	217	土師器甕	S1439, S1433・北東隅・埋土	内面ケズリ	に赤い黄緑	(19.8)	[8.6]	-	
531	237	217	土師器甕	S1442・埋土	内外面ハケ	灰黄褐	(16.5)	27.0	10.4	
532	237	217	土師器甕	S1442・埋土 S1443・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[11.0]	(8.0)	
533	238	217	土師器甕	S1442・埋土	外面ケズリ	灰黄褐	(17.6)	[24.1]	-	
534	238	217	土師器甕	S1443・埋土		褐灰	-	[3.7]	(8.4)	底部木葉痕
535	238	217	土師器甕	S1443・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[5.4]	(8.6)	
536	238	217	土師器甕	S1445・埋土、埋土下層	内面ハケ	褐灰	-	[2.6]	(10.6)	
537	238	217	土師器甕	S1445・埋土上層		褐灰	(13.6)	[3.8]	-	
538	238	217	土師器甕	S1445・埋土下層	外面ケズリ	に赤い褐	20.7	[26.6]	-	
539	238	217	土師器甕	S1445・床直	外面ハケ	明褐色	(19.8)	[17.8]	-	
540	238	217	土師器甕	S1445・埋土上層、埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(19.0)	[17.6]	-	
541	238	217	土師器甕	S1445・埋土、埋土下層		に赤い褐	(12.4)	[10.6]	-	
542	238	217	土師器甕	S1445・床直		褐灰	-	[6.5]	(11.6)	
543	238	218	土師器甕	S1445・床直		灰褐	-	[3.3]	-	刻記「+」
544	238	218	土師器甕	S1445・埋土、カマド2・煙道 S1445の下・検出	外面ケズリ	褐灰	-	[13.3]	(12.5)	
545	239	218	土師器甕	S1449・埋土		に赤い黄緑	-	[4.3]	(7.6)	
546	239	218	土師器甕	S1452・埋土	内外面ハケ	に赤い黄緑	-	[4.8]	(7.0)	底部木葉痕
547	239	218	土師器甕	S1450・埋土	内外面ハケ	灰白	(14.6)	[11.5]	-	
548	239	218	土師器甕	S1454・南・埋土	外面ケズリ	褐灰	(13.4)	[5.8]	-	
549	239	218	土師器甕	S1454・北	内外面ハケ	褐灰	(13.3)	[6.5]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
550	239	218	土師器甕	S1454・埋土、南埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[4.2]	(9.7)	底部木葉痕
551	239	218	土師器甕	S1454・南埋土	外面ハケ	褐灰	-	[3.7]	(9.1)	
552	239	218	土師器甕	S1454・埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[3.0]	(9.5)	底部木葉痕
553	239	218	土師器甕	S1454・後出面～10cm下	内外面ハケ	灰白	-	[2.8]	(9.6)	底部木葉痕
554	239	218	土師器甕	S1454・後出面～10cm下	内外面ハケ	浅黄緑	(15.9)	[5.0]	-	
555	239	218	土師器甕	S1454・埋土、南埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄緑	(16.4)	[3.5]	-	
556	239	218	土師器甕	S1454・後出面～10cm下	内外面ハケ	にぶい黄緑	(19.5)	[6.6]	-	
557	239	218	土師器甕	S1454・埋土	内外面ハケ	にぶい黄緑	(18.2)	[6.8]	-	
558	239	218	土師器甕	S1454・埋土	内外面ハケ	にぶい黄緑	-	[3.2]	6.5	底部木葉痕
559	239	218	土師器甕	S1454・埋土	外面ケズリ	灰黄褐	-	[5.8]	(11.6)	底部木葉痕
560	239	218	土師器甕	S1454・南埋土、埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄緑	(17.2)	21.4	8.8	底部木葉痕
561	240	218	土師器甕	S1458・埋土	内面ハケ	灰黄褐	(20.8)	27.7	-	
562	240	218	土師器甕	S1461・埋土、埋土下位	内面ケズリ	褐灰	-	[10.7]	(10.8)	底部木葉痕
563	240	218	土師器甕	S1461・床直		にぶい黄緑	-	[3.2]	(7.6)	
564	240	218	土師器甕	S1461・埋土		褐灰	(10.0)	[5.2]	-	
565	240	218	土師器甕?	S1461・埋土		にぶい緑	-	[1.8]	(8.6)	
566	240	218	土師器甕	S1461・埋土、埋土下位	内外面ハケ	灰黄褐	(13.6)	21.4	(10.8)	底部木葉痕
567	240	219	土師器甕	S1461・埋土、埋土下位	内外面ハケ	褐灰	(12.0)	16.1	8.0	底部木葉痕
568	240	219	土師器甕	S1463・埋土 S1454・埋土	内外面ハケ	浅黄緑	(18.2)	[8.6]	-	
569	240	219	土師器甕	S1459・埋土 S1464・埋土	内外面ハケ	褐灰	(11.4)	13.7	8.0	底部木葉痕
570	240	219	土師器甕	S1464・埋土、貼土埋土	内外面ハケ	灰黄褐	(17.8)	[11.8]	-	
571	240	219	土師器甕	S1465・埋土		褐灰	-	[1.8]	[4.8]	
572	241	219	土師器甕	S1468・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(22.8)	[12.6]	-	
573	241	219	土師器甕	S1471・埋土 S1710・後出面	内外面ハケ	浅黄緑	(17.4)	[7.3]	-	
574	241	219	土師器甕	S1471・埋土	内外面ハケ	褐灰	12.6	[6.3]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[現存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真回版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
575	241	219	土師器甕	S1471・埋土	内面ハケ	褐	(16.2)	[9.2]	-	
576	241	219	土師器甕	SK461・埋土 S1472・埋土、埋土下層	内外面ハケ	明褐色	(20.6)	[16.8]	-	
577	241	219	土師器甕	S1472・埋土 S1471・埋土 SK461・埋土	内外面ハケ	灰黄褐色	(14.0)	[9.8]	-	
578	241	219	土師器甕	S1471・埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐色	(16.4)	[18.1]	-	
579	241	219	土師器甕	S1471・埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[7.6]	-	
580a	241	219	土師器甕	S1474・埋土 S1470・埋土	内外面ハケ	褐灰	(16.0)	[13.0]	-	
580b	241	219	土師器甕	S1474・埋土、粘土埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[11.3]	(11.6)	
581	242	219	土師器甕	S1474・埋土, S1470・埋土	内外面ハケ	褐灰	(15.2)	15.5	7.6	
582	242	219	土師器甕	S1474・カマド	外面ハケ	に赤い黄緑	[16.6]	[6.9]	-	
583	242	219	土師器甕	S1474・埋土 S1470・埋土	内外面ハケ	浅黄褐色	-	[11.8]	10.6	
584	242	220	土師器甕	S1474・カマド	内面ハケ	浅黄褐色	(14.0)	[7.8]	-	
585	242	220	土師器甕	S1478・埋土	内外面ハケ	褐灰	(13.0)	[6.5]	-	
586	242	220	土師器甕	S1478・埋土一括	内面ハケ	灰黄褐色	(15.2)	[4.8]	-	
587	242	220	土師器甕	S1478・埋土		に赤い黄緑	-	[2.3]	(8.8)	
588	242	220	土師器甕	S1478・埋土一括	内面ハケ	褐灰	-	[2.0]	(7.0)	
589	242	220	土師器甕	S1478・埋土	内外面ハケ	灰白	(18.8)	[15.7]	-	
590	242	220	土師器甕	S1478・埋土、S1401・北西部 S1481・埋土一括、 カマド付近・埋土	内外面ハケ	灰黄褐色	-	[8.2]	9.7	Y-C 底部木製板
591	242	220	土師器甕	S1476・埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[10.6]	(8.1)	
592	242	220	土師器甕	S1478・粘土・埋土	内面ハケ 外表面ケズリ	褐灰	-	[7.4]	(8.3)	
593	242	220	土師器甕	S1478・粘土・埋土	内面ハケ	灰白	-	[4.6]	(8.8)	
594	243	220	土師器甕	S1481・埋土、カマド付近・ 埋土	内外面ハケ	に赤い橙	(16.8)	24.6	8.7	
595	243	220	土師器甕	S1481・東北隅・床直	内面ハケ	に赤い橙	(19.2)	32.6	9.5	
596	243	220	土師器甕	S1481・埋土、埋土カマド付近	内外面ハケ	褐灰	-	[8.2]	7.8	底部に台輪。
597	243	220	土師器甕	S1482・埋土	内外面ハケ	褐灰	(14.0)	[9.2]	-	
598	243	220	土師器甕	S1487・埋土	外表面ケズリ	褐灰	(13.6)	[8.8]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調査	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
599	243	220	土師器甕	SIT01・北東・埋土下層	内外面ハケ	にぶい橙	(18.0)	[7.2]	-	
600	243	220	土師器甕	SIT01・埋土上層、カマド焼跡・底上、カマド・埋土	外面ハケ	褐灰	-	[18.1]	(9.6)	
601	243	220	土師器甕	SIT01・埋土上層・北東・埋土下層	外面ハケ	にぶい黄橙	(24.6)	[9.8]	-	
602	244	221	土師器甕	SIT03・煙出し・埋土・埋土	外面ハケ	灰黄褐	17.6	33.6	(10.0)	
603a	244	221	土師器甕	SIT04・トレンチ・埋土・SIT04の西側検出	内外面ハケ	褐灰	(13.9)	[13.2]	-	
603b	244	221	土師器甕	SIT04・トレンチ・埋土・SIT04の西側検出	内外面ハケ	褐灰	-	[4.7]	(9.2)	底部木葉痕
604	244	221	土師器甕	SIT05・トレンチ・埋土		褐灰	-	[3.6]	(8.6)	底部木葉痕
605	244	221	土師器甕	SIT05・北・埋土	外面ハケ	灰黄褐	-	[6.1]	(8.5)	
606	244	221	土師器甕	SIT05・南西検出面～最上層Ⅱ A6a～7b	外面ケズリ	褐灰	(17.6)	25.8	9.2	
607	244	221	土師器甕	SIT06・トレンチ・最上層・埋土・SIT42・埋土	外面ヘラナダ	灰褐	(17.5)	[9.4]	-	
608	244	221	土師器甕	SIT07・南西・埋土・南東・埋土	外面ハケ	灰黄褐	-	[7.3]	(9.2)	
609	244	221	土師器甕	SIT08・概方埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[6.1]	(7.7)	
610	244	221	土師器甕	SIT09・埋土	外面ハケ	褐灰	(11.0)	[9.7]	-	
611	244	221	土師器甕	SIT09・検出面・東側・埋土最上層SK466・埋土SIT114・埋土	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[6.3]	9.0	
612	244	221	土師器甕	SIT10・検出面・トレンチ	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[5.4]	(9.6)	
613	245	221	土師器甕	SIT10・ベルト・トレンチ・検出面・SIT471・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(20.8)	[29.5]	-	
614	245	222	土師器甕	SIT10・検出面	外面ハケ	褐灰	-	[4.2]	(9.4)	底部木葉痕
615	245	222	土師器甕	SIT12・カマド内一括	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[5.3]	9.2	
616	245	222	土師器甕	SIT14・埋土 SIT09・検出面	外面ケズリ	褐灰	(14.2)	[11.9]	-	
617	245	222	土師器甕	SIT17・埋土	内外面ハケ	灰黄褐	-	[4.4]	(10.2)	底部木葉痕
618	245	222	土師器甕	SIT17・埋土	内外面ハケ	にぶい橙	(10.2)	[10.6]	-	
619	245	222	土師器甕	SIT18・周膚	内外面ハケ	にぶい黄橙	(19.4)	[7.9]	-	
620	245	222	土師器甕	SIT18・埋土下層	内面ハケ 外面ケズリ	黒褐	(11.4)	[7.1]	-	
621	245	222	土師器甕	SIT18・埋土下層	外面ケズリ	灰白	-	[3.7]	(11.0)	
622	245	222	土師器甕	SIT21・カマド内一括 SK701・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(13.3)	[8.4]	-	

## 田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
623	245	222	土師器甕	S1721・カマド内一括	外面ケズリ	に赤い模	(19.2)	[15.7]	-	
624	245	222	土師器甕	S1721・埴土・埴土床面、カマド内一括	外面ケズリ	に赤い模	-	[12.7]	(8.4)	B625と同一個体
625	246	222	土師器甕	S1721・カマド内一括	外面ハケ	に赤い模	(17.9)	[7.5]	-	B624と同一個体
626	246	222	土師器甕	S1721, S1712・カマド内一括	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[24.0]	-	
627	246	222	土師器甕	S1729・カマド前床面・埴土	外面ハケ	に赤い黄模	-	[10.9]	-	
628	246	222	土師器甕	S1731・埴土 S1732・埴土	外側ハラナダ・ ハケ	灰褐	(14.0)	[11.1]	-	
629	246	222	土師器甕	S1737・埴土	内外面ハケ	褐灰	(15.0)	[7.4]	-	
630	246	222	土師器甕	S1739・カマド右袖・瓶方埴土		に赤い黄模	-	[5.7]	(7.8)	
631	246	222	土師器甕	S1739・埴土・埴土下部(北側) S1746・S801・埴土	外面ケズリ	に赤い模	(9.4)	9.8	4.4	直部ヘラケズリ
632	246	222	土師器甕	S1739・埴土下部(カマド周辺)、 カマド脇・埴土・カマド崩壊土、 S1727・埴土・S1746・埴土	内外面ハケ 外面ケズリ	褐黄褐	(21.4)	23.1	(8.2)	
633	246	223	土師器甕	S1739・起立・瓶方埴土・横乱穴	内面ハケ	に赤い模	(11.4)	[6.4]	-	
634	246	223	土師器甕	S1739・埴土下部(カマド周辺)、 埴方埴土・埴方原土・埴左袖・ 埴方原土・埴の底	内面ハケ 外面ケズリ	に赤い模	(22.2)	[21.2]	-	
635	247	223	土師器甕	S1739・埴土・埴土下部 カマド周辺・SP01埋土		褐灰	(10.4)	[10.3]	(7.4)	
636	247	223	土師器甕	S1739・粘土・埴土下部 南東壁 S1726・埴土・埴土下部	内面ヘラナダ 外面ケズリ	褐灰	(17.4)	[18.3]	-	
637	247	223	土師器甕	S1745・埴土	内面ハケ 外面ミガキ	褐灰	(11.0)	[9.2]	-	
638	247	223	土師器甕	S1746・埴土	外面ケズリ	褐灰	-	[2.8]	(7.6)	底部木葉板
639	247	223	土師器甕	S1803・カマド脇・埴土・ カマド右袖・埴土・カマド底面直	外面ケズリ	褐灰	-	[7.5]	7.0	底部木葉板
640	247	223	土師器甕	S1803・瓶方埴土・Q4・埴土・ Q2瓶・埴土・カマド底面土	内外面ハケ	褐灰	(14.6)	[6.5]	-	
641	247	223	土師器甕	S1803・NS-ベルト・埴土最下部・ NS-ベルト・床面	内外面ハケ	灰黃褐	(13.5)	[14.1]	-	
642	247	223	土師器甕	S1803・埴土最下部・Q1・埴土・ Q4・瓶方埴土・カド・脇・埴土・ NS-ベルト・埴土最下部	外面ケズリ	灰黃褐	(14.8)	13.7	(8.8)	
643	247	223	土師器甕	S1803・Q2カマド・埴土・ カマド脇・床面・No.1・土器裏直上・ 北の復乱	内外面ハケ	灰黃褐	(18.6)	25.9	(7.6)	
644	247	223	土師器甕	S1803・Q1(カマド左袖側)・ 瓶方埴土	内面ハケ	模	(19.2)	[11.7]	-	
645	247	223	土師器甕	S1805・瓶方・瓶方一括	内面ハケ 外面ケズリ	灰黃褐	-	[4.9]	9.2	底部木葉板
646	247	223	土師器甕	S1805・瓶方・瓶方一括	内外面ハケ	褐灰	-	[4.2]	(10.2)	底部木葉板
647	247	223	土師器甕	S1805・瓶方・瓶方一括	内外面ハケ	に赤い黄模	(18.5)	[7.7]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
648	248	223	土師器甕	S1805・施土、施土一括	内外面ハケ	灰白	(15.8)	[15.9]	-	
649	248	224	土師器甕	S1805・埋土一括、一括	内外面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄緑	(19.2)	[22.4]	-	
650	248	224	土師器甕	S1806・埋土一括	外面ケズリ	褐灰	-	[3.8]	(8.2)	底部へラケズリ
651	248	224	土師器甕	S1809・施土埋土	内外面ハケ	にぶい黄緑	(17.6)	[11.6]	-	
652	248	224	土師器甕	S1809・土器1・点取り	内外面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(14.4)	14.1	8.9	底部木漬板
653	248	224	土師器甕	S1811・煙道	内外面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(18.2)	[15.4]	-	
654	248	224	土師器甕	S1811・煙道	内外面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[9.3]	(10.6)	底部木漬板
655	248	224	土師器甕 口クロ	S1201・最上面		淡黄緑	(18.0)	[2.25]	-	
656	248	224	土師器甕 口クロ	S1222・焼出面、北東・埋土下層	回転ナデ 外面ケズリ	灰白	(12.4)	12.4	(6.2)	内面ヨグ
657	248	224	土師器甕 口クロ	S1223・西カマド・埋土	回転ナデ	にぶい黄緑	-	[2.3]	6.0	底部回転赤目
658	248	224	土師器甕 口クロ	S1436・埋土	回転ナデ	にぶい橙	-	[2.4]	(7.8)	底部回転赤目
659	248	224	土師器甕 口クロ	S1225・煙道～煙出し・埋土	外面ケズリ	にぶい黄緑	(20.6)	[13.7]	-	
660	249	224	土師器甕	S1445・床底	外面回転ナデ	にぶい橙	(16.6)	[5.3]	-	
661	249	224	土師器甕	S1447・埋土	回転ナデ	にぶい黄緑	(14.2)	[3.8]	-	
662	249	224	土師器甕	S1454・焼出面～10cm下 外・S1453-456あたり	回転ナデ	褐灰	(18.2)	[2.6]	-	
663	249	224	土師器甕	S1456・埋土	回転ナデ	淡黄緑	-	[3.9]	6.5	底部回転赤目
664	249	224	土師器甕	S1476・埋土	回転ナデ	灰黄褐	(14.2)	[4.4]	-	
665	249	224	土師器甕	S1701・埋土最上層、北西・埋土下層	回転ナデ	にぶい黄緑	-	[2.6]	(9.4)	底部回転赤目
666	249	224	土師器甕	S1701・埋土最上層	回転ナデ	にぶい黄緑	(13.8)	[6.1]	-	
667	249	224	土師器甕	S1710・南西・埋土	回転ナデ	にぶい橙	(16.2)	[6.0]	-	
668	249	224	土師器甕	S104・埋土	内外面ヘラナデ	灰白	-	[3.5]	(8.0)	底部木漬板
669	249	224	土師器甕	S105・埋土上層 S105・焼出面	内面ハケ 外面ヘラナデ	にぶい黄緑	-	[5.0]	8.4	底部木漬板
670	249	224	土師器甕	S108・南西・埋土下層	内面ハケ 外面ヘラナデ	灰黄褐	-	[5.7]	(7.2)	底部木漬板
671	249	224	土師器甕	S1202・焼出面 S1203・床面	内外面ハケ	にぶい褐	14.2	20.8	6.0	底部ヘラナデ
672	249	224	土師器甕	S1202・B. No. 1	内外面ミガキ	橙	18.0	[14.5]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[現存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
673	249	224	土師器甕	S1202・中位層・埋土	内外面ハケ	褐灰	(12.2)	12.9	7.8	
674	249	225	土師器甕	S1202・中位層・カマド前點床・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[2.5]	(7.0)	底部ハケ
675	249	225	土師器甕	S1202・検出面	外面ヘラナデ	褐灰	-	[1.2]	4.8	底部木葉板
676	249	225	土師器甕	S1203・No.13・燒土上層	外面ヘラナデ	にぶい黄緑	-	[6.3]	10.0	
677	249	225	土師器甕	S1203・埋土No.7・埋土No.8 S1204・埋土No.7	外面ヘラナデ・ ハケ 外面ミガキ	にぶい黄緑	(17.1)	17.7	7.0	
678	250	225	土師器甕	S1203・床面	内外面ハケ	灰黄褐	-	[5.25]	7.6	底部木葉板
679	250	225	土師器甕	S1203・No.1床面付近		にぶい黄緑	-	[2.3]	(8.6)	底部木葉板
680	250	225	土師器甕	S1203・埋土No.8	内外面ハケ	褐	(16.4)	[14.2]	-	
681	250	225	土師器甕	S1203・埋土No.6・周辺特査	内面ヘラナデ・ ハケ 外面ミガキ	淡黄緑	(20.0)	[11.7]	-	
682	250	225	土師器甕	S1203・No.12・燒土上層	内外面ハケ	にぶい黄緑	-	[6.5]	7.4	
683	250	225	土師器甕	S1205・床上木隠上・埋土中位層・ 床+5cm	内外面ミガキ	にぶい褐	13.8	[8.6]	-	
684	250	225	土師器甕	S1205・カマド左・埋土No.07		褐灰	-	[2.9]	(8.7)	底部木葉板
685	250	225	土師器甕	S1205・西・埋土・床+5cm・AとB	外面ミガキ	にぶい褐	(18.6)	[23.0]	-	
686	250	225	土師器甕	S1207・木炭層中・ No.2土師器甕床中・ No.3土師器甕 (No.2と同一)	内外面ミガキ	淡黄緑	16.4	21.8	7.2	内面ヨグ
687	250	225	土師器甕	S1210・上位層	回転ナフ	淡黄緑	(16.6)	[3.6]	-	
688	250	225	土師器甕	S1212・南面土器(遺物点有)	外面ミガキ	にぶい黄緑	16.8	[23.1]	-	
689	251	225	土師器甕	S1212・埋土最上層・埋土上層・ 埋土下層	内面ハケ 外面ミガキ	にぶい黄緑	(17.6)	[20.6]	-	
690	251	225	土師器甕	S1219・南東・埋土・南西・埋土	内面ハケ 外面ミガキ	にぶい褐	-	[10.8]	7.6	底部木葉板
691	251	226	土師器甕	S1219・南東・埋土 S1223・煙道～廻出し・埋土	内面ミガキ 内面ヘラナデハケ	褐	-	[26.8]	(7.9)	
692	251	226	土師器甕	S1224・土器A	内外面ミガキ 外面ハケ	灰黄褐	(20.0)	[24.0]	-	口縁内面 ミガキ
693	251	226	土師器甕	S1224・埋土上層	内外面ミガキ	褐灰	(17.4)	[6.8]	-	
694	251	226	土師器甕	S1227・北西・下層・ 面A1a～4b・検出面	外面ハケ	にぶい褐	-	[7.8]	6.6	
695	251	226	土師器甕	S1234・埋土 SK233・埋土	内外面ハケ	淡黄緑	-	[5.2]	(5.8)	
696	251	226	土師器甕	S1234・カマド	内外面ハケ	褐灰	-	[7.1]	(9.0)	底部に台輪
697	251	226	土師器甕	S1501・南東・埋土下層	内外面ハケ	灰黄褐	-	[3.8]	(6.4)	底部ハケ

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
698	251	226	土師器甕	S1506・カマド脇	内外面ハケ	にぶい黄緑	(20.8)	[25.5]	-	
699	252	226	土師器甕	S1507・カマド芯材		灰白	-	[2.6]	8.0	直底木葉底
700	252	226	土師器甕	S1507・北東・埋土下層		浅黄緑	-	[2.9]	(7.6)	
701	252	226	土師器甕	S1507・北東・埋土下層		灰黄褐	-	[3.1]	(7.6)	
702	252	226	土師器甕	S1507・埋土		褐灰	-	[3.8]	(8.2)	直底木葉底
703	252	226	土師器甕	S1507・埋土		灰黄褐	-	[3.4]	(8.4)	
704	252	226	土師器甕	S1507・埋土・北東・埋土下層、 カマド芯材西・横出面	内外面ハケ 外面ミガキ	棕	19.0	[14.5]	-	
705	252	226	土師器甕	S1507・北東・埋土・東平トレンチ、 北西・埋土最下層～床底、 カマド芯材	内面ハケ 外面ミガキ	棕	-	[16.4]	(9.0)	直底ハケ
706	252	226	土師器甕	S1507・南半・南・埋土上層、 北東・埋土下層	内面ミガキ	浅黄緑	(20.2)	[9.3]	-	
707	252	226	土師器甕	S1507・埋土	外面ミガキ	褐灰	-	[3.4]	(7.9)	
708	252	227	土師器甕	S1508・南東・最下層、 南西・床底、ベルト	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい褐	-	[12.8]	(7.4)	直底木葉底
709	252	227	土師器甕	S1421・埋土	内外面ハケ 外面ミガキ	にぶい黄緑	(21.4)	[13.4]	-	
710	252	227	土師器甕	S1430・カマド脇	内面ハケ	にぶい黄緑	-	[3.0]	(11.0)	直底木葉底
711	252	227	土師器甕	S1430・カマド脇、カマド内	内外面ミガキ	褐灰	-	[11.5]	-	
712	252	227	土師器甕	S1430・No.1土器	内面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	-	[20.1]	9.1	直底木葉底
713	253	227	土師器甕	S1430・埋土下部	外面ミガキ	明褐色	-	[18.0]	8.8	
714	253	227	土師器甕	S1460・埋土、II Z2-2b検出面、 B Z2-3b検出面、S1441・ カマド付近、S1445・埋土上層	内面ミガキ	にぶい棕	(19.8)	23.9	6.8	内面ログ
715	253	227	土師器甕	S1709・P1埋土	内面ハケ	浅黄緑	-	[6.3]	(8.4)	
716	253	227	土師器甕	S1218・埋土上層	内面ミガキ 外面ケズリ	浅黄緑	-	[8.6]	(7.8)	
717	253	227	土師器甕	S1202・最上層	内外面ミガキ	黒褐	-	[4.7]	(7.4)	
718	253	227	土師器甕	S1204・カマド右側・點床	外面ミガキ	黒	-	[7.6]	6.0	直底川輪赤切り
719	253	227	土師器甕	S1454・検出面～10cm下 S1453・埋土	外面ミガキ	黒	-	[4.3]	(6.0)	
720	253	227	土師器甕	S106・カマド一括 S106・埋土上層 S106・埋土、TT周辺・表様	外面ミガキ	にぶい黄緑	(14.0)	[19.6]	-	
721	253	227	土師器甕	S1242・埋土	内外面ミガキ	にぶい黄緑	(13.2)	[7.1]	-	
722	253	227	土師器甕	S1221・埋土上位、 トレンチ・埋土上～下層、埋土下層	外面ミガキ	黒褐	-	[10.5]	-	カキ目

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[現存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
723	253	227	土師器兼	S1201・ノア周辺か、No4・カマド右側・床面、カマド縦道内	内外面ハケ	に赤い黄緑	-	[26.9]	-	
724	254	228	土師器兼	S1203・堆土No.8、堆土No.11	外面ハケ・ミガキ	淡黄緑	(17.8)	[7.6]	-	
725	254	228	土師器兼	S108・南西・堆土下層	内面ハケ 外面ハラナデ	に赤い黄緑	-	[2.7]	7.0	
726	254	228	土師器兼	S112・南半・堆土下層	内面ミガキ 外面ハケ	褐灰	(12.2)	[9.7]	-	
727	254	228	土師器兼	S112・堆土上層 S112・南東・堆土上層 S113・1層	内面ハケ	褐灰	(12.9)	18.4	9.0	
728	254	228	土師器兼	S1474・堆土		褐灰	(11.2)	11.5	(8.2)	内面ヨグ
729	254	228	土師器兼	S1201・カマド縦道内・最上層	内外面ハケ	橙	(18.8)	[14.9]	-	
730	254	228	土師器兼	S1202・床+10cm~床、No.1・堆土中位層	内外面ハラナデ	橙	-	[31.3]	-	
731	255	228	土師器兼	S1205・堆土下層、No.1、堆土中位層、堆土No.9	外面ハケ・ミガキ	褐灰	-	[11.7]	9.0	
732	255	228	土師器兼	S1205・堆土中位層、堆土No.8	内外面ハケ 外面ミガキ	橙	-	[30.0]	(6.6)	
733	255	229	土師器兼	S1229・南東・堆土・堆土下層	外面ミガキ	淡黄緑	(15.9)	25.3	(8.8)	
734	255	229	土師器兼	S1229・北東・堆土上層、北西・堆土下層	外面ミガキ	橙	(18.4)	23.7	9.4	
735	255	229	土師器兼	S1206・A、No.1、確認面	内外面ハケ	橙	(20.4)	[27.3]	-	
736	256	229	土師器兼	S1233・南東・堆土下層	外面ハケ	褐灰	(14.8)	[9.2]	-	
737	256	229	土師器兼	S1236・堆土	外面ハケ	淡黄緑	-	[13.6]	-	
738	256	229	土師器兼	S1420・煙道2	外面ケズリ	灰黒褐色	(17.0)	[8.7]	-	
739	256	229	土師器兼	S1430・堆土ベルト、煙道	内外面ハケ 外面ケズリ	灰白	(14.6)	[7.1]	-	
740	256	229	土師器兼	S1401・土坑・堆土	内外面ハケ	に赤い黄緑	(23.5)	[8.2]	-	
741	256	229	土師器兼	S1244・床直	内外面ハケ 外面ミガキ	淡黄緑	(16.0)	[24.0]	-	
742	256	229	土師器兼	S1439・堆土		褐灰	(9.2)	[8.8]	-	
743	256	229	土師器兼	S1442付近・堆土	外面ケズリ	に赤い黄緑	-	[7.2]	8.6	
744	256	230	土師器兼	S1507・北側・堆土、西側(北西)集中部・堆土下層	内外面ハケ	淡黄緑	-	[25.0]	(9.6)	底部凹輪角切り
745	257	230	土師器兼	S1454・堆土	内外面ハケ 外面ミガキ	に赤い黄緑	(17.6)	[27.5]	-	
746	257	230	土師器兼	S1701・ベルト・堆土最上層	外面ミガキ	に赤い黄緑	(15.0)	[16.9]	-	
747	257	230	土師器兼	S1465・堆土	外面ハケ	淡黄緑	-	[2.3]	(13.0)	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
748	257	230	土師器壺	S1473・埋土	外面ハケ	褐灰	-	[5.7]	(11.4)	
749	257	230	土師器壺	S1709・東側・埋土最上層、 埋土、検出面 S1714・埋土、SK466・埋土	内外面ハケ	にぶい褐	(16.0)	[20.2]	-	
750	257	230	土師器壺	S1721・P	内外面ハケ	灰白	(19.8)	[6.8]	-	
751	257	230	土師器壺	S1805・壓力	内外面ハケ	にぶい褐	(10.8)	[5.1]	-	
752	257	230	土師器壺	S1809・一括	外面ハケ	にぶい褐	(21.0)	[8.6]	-	
753	257	230	土師器双耳壺	S1458・埋土、 SP4250・埋土	内外面ハケ	褐灰	(12.2)	17.1	7.0	灰耳 二方大口 直腹平底瓶
754	258	231	須恵器壺	S112・標準・埋土 S112・標準	回転ナデ 外面部輪 ハラケズリ	灰	-	[21.6]	-	輪部に縦擡き 痕跡か？
755	258	231	須恵器壺	S111・セクションベルト南東 S112, 13・トレンチ S113・1層	内外面カキ目 外面部輪 ハラケズリ	灰	-	[5.9]	(8.8)	カキ目
756	258	231	須恵器壺	S1201・セクションベルト・床直上	回転ナデ	灰	(10.8)	[4.4]	-	
757	258	231	須恵器壺	S1201・最上層		灰	-	[2.8]	(9.0)	大戸裏？
758	258	231	須恵器壺	S1202・床面	内外面ヘラナデ	灰白	-	[6.2]	9.3	異外の腹
759	258	231	須恵器壺	S1205・西・埋土		灰白	-	[2.6]	-	
760	258	231	須恵器壺	S1205	回転ナデ	褐灰	(11.6)	[4.5]	-	
761	258	231	須恵器壺	S1213 II T4e - T6 トレンチ・墨層		灰	(12.0)	[4.9]	-	
762	258	231	須恵器壺	S1209・上位層、埋土下層	回転ナデ	灰	-	[5.95]	(8.6)	
763	258	231	須恵器壺	S1209・上位層	外面ケズリ	灰	-	[2.5]	(7.2)	
764	258	231	須恵器壺	S1213・埋土	回転ナデ	灰	(13.4)	[2.2]	-	
765	258	231	須恵器壺	S1215	回転ナデ	オリーブ灰	-	[5.2]	-	
766	258	231	須恵器壺	S1202・最上層、中位層、南壁埋土 S1204	内外回転ナデ 外面部輪 ハラケズリ	灰	-	[12.8]	(10.2)	轟子子安？
767	258	231	須恵器壺	S1204・P1	回転ナデ	灰	-	[9.1]	-	
768	258	231	須恵器壺	S1206・Bベルト	タタキ	灰	-	[6.6]	(10.8)	
769	258	231	須恵器壺	S1202・中位層、最上層、 床面、No. 2 S1207・床精査、他	内外面ヘラナデ	黄灰	-	[10.8]	-	大戸裏
770	258	231	須恵器壺	S1202・埋土下層	回転ナデ	灰	-	10.2	[7.6]	底面部輪み切り
771	258	231	須恵器壺	S1214・埋土下層	内外回転ナデ	にぶい褐	-	[3.2]	6.0	台に転用? 直腹回転あわせ
772	258	231	須恵器壺	S1218, S1219+4-S1220, S1242, S1223 - 埋土、南側埋土上層 II A10~11・床A1b~2・検出面、 I Y段・埋土、検出面		灰白	6.2	[15.0]	(6.4)	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
773	259	231	須恵器壺	SI461・北側・埋土中位	外面回転 ヘラケズリ	灰	-	[4.6]	(10.5)	
774	259	231	須恵器壺	SI463		青灰	-	[5.2]	(10.4)	
775	259	231	須恵器壺	SI454・埋土 SI453・埋土	外面回転ナデ	暗青灰	(14.0)	[5.3]	-	
776	259	231	須恵器壺	SI445・床直	回転ナデ	灰白	-	[6.8]	-	器外の墨?
777	259	231	須恵器壺	SI470・埋土	外面回転ナデ	暗青灰	(12.0)	[5.5]	-	
778	259	231	須恵器壺	SI468・埋土	回転ナデ	青灰	(10.8)	[9.3]	-	
779	259	231	須恵器壺	SI481・埋土、埋土一低、 SI477・埋土、 SI436・埋土、SI475・埋土	回転ナデ	灰	-	[8.9]	-	
780	259	231	須恵器壺	SI450・埋土	外面回転ナデ	青灰	-	[3.1]	(10.4)	
781	259	232	須恵器壺	SI454・埋土	外面回転ナデ	灰	(14.2)	[10.2]	-	
782	259	232	須恵器壺	SI714・埋土	回転ナデ	灰白	(11.7)	[3.2]	-	
783	259	232	須恵器壺	SI701・埋土最上層	外面回転 ヘラケズリ	暗青灰	-	[5.1]	(10.8)	
784	259	232	須恵器壺	SI743・埋土	内面ケズリ・ 回転ヘラケズリ	灰	-	[3.8]	(9.0)	
785	259	232	須恵器壺	SI202・最上面	内外面ヘラナデ	灰	(17.6)	[5.4]	-	
786	259	232	須恵器壺	SI234		灰白	(18.2)	[4.1]	-	
787	259	232	須恵器壺	SI403・北側	外面ケズリ	青灰	-	[3.1]	(11.2)	内面カキ目
788	259	232	須恵器壺	SI448・埋土上層	回転ナデ	褐灰	-	[4.1]	-	器部に焼灰
789	259	232	須恵器壺	SI11北西・埋土上 Gトレンジ・Gトレンジトレンジ・ 包含層・遺構後出面	回転ナデ	灰	(24.1)	[6.8]	-	カキ目
790	259	232	須恵器壺	SI215・埋土上層	回転ナデ	褐灰	(22.2)	[4.9]	-	
791	259	232	須恵器壺	SI233・埋土下層 SI207・A区・埋土上層	回転ナデ	青灰	(23.0)	[2.6]	-	
792	259	232	須恵器壺	SI234・埋土 SI223・埋土上層 SI212の南側	回転ナデ 外面ケズリ	青灰	(14.6)	[12.3]	-	
793	259	232	須恵器壺?	SI502・コーナー・埋土、SI504・ 南側・埋土、西側エリア・複出面、 西壁穴付近	外面ケズリ	暗青灰	-	[5.8]	(14.3)	
794	260	232	須恵器壺	SI739・埋土、難方埋土、SK02・埋土	回転ナデ	暗青灰	(15.6)	[8.5]	-	
795	260	232	須恵器壺	SI461・埋土	回転ナデ	灰	(16.3)	[4.8]	-	
796	260	232	須恵器壺	SI474・埋土	回転ナデ	灰	(14.0)	[7.7]	-	
797	260	232	須恵器壺	SI459・埋土	回転ナデ	青灰	-	(8.0)	-	

## 田舎車堂前遺跡揭示土器・須恵器（B）一覧

(復元品)・[残存部]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
798	260	232	須恵器盤	S1454・縫出面～10cm下、埋土・縫出面、東側表面～縫出面	外面ケズリ・タタキ	青灰	-	[32.5]	12.6	
799	260	232	須恵器盤?	S1701・ベルト	内面回転ナデ 外面ケズリ	青灰	-	[5.6]	[13.6]	
800	260	232	須恵器盤	S1746・埋土	内面回転ナデ	灰	(24.0)	[7.1]	-	
801	260	233	須恵器盤	S1436・カマド付近・埋土	タタキ	暗青灰	-	[5.7]	[14.8]	
802	260	233	須恵器盤	SK204・埋土 S1202・床+10cm～床	タタキ	暗褐灰	-	[4.7]	[12.8]	
803	260	233	須恵器盤	S1401・北西面		灰	-	[2.7]	[15.6]	
804	260	233	須恵器盤	S1708・貼灰	回転ナデ	暗青灰	(21.8)	[4.9]	-	
805	261	233	須恵器盤	S1739・埋土、 SD402・上・中、 S1726・72付近	外回転ナデ	にぶい橙	(12.4)	[7.6]	-	
806	261	233	須恵器平盤	S1224, S1231・S201, S210・第Ⅱ	回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	灰白	-	-	-	鏡面裏面
807	261	233	須恵器盤	S1213・埋土上～下層	回転ナデ	灰	-	[5.3]	-	
808	261	233	須恵器盤	SD207・C区・埋土上層 S1222・カマドそば・埋土上層	タタキ	褐灰	-	[19.6]	-	
809	261	233	須恵器盤	S111・床+8cm、 SK50 (S111南側)・V層中位、 南半東側・トレンチ	タタキ		(44.6)	[37.0]	-	
810	261	233	須恵器盤	S1445・床直	回転ナデ	灰	(31.3)	[7.6]	-	肩部に焼灰
811	261	233	須恵器盤	S1458・埋土	外回転ナデ・ ミガキ	青灰	(46.0)	[11.7]	-	鏡状文
812	261	234	須恵器盤	S1726・埋土	外回転ナデ	暗青灰	(38.4)	[7.9]	-	
813	262	234	須恵器盤	S1201, S1206, S1202・最上層	内面回転ナデ	褐灰	-	[13.1]	-	カキ目
814	262	234	須恵器盤	S1403・埋土		青灰	-	[7.6]	-	鏡状文
815	262	234	須恵器盤	S1803・E-Bベルト・埋土最下部		暗青灰	-	[10.2]	-	波状文
816	262	234	須恵器盤	S1446・埋土		灰	-	[6.9]	-	鏡状文
817	262	234	須恵器盤	S1739・貼灰、瓶方埋土	内タタキ	暗青灰	-	[30.1]	-	
818	262	234	須恵器盤	S1454・縫出面～10cm下	タタキ	暗青灰	-	[12.0]	-	
819	262	234	須恵器盤	S1401・床直 縫出面、東側表面	タタキ	灰	-	[22.0]	-	
820	263	234	土師器坏	SK225・埋土	内面ミガキ 外回転ナデ	にぶい橙	(13.9)	5.4	8.0	鏡面、 外回転ミガキ 直角回転のみ切り
821	263	234	土師器坏	SK408・埋土 SK409・埋土	内面ミガキ 外回転ナデ	浅黄橙	(14.4)	5.3	5.5	直角回転のみ切り
822	263	234	土師器坏	SK218	内面ミガキ 外回転ナデ	橙	(14.0)	[4.9]	(6.6)	直角回転のみ切り

## 田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元版)・[現存版]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調査	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
823	263	234	土師器坏	SK428・埋土	内面ミガキ 外面凹軸ナデ	褐	(13.2)	3.8	(5.6)	直面凹軸あり
824	263	234	土師器坏	SK429・埋土	内面ミガキ 外面凹軸ナデ	にぶい褐	-	[1.3]	-	直面凹軸あり
825	263	234	土師器坏	SK509・埋土上～下位	内面ミガキ 外面凹軸ナデ	にぶい褐	-	[2.1]	5.2	
826	263	234	須恵器坏	SK432・埋土		青灰	-	[1.2]	(6.4)	直面凹軸あり
827	263	234	土師器高坏	SK212・埋土最下層	内面ミガキ 外面ケズリ	褐	-	[5.7]	-	
828	263	235	土師器坏	SK233・埋土	外面ケズリ	淡黄褐	(10.8)	[5.3]	(6.0)	
829	263	235	土師器坏	SK201・両刃検出面、Ⅲ B21～6j、 Ⅲ C2a～6a、SK233・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[2.3]	6.2	
830	263	235	土師器鉢	SK802・東半・埋土上層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい褐	-	[2.2]	(5.2)	内面凹済あり 底面凹軸あり
831	263	235	土師器鉢	SK17・埋土・埋土一括出土 ・西側・横出面包含層？	内面ナラナデ 外面ミガキ	にぶい黄褐	20.2	[21.6]	-	
832	263	235	土師器鉢	SK234	内外面ハケ	褐灰	(16.0)	[7.4]	-	
833	263	235	土師器鉢	SK466・埋土	内外面ハケ	にぶい黄褐	(12.6)	[6.4]	-	
834	263	235	土師器鉢	SK202～211・横出面	外面ハケ	にぶい褐	-	[10.4]	8.4	底部木葉灰
835	263	235	須恵器盤	SK457・埋土最上層 中央・横出面、SI704の北側検出、 Ⅲ A6a～7b・横出面	内外面ハケ	灰白	-	[11.9]	8.5	底部木葉灰
836	263	235	土師器盤	SK702・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	灰白	-	[12.3]	(8.4)	底部木葉灰
837	263	235	土師器盤	SK509・埋土上～下位	外面ハケ	にぶい褐	-	[3.3]	(8.6)	
838	263	235	土師器盤	SK710・埋土	内外面ハケ	灰白	-	(6.7)	(10.6)	
839	263	235	土師器盤	SK710・埋土	外面ハケ	褐灰	-	[2.7]	(4.4)	底部木葉灰
840	264	235	土師器盤	SK233・埋土		灰白	(12.6)	[4.7]	-	
841	264	235	土師器盤	SK512	内外面ハケ	黒褐	(12.0)	[15.8]	-	
842	264	235	土師器盤	SK418・埋土上位	内面ハケ	褐灰	-	[6.2]	7.9	
843	264	235	土師器盤	SK452・埋土	凹軸ナデ	褐灰	(8.4)	[7.7]	-	
844	264	235	土師器盤	SK509・埋土上～下位 Ⅲ B・横出面、西壁穴付近	内外面ハケ	褐灰	(21.4)	29.5	(11.5)	
845	264	236	須恵器盤	SK207		灰	-	[7.6]	-	板状文
846	264	236	須恵器盤	SK234・埋土上面	凹軸ナデ タキ	灰白	-	[9.2]	-	大戸裏
847	264	236	須恵器盤	SK465・埋土一括	凹軸ナデ	灰	(10.4)	[4.6]	-	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真回版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調査	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
848	264	236	須恵器壺	SK709・埋土		灰	-	[8.2]	-	
849	264	236	須恵器壺	SK457・埋土最上層	回転ナデ	青灰	-	[8.7]	-	
850	264	236	須恵器壺	SK234		灰	(16.2)	[2.6]	-	
851	264	236	土師器壺	SK42・埋土上層 SP174・横出面	内面ハケ 外面ハラナデ	にぶい黄緑	(18.0)	[14.2]	-	
852	264	236	土師器壺	SK702・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[10.3]	(9.7)	
853	264	236	土師器壺	SK418・埋土上位	内外面ミガキ	にぶい黄緑	(19.4)	[4.6]	-	
854	264	236	須恵器壺	SP? (SK509)	外表面回転ナデ・ 回転ハラケズリ	灰	-	[21.7]	8.6	
855	265	236	土師器壺	SD301・I Y 区・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	浅黄緑	(10.2)	[2.1]	(7.7)	
856	265	236	土師器	SD402・D区・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(13.6)	[4.8]	(5.0)	底部木葉痕
857	265	236	土師器壺	SD207・C区・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄緑	(14.6)	6.0	(6.4)	底部木葉痕
858	265	236	土師器壺	SD207・B区・埋土中位	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄緑	-	[1.7]	(6.2)	底部木葉痕
859	265	236	土師器壺	SD402・D区西・土塊貼付土塊内		にぶい黄緑	-	[1.8]	(6.0)	底部木葉痕
860	265	236	須恵器壺	SD402・D区・埋土上層	回転ナデ	浅黄緑	-	[2.1]	(5.6)	復元不足の 須恵器 底部木葉痕
861	265	236	須恵器壺	SD402・D北・埋土上層		にぶい橙	-	[1.8]	(5.8)	復元不足の 須恵器 底部木葉痕
862	265	236	須恵器壺	SD402・D区・埋土上層		にぶい橙	-	[1.3]	(6.4)	復元不足の 須恵器 底部木葉痕
863	265	236	土師器壺	SD207・C区・埋土上層	内面ミガキ 外面回転 ハラケズリ	にぶい黄緑	-	[1.9]	(8.0)	底部ハラケズリ
864	265	236	土師器壺	SD402・E区南半・埋土中部	内面ミガキ	灰黄褐	-	[2.3]	(7.4)	底部ハラケズリ
865	265	236	土師器壺	SD402・D区・埋土上層	内面ミガキ	浅黄緑	-	[1.7]	(7.2)	底部ハラケズリ
866	265	236	土師器壺	SD207・埋・理土上層	外表面ミガキ	にぶい褐	-	[3.2]	(7.5)	底部木葉痕
867	265	236	土師器壺	SD207・埋土中～下層	外表面ハケ	にぶい褐	-	[4.2]	(8.8)	底部木葉痕
868	265	236	土師器壺	SD207・埋土上面層、B区・上層	外表面ハケ・ミガキ	にぶい黄緑	(16.8)	[9.7]	-	
869	265	236	土師器壺	SD402・D区・埋土上層	内外面ハケ	褐灰	(14.8)	[6.3]	-	
870	265	236	須恵器壺	SD207・須張部・埋土上層 SD206・埋土	回転ナデ	灰	(13.6)	[6.6]	-	
871	265	236	須恵器壺	SD402・C区・埋土下層	回転ナデ	暗青灰	(12.0)	[6.6]	-	
872	265	237	須恵器壺	SD402・中～上部	内面回転ナデ 外面回転 ハラケズリ	土褐色	-	[4.0]	(10.4)	

## 掲載遺物一覧

## 田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
873	265	237	須恵器壺	SD402・埴土上層	回転ナデ	灰	(9.8)	[5.7]	-	
874	265	237	須恵器壺	SD207・埴土下層	外面タキ・ケズリ	灰	-	(4.9)	(12.6)	
875	265	237	須恵器壺	SD402・埴土上層		灰	-	[6.4]	-	圓状文
876	265	237	須恵器壺	SD402・埴土上層		灰	-	[11.2]	-	圓點・波状文
877	266	237	土師器壺	SX201・下層		に赤い黄緑	-	[1.3]	5.5	底部木葉模
878	266	237	土師器壺	SX201・埴土上～中層	外面ケズリ	褐灰	-	[4.5]	10.6	底部に台跡、底部木葉模
879	266	237	須恵器壺	SX201・最下層		暗青灰	(13.0)	[3.4]	-	
880	266	237	須恵器壺	SX201・埴土下層		暗青灰	(13.0)	[3.4]	-	
881	266	237	土師器壺	SD201・A区・埴土上層 II B7g-91	内外面ミガキ	黒	(6.0)	[4.5]	-	
882	266	237	土師器壺	SD201・埴土 III B1d・埴土		浅黄緑	-	[2.2]	(8.2)	底部木葉模
883	266	237	土師器壺	SD201・B1d・埴土 SD210・埴土	内外面ハケ	に赤い黄緑	-	[19.6]	(8.0)	
884	266	237	土師器壺	SZ215・埴土上層	内面ミガキ	に赤い緑	-	[1.35]	(6.0)	底部凹み有り
885	266	237	土師器壺	SD01・ベルト裏側・埴土中位、 ベルト两侧(ベルト幅)・包含層	内外面ヘラナデ	灰白	[12.5]	[4.2]	-	
886	266	237	土師器壺	SD206・埴土		に赤い黄緑	(16.8)	[3.3]	-	
887	266	237	土師器壺	SF01・前底部	内面ミガキ 外面回転ナデ	緑	(13.0)	[4.4]	-	
888	266	237	土師器壺	SZ208・埴土上層	内面ミガキ	に赤い黄緑	-	[1.75]	(6.2)	底部凹み有り
889	266	237	土師器壺	SD01・埴土下げ・中上面～包含層、 道路北T14～18の間、北・第2面	内外面ヘラナデ	灰白	-	[3.7]	(8.0)	底部木葉模
890	266	237	土師器壺	SZ215・北部・埴土		褐灰	(12.2)	[4.95]	(5.2)	内面コゲ
891	266	237	土師器壺	SD210・埴土		に赤い黄緑	-	[1.8]	(9.0)	底部木葉模
892	266	237	土師器壺	SZ215・北部・埴土	外面ハケ	に赤い緑	(21.2)	[7.1]	-	
893	266	237	土師器壺	SP475 II B区・搅乱	内外面ミガキ 外面ハケ	緑	(18.8)	[6.2]	-	ボツ
894	266	237	土師器壺	SF01 (S114内地)	内面ミガキ 外面ヘラナデ	褐灰	(18.0)	[7.7]	-	
895	266	237	土師器壺	SP196・検出面	内外面ヘラナデ	に赤い黄緑	(13.7)	[6.75]	-	
896	266	237	土師器壺	SP628・埴土	内外面ハケ ミガキ	に赤い緑	-	[10.3]	9.6	底部木葉模
897	267	237	土師器壺	JトレT14期・包含層～遺構検出面、 調査区北側・中央付近・埴土～検出面、 II C9a・トレンチ	内面ミガキ 外表面ケズリ	に赤い緑	(14.8)	3.6	-	底部ヘラケズリ

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
898	267	237	土師器坏	表様		にぶい黄緑	(18.0)	[3.8]	-	表面吹き付 骨粉含む。
899	267	238	土師器坏	南東側壁より7m南S17	内面ミガキ 外面ミガキ・ ケズリ	にぶい黄緑	(18.4)	[4.8]	-	
900	267	238	土師器坏	道路北・表土		褐灰	(8.0)	1.6	-	
901	267	238	土師器坏	II B 6d・複乱	内外面ミガキ	黒	(9.8)	[3.7]	-	底部へタケズリ
902	267	238	土師器高坏	II B・検出面	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(16.0)	[6.1]	-	
903	267	238	土師器高坏	II C 9a・トレンチ・連構確認面 II C 9a・V層中位	内外面ミガキ	橙	(10.0)	[7.4]	(7.0)	
904	267	238	土師器高台坏	II A 6a～7b・検出面	内面ミガキ	浅黄緑	-	[2.5]	-	
905	267	238	土師器坏	東検出	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄緑	(15.4)	[4.5]	(8.2)	
906	267	238	土師器坏	メインベルト南東・検出面	内面ミガキ	浅黄緑	(16.0)	[4.6]	(6.8)	
907	267	238	土師器坏	II C 10g・検出面	内面ミガキ 外面ケズリ・ 凹面へタケズリ	にぶい橙	(14.2)	5.5	(6.8)	底部へタケズリ
908	267	238	土師器坏	II Z 検出面	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[4.7]	(5.8)	底部へタケズリ
909	267	238	土師器坏	II B・検出面	内面ミガキ 外面回転ナメ・ 凹面へタケズリ	浅黄緑	-	[3.9]	(6.4)	底部回転ナメ切り
910	267	238	土師器坏	S1214と215の間のトレンチ・ 埋土	内面ミガキ	にぶい橙	(13.3)	5.4	5.6	底部回転ナメ切り
911	267	238	土師器坏	■A 2a～3b(S1233周辺)・ 検出面	内面ミガキ	にぶい橙	(13.7)	4.9	6.6	底部回転ナメ切り
912	267	238	土師器坏	II Z 4j・検出面	内面ミガキ	浅黄緑	(14.4)	5.2	5.6	底部回転ナメ切り
913	267	238	土師器坏	ベルト西側(ベルトテント中間) ・包含層	内面ミガキ 外回転ナメ ヘタケズリ	にぶい橙	-	[1.9]	(5.8)	底部へタケズリ
914	267	238	土師器坏	II Z 10d～10e・表土70cm	内面ミガキ 外面ケズリ	浅黄緑	-	[2.0]	(6.0)	底部回転ナメ切り
915	267	238	土師器坏	II A 6a・検出面	内面ミガキ	褐灰	-	[1.6]	(6.8)	底部へタケズリ
916	267	238	土師器坏	道路北14～18の間北・第2面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.6]	(6.8)	底部回転ナメ切り
917	267	238	土師器坏	道路下T11脇・第2面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.7]	5.4	底部回転ナメ切り
918	267	238	土師器坏	メインベルト南側・検出面	内面ミガキ	灰褐色	-	[3.2]	(6.4)	底部回転ナメ切り
919	268	238	土師器坏	道路北・表土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.3]	6.4	底部回転ナメ切り
920	268	238	土師器坏	S1470付近	内面ミガキ	にぶい黄緑	-	[2.5]	(6.2)	底部回転ナメ切り
921	268	238	土師器坏	北東隅・検出面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.6]	(6.6)	底部回転ナメ切り
922	268	238	土師器坏	道路下T11脇・第2面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.7]	(6.8)	底部回転ナメ切り

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

（復元版）・〔現存版〕・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法（cm）			その他
							口径	器高	底径	
923	268	238	土師器坏	II A4a～5a・検出面	内面ミガキ	にぶい桜	-	[1.8]	5.6	裏地多量 直細回転み切り
924	268	238	土師器坏	道路北・表土	内面ミガキ	灰黄褐	-	[1.3]	5.4	直細回転み切り
925	268	238	土師器坏	道路北T14～18の間北・第2面	内面ミガキ 外面部回転ナデ	にぶい桜	-	[2.7]	6.8	きれいな 多角形ミガキ 直細回転み切り
926	268	238	土師器坏	中央東寄・複乱	内面ミガキ	にぶい黄褐	-	[4.4]	(8.4)	直細回転み切り
927	268	238	土師器坏	調査区南隅・検出面	内面ミガキ	にぶい桜	-	[1.2]	(6.0)	直細回転み切り
928	268	238	土師器坏	II Z・検出面	内面ミガキ	灰褐	-	[1.6]	(6.4)	直細回転み切り
929	268	238	土師器坏	III D7c両辺・包含層	内面ミガキ 外面部回転 ヘラケズリ	にぶい黄褐	-	[1.4]	(5.0)	直部へタケズリ
930	268	238	土師器坏	東半分（東端）・II～Ⅲ層		にぶい桜	-	[2.9]	-	墨書き「西・ 西？」
931	268	238	土師器坏	S1715西・複乱層	内面ミガキ	にぶい黄褐	-	[2.6]	-	刻線あり。
932	268	238	土師器坏	道路北T14～18の間北・第2面	内外面ミガキ	褐灰	(15.0)	6.1	-	
933	268	238	土師器坏	II 28e付近		黒	-	[3.4]	6.0	直面刻書「年」
934	268	238	土師器坏	道路北・表土	内外面回転ナデ	褐灰	(15.0)	[5.1]	-	焼け墨
935	268	238	土師器鉢？	西壁検出エリア複乱	回転ナデ	浅黄褐	(11.6)	[5.6]	(5.4)	直細回転み切り
936	268	239	土師器坏	II Z 検出面	回転ナデ	浅黄褐	(12.6)	5.1	6.4	直細回転み切り
937	268	239	土師器坏	道路北・表土		灰褐	-	[1.2]	(5.8)	直細回転み切り
938	268	239	須恵器坏	西側エリア・検出面、 III B・検出面	回転ナデ	灰	(15.5)	5.6	6.0	直細回転み切り
939	268	239	須恵器坏	GトレHトレ開・ 包含層～道構築後出面	内外面回転ナデ	灰	-	[2.45]	(5.4)	直細回転み切り
940	268	239	須恵器坏	北中央・検出面	回転ナデ	青灰	-	[4.3]	(5.8)	直細回転み切り
941	268	239	須恵器坏	中央表土～検出面	回転ナデ	にぶい黄褐	-	[4.1]	(7.0)	直細回転み切り
942	268	239	須恵器坏	西複乱	回転ナデ	灰白	-	[3.6]	(6.2)	直細回転み切り
943	268	239	須恵器坏	検出面	回転ナデ	青灰	14.4	4.7	5.5	直細回転み切り
944	269	239	土師器坏	通路先端撲土付近・表土～検出面	外面部ケズリ	にぶい桜	11.4	5.1	6.7	直部へタケズリ
945	269	239	土師器坏	道路北T14～18の間北・第2面	外面部ケズリ	にぶい黄褐	(11.6)	[6.3]	-	
946	269	239	土師器坏	S1301	回転ナデ	褐灰	-	[3.5]	(6.0)	
947	269	239	土師器高台坏	北京構築出・北西隅検出面	内面ミガキ	浅黄褐	(13.6)	[4.5]	(8.2)	

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元品)・[現存品]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
948	269	239	土師器高台坏	北側	内面ミガキ	にぶい桜	-	[1.6]	-	
949	269	239	土師器高台坏	ⅢY4-6(SP401付近)・表土～検出面	内面ミガキ	淡黄桜	-	[3.6]	-	
950	269	239	土師器高台坏	北側	内面ミガキ	桜	-	[2.3]	-	
951	269	239	土師器高台坏	道路北・表土		にぶい黄桜	-	[2.4]	-	
952	269	239	土師器高台坏	南平東側・トレーシング	内面ミガキ	にぶい黄桜	-	[2.3]	[5.6]	
953	269	239	土師器高台坏	不明	内面ミガキ	灰褐	-	[2.3]	[7.8]	
954	269	239	土師器耳皿	西半分、1号住(Ⅱ)・埋土		桜	-	[1.9]	-	
955	269	239	土師器坏	Ⅱ乙検出複数	内面ミガキ 外面ケズリ	灰白	-	[5.7]	[7.6]	直部へケズリ
956	269	239	土師器甕	S1468付近	内面ハケ 外面ハケ・ケズリ	褐灰	(16.6)	[7.3]	-	
957	269	239	土師器甕	S1468付近	内面ハケ 外面ハケ・ケズリ	褐灰	-	[6.4]	[9.0]	
958	269	239	土師器甕	表採	内外面ハケ	にぶい黄桜	-	[7.9]	[9.4]	
959	269	239	土師器甕	ベルト西側(テント側)・包含層	内外面ハケ	にぶい桜	-	[4.6]	[9.4]	
960	269	239	土師器甕	不明	外面ハケ	にぶい黄桜	-	[2.8]	[8.8]	底部木葉痕
961	269	239	土師器甕	西半分・表土～検出面	外面ハケ	褐灰	-	[16.2]	7.0	
962	269	239	土師器甕	ベルト西側(中間)・包含層	外面ミガキ	にぶい桜	-	[5.2]	9.4	H-L 直部木葉痕
963	269	240	土師器甕	ⅡA区・表土～検出面	外面ハケ	にぶい黄桜	(20.8)	[29.5]	-	
964	270	240	土師器甕	表採	内外面ハケ	にぶい黄桜	(16.0)	[8.8]	-	
965	270	240	土師器甕	南東側よりS1?	内外面ハケ	褐灰	(19.4)	20.0	6.4	内面コグ、 外面コグ、 底部木葉痕
966	270	240	土師器甕	西の北(根木調査範囲)・検出面	外面ハケ	褐灰	-	[11.3]	6.0	
967	270	240	土師器甕	ⅢB両側	内外面ミガキ	にぶい黄桜	-	[3.8]	[6.8]	
968	270	240	土師器甕	Eランプ付近・表土検出面		淡黄桜	-	[5.3]	8.0	直部木葉痕
969	270	240	土師器甕	表採	内面ハケ 外面ハケ・ミガキ	淡黄桜	(19.4)	[17.3]	-	
970	270	240	土師器甕	遺物Y・確認面	内外面ミガキ	にぶい黄桜	(19.3)	[28.0]	-	
971	270	240	土師器甕	遺物X・確認面	内外面ミガキ	にぶい黄桜	(18.4)	33.4	8.4	
972	271	241	土師器甕	ベルト西側(テント側)・包含層		灰白	-	[4.6]	[15.1]	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

（復元版）・〔現存版〕・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
973	271	241	土師器壺	道路北北端・包含層	内面ハケ 外表面ナダ	に赤い模様	-	[4.1]	[12.2]	底部ハケズリ
974	271	241	土師器壺	II B2c周辺・K3包含層(礫含土)	外表面ハケ	に赤い黄緑	-	[7.4]	7.0	底部木葉板
975	271	241	土師器壺	道路北・表土 道路北T14~18の間北・第2面	内外面ハケ	に赤い黄緑	[18.8]	[8.4]	-	
976	271	241	土師器壺	仮設道路北側中央・第1面(表土)、 道路北・表土	外表面ミガキ	に赤い赤褐色	[15.0]	[12.5]	-	
977	271	241	土師器壺	II Z4c・VII層	内面ハケ 外表面ケズリ	褐灰	[19.0]	[13.8]	-	
978a	271	241	土師器壺	II A区(SI7)・表土~検出面	内面ハケ 外表面ミガキ・ハケ	模様	[19.4]	[13.9]	-	
978b	271	241	土師器壺	II A区(SI7)・表土~検出面	内面ハケ 外表面ミガキ・ハケ	模様	-	[13.1]	[4.0]	
979	271	241	土師器壺	Eランプ付近・表土検出面	外表面ハケ	に赤い黄緑	-	[3.6]	8.4	底部木葉板
980	271	241	土師器壺	SI715・西廻乱層	内面ハケ 外表面ケズリ	に赤い模様	-	[5.6]	[6.4]	
981	271	241	土師器壺	II A2~3d・検出面	内面ハケ 外表面ミガキ	に赤い模様	-	[10.2]	-	
982	271	241	土師器壺	II A5~6j・包含層		褐灰	-	[2.7]	[4.2]	
983	272	241	土師器壺	II Z1d~1e・検出面		に赤い模様	[20.0]	[4.9]	-	
984	272	241	土師器壺	II Z7h・検出面		に赤い模様	[18.8]	[8.3]	-	
985	272	241	土師器壺	II Z1g・VI層相当	外表面ハケ	に赤い模様	[17.8]	[8.2]	-	
986	272	241	土師器壺	SI470付近	外表面ハケ	褐灰	-	[21.7]	-	
987	272	242	土師器壺	II Z6f・V~Ⅵ層		に赤い黄緑	[24.2]	[10.7]	-	
988	272	242	土師器壺	道路北側・表土~検出面		に赤い黄緑	-	[2.5]	8.6	底部木葉板
989	272	242	土師器壺	表採	外表面ハケ	に赤い模様	-	[3.1]	[7.4]	底部木葉板
990	272	242	土師器壺	ベルト西側(テント側)・包含層		に赤い模様	-	[1.7]	[9.4]	
991	272	242	土師器壺	Eランプ付近・表土検出面	ヘラナダ	淡黄緑	-	[3.1]	8.6	底部木葉板
992	272	242	土師器壺	表土	外表面ハケ	に赤い黄緑	[14.0]	[10.7]	-	
993	272	242	土師器壺	検出面	外表面ハケ	に赤い黄緑	[17.8]	[16.3]	-	
994	272	242	土師器壺	調査区北側中央付近・表土~検出面		褐灰	-	[2.6]	8.8	底部木葉板
995	272	242	土師器壺	道路北・表土		褐灰	-	[2.3]	[11.6]	
996	272	242	土師器壺	表採	外表面ハケ	に赤い黄緑	-	[7.5]	[10.4]	底部木葉板

## 田舎車堂前遺跡掲載土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoB	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調査	色調	寸法(cm)			その他
							口径	器高	底径	
997	273	242	土師器甕	S111・北西区・床底。カマド袖、カマド内・2層、3層	内外面ヘラナデ・ハケ	にぶい黄緑	(19.0)	[17.4]	-	
998	273	242	土師器甕	Ⅲ C 2b・第2面 SD466粘・遺物ポイント・土器1	外面ハケ・ケズリ	明褐色	-	25.5	(10.0)	
999	273	242	土師器甕	Ⅲ Z 1c・検出面	内外面ハケ	にぶい橙	(23.0)	[8.3]	-	
1000	273	242	土師器甕	Ⅲ Z 6f・V層、V～Ⅳ層 Ⅲ Z 7f・V～Ⅳ層	内外面ハケ 外表面ケズリ	にぶい黄緑	(21.1)	22.5	(8.0)	
1001	273	243	土師器甕	Ⅲ Z 7a～焼機械後のトレンド 掘下げる	内外面ハケ	浅黄緑	(19.2)	[23.4]	-	
1002a	273	243	土師器甕	Ⅲ C 1a・SP132南・検出面、 南半・東側・トレンドG、 Gトレストレード・包含層	内外面ヘラナデ 外表面ヘラナデ・ ケズリ	明黄色	(19.6)	[10.2]	-	ヌス
1002b	273	243	土師器甕	Ⅲ C 1a・SP132南・検出面、 南半・東側・トレンドG、 Gトレストレード・包含層、遺構後出面	内外面ヘラナデ 外表面ヘラナデ・ ケズリ	明黄色	-	[20.2]	(9.6)	ヌス
1003	274	243	土師器甕	ベルト西側・包含層	ヘラナデ	にぶい橙	(22.8)	[5.6]	-	
1004	274	243	土師器甕	中央北寄	内外面ハケ	浅黄緑	(18.4)	[6.0]	-	
1005	274	243	土師器甕	北側	内外面ハケ	にぶい橙	(17.0)	[3.1]	-	
1006	274	243	土師器甕	Ⅲ C 4 c・IV層 メイバベルトC・Ⅲ～IV層	外表面ケズリ	褐灰	(16.2)	[12.0]	-	
1007	274	243	土師器甕	ベルト西側(ベルトトントン中間) ・包含層	内外面ヘラナデ 外表面ヘラナデ・ ケズリ	浅黄緑	(22.0)	[20.2]	-	
1008	274	243	土師器甕	仮設道路北側・表土～第1面	外表面ケズリ	灰白	-	[1.9]	(8.2)	底部木葉灰
1009	274	243	土師器甕	南西区・トレンド・1面		褐灰	-	[6.0]	9.6	底部木葉灰
1010	274	243	土師器甕	トレンドNo.1・窓穴状構造・検出表 土及び埋土	外表面ケズリ	にぶい黄緑	-	[8.6]	(9.0)	
1011	274	243	土師器甕	Jトレストレンジ4面 Jトレストレンジ・包含層、 遺構後出面		灰黄緑	-	[7.4]	(11.0)	底部木葉灰
1012	274	243	土師器甕	北側	内外面ハケ	にぶい橙	-	[10.3]	(8.8)	
1013	274	243	土師器甕	Gトレストレンジ・包含層～遺構後出 面	内外面ハケ	にぶい黄緑	-	[6.1]	(9.8)	底部木葉灰
1014	274	243	土師器甕	SIT21の東・複乱層	外表面ケズリ	にぶい黄緑	-	[5.0]	7.4	
1015	274	243	土師器甕	中央表土・検出面	外表面ハケ	褐灰	-	[7.8]	7.8	
1016	274	243	土師器甕	Ⅲ Z 7a・トレンド・ 中央・古代包含層	回転ナデ	にぶい橙	(14.8)	13.4	7.1	底部少量 瓦礫の軽量化
1017	275	244	須恵器甕	中央北寄・表土～検出面	回転ナデ	暗青灰	(12.0)	[8.8]	-	
1018	275	244	須恵器甕	東側・表土～検出面	回転ナデ	灰	(12.4)	[4.6]	-	
1019	275	244	須恵器甕	SIT15東		青灰	(12.0)	[2.9]	-	
1020	275	244	須恵器甕	地点不明		にぶい黄緑	-	[3.5]	-	織錦・カキ目

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡揭露土器・須恵器（B）一覧

(復元値)・(残存値)・その他の最大値

掲載No	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
1021	275	244	須恵器壺	I Z 10a・VI層	回転ナデ	灰	(20.0)	[4.1]	-	縦状文
1022	275	244	須恵器壺	Ⅱ B 21～6j, Ⅱ C 2～6a・検出面 Ⅱ Y 2d・Ⅳ層 (Wf6トレンツ)		暗青灰	(24.0)	[6.0]	-	
1023	275	244	須恵器壺	北東隅・検出面	回転ナデ・タタキ	灰	(15.4)	[8.7]	-	
1024	275	244	須恵器壺	I Z 9b・Ⅳ層検出	回転ナデ・タタキ	青灰	(20.6)	[7.7]	-	
1025	275	244	須恵器壺	中央・表土～検出面, Ⅱ Z・検出面	回転ナデ・タタキ	灰	(17.0)	[11.8]	-	
1026	275	244	須恵器壺	道路の北・第2面		灰白	-	[3.6]	(9.0)	大戸裏
1027	275	244	須恵器壺	Jトレーナー4面 Jトレーナー4面・包含層～ 遺構検出面	回転ヘラケズリ	灰白	-	[4.6]	(8.8)	屋外の面
1028	275	244	須恵器壺	道路北・表土	回転ヘラケズリ	灰	-	[5.2]	(10.4)	大戸裏？
1029	275	244	須恵器壺	S1241付近・確認面	回転ケズリ	灰	-	[4.8]	(11.2)	
1030	275	244	須恵器壺	S1459の南東・検出面		青灰	-	[6.0]	(10.4)	
1031	275	244	須恵器壺	表採	外面ケズリ	明暈灰	-	[7.8]	(10.0)	
1032	275	244	須恵器壺	北側 仮設道路北側中央・第1面 (表土)	外面ケズリ	灰	-	[7.9]	(9.6)	
1033	276	244	須恵器壺	外・北東隅・検出面		明暈灰	-	[4.4]	(10.0)	
1034	276	244	須恵器壺	北側 不明・第1面	外面ケズリ	灰	-	[6.1]	(10.8)	底部ヘラケズリ
1035	276	244	須恵器壺	I Z 9f～10a・検出面, S1404の北側	外面ケズリ	灰	-	[3.3]	(14.0)	
1036	276	244	須恵器壺	検出面	外面ケズリ	灰	-	[6.0]	(13.4)	
1037	276	244	須恵器壺	西側エリア・検出面	外面ケズリ	灰白	-	[4.7]	(9.4)	
1038	276	244	須恵器壺	Ⅱ B 9b～9c・表土検出面		暗青灰	-	[3.4]	-	縦縞・波状文
1039	276	244	須恵器壺	Ⅱ Z 7f・V～Ⅳ層		青灰	-	[4.9]	-	縦縞・波状文
1040	276	244	須恵器壺	I Z 9b～10b・VI層		暗青灰	-	[6.0]	-	縦縞・波状文
1041	276	244	土師器壺	Ⅲ A 4b～6j	内面ミガキ 外面ケズリ	橙	-	[3.4]	-	
1042	276	244	須恵器壺	S0210・埋土	内面回転ナデ・ 外面回転 ヘラケズリ	青灰	-	[3.1]	-	TK217 (飛鳥B) 併行

第2表 田舎車堂前遺跡揭露弥生土器（C）一覧

(復元値)・[残存部]・その他最大値

揭露No.C	図版	写真図版	器種	出土遺構位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
1a	290	260	壺	SIY1・土器一括	沈縫・磨消(LR)	にぶい黄緑	-	[8.7]	-	
1b	290	260	壺	SIY1・埋土・土器一括	沈縫・磨消(LR)	にぶい黄緑	-	[20.3]	7.6	
2	290	260	壺	SI209・上位層	沈縫・横立刺突	黒褐	(10.0)	[5.7]	-	
3	290	260	壺	SI403・點床(西字)	沈縫・刻み	灰黄褐	(13.8)	[5.5]	-	
4	290	260	壺	SI403・北側・床直	沈縫・磨消(LR)	浅黄緑	-	[3.1]	-	
5	290	260	壺	SI411・方マド・床直	沈縫・地文(RL)	にぶい黄緑	-	[3.2]	-	ヌス行書
6	290	260	壺	SI430・ベルト・埋土	刻み付施縫・沈縫	灰黄褐	(5.6)	[3.6]	-	
7	290	260	壺	SI444・埋土上位	沈縫・磨消(LR)	にぶい黄緑	(13.9)	[4.3]	-	
8	290	260	壺	SI444・埋土上位	沈縫・刺突・磨消	にぶい橙	-	[3.9]	-	
9	290	260	壺	SI444・埋土	地文のみ(RL)	橙	-	[3.2]	-	陶縫次骨針 南側H2式
10	290	260	壺	SI444・埋土	沈縫(2本縫)	灰黄褐	-	[5.8]	-	陶縫次骨針 川原町口式
11	290	260	壺	SI444・埋土	沈縫	にぶい黄緑	-	[2.2]	(4.3×3.9)	底部: 方形?
12	290	260	壺	SI444・埋土上位	沈縫・刺突判	灰黄褐	-	[2.9]	-	
13	290	260	壺	SI453, 454・埋土	地文のみ(RL)	褐灰	-	[12.6]	(8.4)	
14	290	260	壺	SI454・北東・埋土	沈縫	灰白	(10.6)	[3.4]	-	
15	290	260	壺	SI454・北	沈縫・地文(RL)	褐	(28.4)	[7.9]	-	
16	291	260	壺	SI445・埋土下層	沈縫・磨消(LR)	暗褐	-	[3.5]	-	
17	291	260	壺	SI452・埋土	交互刺突判・ 地文(RL)	にぶい黄緑	-	[2.7]	-	天王山式
18	291	260	壺	SI461・埋土	沈縫	にぶい黄緑	-	[5.8]	-	十三綱式
19	291	260	壺	SI465・埋土上位	沈縫(2本縫)	にぶい黄緑	-	[5.1]	-	
20	291	261	壺	SI476・埋土	沈縫・刺突	灰黄褐	-	[5.6]	-	
21	291	261	壺	SI466・埋土	沈縫	赤褐	-	[6.3]	-	陶縫次骨針少量 十三綱式
22	291	261	壺	SI466・埋土	沈縫・光塙(LR)	黒褐	(14.0)	[9.6]	-	天王山直削
23	291	261	壺	SI476・埋土	沈縫・地文(LR)	暗褐	-	[4.6]	-	内面コグ、 外面スヌ
24	291	261	壺	SI709・埋土	沈縫・磨消(RL)	褐灰	-	[3.8]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載弥生土器（C）一覧

（復元版）・〔現存版〕・その他最大値

掲載No/C	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
25	291	261	甕	SI1709・トレンチ	沈縄・磨消(LR)	黒褐	-	[4.9]	-	
26	291	261	甕	SI1468・堆土	沈縄・刺突列	にぶい赤褐	-	[5.1]	-	赤彩
27	291	261	甕	SI1471・堆土	交差刺突列	淡黄褐	-	[3.9]	-	天王山式
28	291	261	甕	SI1471・堆土	交差刺突列・地文	にぶい黄褐	-	[3.4]	-	天王山式
29	291	261	甕	SI1709・トレンチ	沈縄・磨消(LR)	にぶい黄褐	-	[5.9]	-	内面ハケ？
30	291	261	甕	SI1715・堆土	沈縄・光模(LR)	にぶい黄褐	-	[4.2]	-	
31	291	261	甕	SI1476・堆土	沈縄・地文(RL)	灰黄褐	-	[5.0]	-	露脊目立つ
32	291	261	甕	SI1477・堆土下層	沈縄・磨消(LR)	明黄褐	(16.0)	[6.9]	-	
33	291	261	甕	SI1718・堆土	沈縄・地文(RL)	淡黄褐	-	[3.8]	-	
34	291	261	甕	SI1716・堆土	沈縄・光模(LR)	にぶい黄褐	-	[6.8]	-	
35	291	261	甕	SI1709・検出面。SI1712・カマドトレンチ	沈縄・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[6.6]	-	C6と同一個体
36	291	261	甕	SI1718・堆土最上層	沈縄	灰黄褐	-	[2.7]	-	C7と同一個体
37	291	261	甕	SI1721・井	沈縄	灰黄褐	-	[4.3]	-	C6と同一個体
38	291	261	甕	SI1721・堆土	沈縄・磨消(RL)	褐	-	[10.1]	-	
39	291	261	甕	SI1731・堆土	沈縄	褐	(10.7)	[6.2]	-	
40	291	261	甕	SI1729・堆土	沈縄	にぶい黄褐	-	[1.9]	(5.0)	内面ニゲ
41	291	261	甕	SI1804・堆土一括	沈縄・地文(半節)	暗褐	-	[4.4]	-	
42	291	261	甕	SI1807・一括	沈縄	にぶい黄褐	-	[3.3]	-	
43	291	261	甕	SI1807・一括	沈縄	にぶい黄褐	(9.6)	[7.0]	-	
44	291	261	甕	SI1809・無方堆土	沈縄・地文(LR)	褐	-	[2.4]	-	
45	291	262	甕？	SI1809・無方堆土	沈縄・刺突列	にぶい黄褐	-	[5.2]	-	
46	291	262	甕？	SI1811・一括	沈縄・地文(LR?)	褐灰	-	[3.7]	-	
47	291	262	甕	SI1811・一括	沈縄・丸み	褐灰	[8.5]	[2.7]	-	
48	292	262	甕	出土地点・層位不明	地文のみ	橙	[8.6]	3.6	-	横擦丸
49	292	262	甕	SK436	沈縄	黒褐	-	9.6	-	

田舎車堂前遺跡揭示弥生土器（C）一覧

（復元版）・〔現存版〕・その他最大値

掲載No.C	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
50a	292	262	高坪?	SK703・埋土	沈縫	にぶい縦	-	[4.8]	-	
50b	292	262	高坪?	SK703・埋土	沈縫	にぶい縦	-	[6.5]	-	縫縫骨針 少數含む。
51	292	262	壺?	SK709	沈縫	浅黄褐	-	[4.2]	-	
52a	292	262	壺?	SK716	沈縫・磨消	褐灰	-	[5.0]	-	
52b	292	262	壺	SK716	沈縫	褐	-	[3.6]	-	
53	292	262	壺	SP4556	沈縫・刺突・ 磨消(LR)	にぶい黄縦	-	[4.4]	-	
54	292	262	壺	SP4472	沈縫・磨消(LR)	にぶい黄縦	-	[6.6]	-	赤脚台付?
55	292	262	台付壺	SP4688	沈縫・磨消(LR)	灰白	(10.5)	9.0	4.5×4.3	直部: 方形
56	292	262	壺	SK913・石檢出面	施沈縫	黒褐	6.6	[2.8]	-	
57	292	262	壺	SD401・C~L形トレンチ・壁面清掃中	沈縫・磨消(LR)	にぶい黄縦	-	[5.0]	-	右肩・ 角開石多い。
58	292	262	壺	SD401・埋土上層	沈縫・磨消(LR)	灰黄褐	-	[5.1]	-	
59	292	262	壺	SD401・A区・埋土中下位	沈縫のみ	にぶい黄縦	-	[4.3]	-	仙台平野?
60	292	262	壺	SD401・A区・埋土上部	沈縫・刻み	黒褐	-	[3.2]	-	
61	292	262	台付鉢	SD402・E区・埋土下部清掃中	沈縫のみ	にぶい黄縦	-	[6.8]	-	
62	292	262	壺	SD402・D区南・埋土上層	沈縫	灰黄褐	-	[4.5]	-	
63	292	262	鉢?	SD502・埋土上層、SP5173・埋土	沈縫	明赤褐	-	[5.6]	-	
64	292	262	台付鉢	SD502・埋土下層	沈縫のみ	褐	-	[6.0]	-	
65	292	262	壺	SD402・E区・埋土上層	沈縫・磨消(LR)	にぶい褐	-	[4.0]	-	
66	292	262	壺		沈縫・ 刺突列(植物)	暗褐	-	[6.5]	-	
67	292	262	壺	東・検出	沈縫・刺突列	にぶい黄縦	(8.2)	[4.2]	-	
68	292	262	壺	検出面	沈縫・刻み	暗褐	-	[5.3]	-	
69	292	262	壺	SI715南付近・遺構外壁層	沈縫	褐	-	[2.4]	-	
70	292	263	壺	不明	沈縫	にぶい黄褐	(4.3)	[1.4]	-	有孔
71	292	263	壺	II2・検出面、SB402河辺・検出面、 II26h・検出面	磨消	灰黄褐	-	[14.6]	-	
72	292	263	壺	II24h・壁面上	沈縫・地文(LR)	暗褐	(12.0)	[9.6]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載弥生土器（C）一覧

（復元版）・〔現存版〕・その他最大値

掲載No/C	図版	写真回版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法（cm）			備考
							口径	器高	底径	
73	292	263	高杯	II271～8j	沈縫・刺突	にぶい黄緑	-	[2.2]	-	
74	292	263	台付壺	II271～8j	沈縫	にぶい黄緑	-	[2.5]	[3.7]	
75	292	263	鉢	II21f・ 燒土粒上面、北東隅・検出	沈縫・地文	にぶい黄緑	(26.0)	[7.1]	-	
76	293	263	壺	II26f・ V～蝶番	沈縫・地文 (RL)	にぶい黄緑	-	[8.6]	-	
77	293	263	壺	II2・検出面	沈縫・刺突・ 磨消 (LR)	にぶい黄緑	-	[3.5]	-	腹面に施成形 穿孔・水印
78	293	263	壺	II42～3d・検出面	沈縫・地文 (RL)	灰黄褐	-	[10.6]	-	
79	293	263	鉢	II26b	沈縫・地文	にぶい褐	-	[8.4]	-	
80	293	263	壺	IIA1・2c・カクラン	沈縫・充填 (RL)	褐	-	[6.6]	-	
81	293	263	壺	表土～検出面、 西半・検出面	沈縫・充填 (LR)	褐灰	-	[5.6]	-	
82	293	263	壺	東・検出	沈縫・刻み・地文	灰黄褐	-	[3.8]	-	
83	293	263	壺	中央・表土・検出	沈縫・充填 (LR)	にぶい黄緑	-	[5.7]	-	台付？
84	293	263	壺	検出面	沈縫・磨消 (LR)	黒褐	-	[5.5]	-	
85	293	263	壺	II26f	沈縫・地文 (LR)	褐	-	[5.4]	-	C35と同一個体
86	293	263	壺？	IIA1c～2c・カクラン	沈縫・地文 (RL)	暗褐	-	[3.6]	-	
87	293	263	壺	S1453～456あたり	沈縫・磨消	黒褐	-	[4.2]	-	
88	293	263	壺	S1716付近	沈縫	褐	-	[4.4]	-	
89	293	264	壺	II28e・検出面	沈縫・地文 (LR)	褐灰	-	[4.7]	-	
90	293	264	壺	II28c・検出	沈縫・地文 (RL)	褐灰	-	[5.5]	-	
91	293	264	壺	IIA1c～2c	沈縫・刺突列	褐	-	[5.6]	-	
92	293	264	壺	東・検出	沈縫・地文	黒褐	-	[7.3]	-	
93	293	264	壺	北中央・検出	沈縫	にぶい黄緑	-	[6.4]	-	
94	293	264	壺	II26e	沈縫・磨消 (LR)	暗褐	-	[6.7]	-	
95	293	264	壺	S1706付近・検出	沈縫・磨消 (RL)	褐	-	[7.6]	-	
96	293	264	壺	中央・表土～検出面、西半・検出面	沈縫・充填 (LR)	黒褐	-	[3.6]	-	
97	293	264	壺	検出面	沈縫	黒褐	-	[5.5]	-	

田舎車堂前遺跡掲載弥生土器（C）一覧

(復元品)・[現存品]・その他最大値

掲載No/C	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
98	293	264	壺	II27h・VI層	沈縫	に赤い黄緑	-	[1.8]	4.8	底部：方削り
99	293	264	壺	SII15・南付近	沈縫	暗緑	-	[3.1]	-	
100	293	264	壺	II25g・VII層	沈縫	灰黄緑	-	[4.8]	-	
101	293	264	壺	II2層・検出面	沈縫・交瓦刺突・地文(rl)	に赤い黄緑	-	[4.4]	-	天王山式
102	293	264	壺	SII478付近・検出	沈縫・磨消(LJ)	暗緑	-	[3.7]	-	
103	293	264	台付鉢	II26e	沈縫・刺突	に赤い黄緑	-	[3.8]	[10.0]	
104	294	264	壺	メインベルト南東	沈縫	に赤い黄緑	-	[3.0]	-	海綿状骨釘彫
105	294	264	壺	II25g	沈縫	黒緑	-	[4.4]	-	
106	294	264	壺	SII445の下・検出	沈縫・磨消(無筋)	に赤い黄緑	-	[4.8]	-	
107	294	264	壺	II26f	沈縫	に赤い黄緑	-	[4.7]	-	
108	294	264	壺	II2検出	沈縫・地文(OJ)	に赤い緑	-	[6.4]	-	
109	294	264	壺	II26e・検出面	沈縫	褐灰	-	[3.8]	-	
110	294	264	壺	北東隅・暗緑色土トレンチ	沈縫	に赤い黄緑	-	[2.8]	-	十三瓣式
111	294	264	壺	中央・表土～検出面	沈縫	灰黄緑	-	[3.5]	-	
112	294	264	壺	北東隅・検出	沈縫・地文(LJ)	暗緑	-	[6.1]	-	
113	294	264	高杯	IIA2～3d・検出面	沈縫	灰白	-	[4.3]	-	
114	294	264	不明	中央北寄・表土～検出面	沈縫	黒緑	-	[2.6]	-	
115	294	264	壺	II27f・V～VI層	-	灰黄緑	-	[2.3]	-	有脚
116	294	264	壺	SII15南付近	沈縫・磨消(LJ?)	灰黄緑	-	[3.5]	-	素面
117	294	264	壺？	残土・表接	沈縫・刺突列	根	-	[2.1]	-	
118	294	264	壺？	根葉部・瓶外・検出面	沈縫	に赤い根	-	[1.7]	[4.8]	
119	294	264	高杯	II2・検出	沈縫・地文(OJ)	に赤い黄緑	-	[4.4]	-	
120	294	264	壺	IIA2b～3c・SII438の側面・検出面	沈縫	に赤い緑	-	[5.2]	-	
121	294	264	小形台付？	SII425	無文	褐	-	[2.6]	-	
122	294	264	小形台付	SII468付近	無文	に赤い黄緑	-	[2.2]	-	

## 掲載遺物一覧

第3表 田舎車堂前遺跡揭露縄文土器（D）一覧—後期・晩期—

(復元値)・[既存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
1	294	265	深鉢	沖縄縄器中(5層)	沈縞・地文(LJ)	暗褐色	-	[9.2]	-	
2	294	265	深鉢	II27g・V-V層	沈縞・磨消・地文(RL)	黒褐色	-	[4.6]	-	
3	294	265	注口土器	II26d	沈縞	黒褐色	-	[2.8]	-	
4	294	265	注口土器	S1427	無文	黒褐色	-	[2.1]	-	
5	294	265	深鉢	北東・V層上位(遺構?)	沈縞・地文(RL)	褐色	-	[7.2]	-	
6	294	265	深鉢	II46c	沈縞・磨消・地文(LJ)	黒褐色	-	[4.6]	-	
7	294	265	深鉢	S1404・埋土	刺突列付陰縞・地文(LJ)	褐色	-	[5.6]	-	
8	294	265	深鉢	SII207・A区・埋土下層	太沈縞・地文(LJ)	明褐色	-	[8.3]	-	
9	294	265	深鉢	SK432・埋土	沈縞	褐色	-	[8.2]	-	

第4表 田舎車堂前遺跡揭露縄文土器（D）一覧—中期—

(復元値)・[既存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
10	295	266	深鉢	S1437・埋土	沈縞・刺突列・磨消・地文(RL)	にぶい黄褐色	-	[9.5]	-	
11	295	266	深鉢	S1419・ベルト・下層	沈縞・刺突・地文(LJ)	褐灰	-	[7.7]	-	
12	295	266	深鉢	S1419・ベルト・下層	沈縞・磨消・地文(LJ)	褐色	-	[5.9]	-	
13	295	266	深鉢	S1425・埋土下位	ヒレ状縞・刺突・地文(LJ)	黒褐色	-	[6.6]	-	D17と同一個体?
14	295	266	深鉢	S1425・埋土下部、埋土中位	沈縞・地文(LJ)	灰褐色	-	[9.6]	-	D16と同一個体? 内面削修孔(水質斑)
15	295	266	深鉢	S1425・南壁下位	沈縞・磨消・地文(RL)	にぶい褐色	-	[9.3]	-	
16	295	266	深鉢	S1425・埋土上部、埋土中位、埋土下部	沈縞・地文(LJ)	灰褐色	-	[7.6]	-	D14と同一個体? 内面削修孔(水質斑)
17	295	266	深鉢	S1425・埋土下部	ヒレ状縞・刺突・地文(LJ)	黒褐色	-	[4.6]	-	D13と同一個体?
18	295	266	深鉢	S1425・床直	沈縞・地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[5.5]	-	
19	295	266	深鉢	S1425・床直	沈縞・竹管	褐色	-	[5.0]	-	
20	295	266	深鉢	S1425・P9・埋土	地文のみ(擦糞)	にぶい褐色	-	[14.4]	-	
21	295	266	器台	S1425・埋土上部	磨消・無文	暗褐色	(19.4)	7.8	(22.0)	
22	295	266	深鉢	S1425・埋土中位	地文のみ(擦糞)	にぶい褐色	-	[4.4]	(12.0)	追加調査
23	295	266	小形深鉢	S1425・床直・埋土下部、埋土上位	沈縞・竹管	黒褐色	(10.0)	[4.0]	-	

## 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－後期・晩期－

(復元値)・〔残存値〕・その他最大量

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
24	295	266	深鉢	SI425・南側・埋土中位。埋土下部。 SI403側・埋土上部。床底、 P9・埋土、南壁・下位	地文のみ(燃赤)	明褐色	(25.6)	[32.7]	-	
25	296	266	深鉢	SI486・埋土	磨消・地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[5.2]	(8.0)	底面網代模
26	296	266	深鉢	SI480・埋土一括	沈繩・磨削・ 地文(無施L)	明赤褐色	-	[6.9]	-	
27	296	266	深鉢	SI911・Q4・埋土上位	沈繩・磨削・ 地文(LJ)	にぶい褐色	-	[7.9]	-	
28	296	266	深鉢	SI487・埋土	施沈繩・地文(LJ)	褐	-	[4.8]	-	
29	296	266	深鉢	SI487・埋土	施沈繩・地文(LJ)	褐	-	[4.2]	-	
30	296	267	深鉢	SI911・Q2・床面、 SK916・埋土上位	施沈繩・充填・ 地文(LJ)	黃褐色	-	[20.6]	-	器身多め、
31	296	267	深鉢	SI488・南側・埋土	地文のみ(LJ)	灰黃褐色	-	[13.5]	(7.2)	底面網代模 ナゲ消し
32	296	267	深鉢	SI482・埋土	沈繩・地文(LJ)	にぶい橙	-	[7.3]	-	
33	296	267	小形深鉢	SI482・埋土	地文のみ(LJ)	褐	(12.0)	[15.7]	-	
34	296	267	深鉢	SI482・埋土	沈繩・刺突・ 地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[29.3]	-	
35	297	267	深鉢	SI482・埋土	沈繩・磨削・ 地文(無施)	黃褐色	-	[7.6]	-	
36	297	267	深鉢	SI482・下(南) 地文住居・埋土	施沈繩・地文	褐	-	[5.8]	-	
37	297	267	深鉢	SI482・埋土	地文のみ(燃赤)	褐灰	-	[10.0]	(10.0)	底面網代模
38	297	267	深鉢	SI482・埋土	地文のみ(LJ)	明褐色	27.0	[42.8]	-	
39	297	268	深鉢	SI742・Q1・埋土下位	沈繩・磨削・ 地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[3.7]	-	
40	297	268	深鉢	SI742	沈繩・ 地文(施籠L)	にぶい黄褐色	-	[12.0]	-	D139と同一個体
41	297	268	深鉢	SI742	施沈繩・地文(LJ)	にぶい赤褐色	-	[6.7]	-	
42	297	268	深鉢	SI742	施沈繩・地文(LJ)	褐	-	[5.4]	-	複数の 可能性あり。
43	297	268	深鉢	SI744・埋土最下層、 SK742・埋土	沈繩・地文(燃赤)	褐	-	[8.8]	-	
44	297	268	深鉢	SI492・西・埋土	地文のみ(LJ)	明褐色	-	[10.1]	11.1	内部コグ 外壁スス材
45	298	268	深鉢	SI907・埋土	施沈繩・刺突列・ 磨消・地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[21.7]	-	
46	298	268	深鉢	SI907・埋土	無文	にぶい褐色	-	[3.5]	-	
47	298	268	深鉢	SI907・埋土	ヒレ状突起・沈繩・ 磨削・地文(LJ)	にぶい橙	-	[4.9]	-	
48	298	268	深鉢	SI907・埋土	沈繩・磨削・ 地文(LJ)	にぶい橙	-	[4.7]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・〔既存値〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
49	298	268	深鉢	S1907・埋土	地文のみ(L.R.)	にぶい黄緑	-	[6.7]	-	
50	298	268	浅鉢	S1906・Q1・埋土下位	地文のみ(L.R.)	にぶい黄緑	18.6	11.7	5.2	底部削代底 補修孔あり 口付
51	298	268	深鉢	S1906・Q1・埋土上位、 Q2・埋土上位、 Q3・埋土上位・埋土	ヒレ状突起・沈縁 ・削突列・磨消 ・地文(L.R.)	にぶい黄緑	21.5	23.6	-	
52	298	268	深鉢	S1906・Q2・埋土下位	地文のみ(結節L.U.)	褐	-	[12.0]	-	
53	298	268	深鉢	S1906・Q3・埋土上位	沈縁・削突 ・磨消・地文(L.R.)	にぶい黄緑	(3.0)	[5.8]	-	
54	298	268	深鉢	S1906・Q1・埋土上位	沈縁	にぶい黄緑	-	[5.2]	-	
55	298	268	小形深鉢	S1906・Q1・埋土上位	沈縁・地文(L.R.)	褐	-	[3.7]	4.4	
56	298	268	深鉢	S1906・Q3・埋土上位	ヒレ状突起・沈縁 ・削突・地文(L.R.)	暗褐	10.7	12.7	4.8	底部木葉痕
57	298	269	深鉢	S1906・Q1・埋土下位・埋土上位、 Q4・埋土下位	沈縁・磨消・ 地文(L.R.)	にぶい黄緑	-	[15.8]	-	
58	299	269	深鉢	S1905・Q2・埋土下位・P1内	沈縁・磨消・ 地文(L.R.)	にぶい黄緑	-	[13.0]	-	
59	299	269	深鉢	S1906・Q1・埋土上位・Q4・埋土上 位・埋土下位	地文のみ(L.M.T)	にぶい黄緑	(30.2)	[30.3]	-	
60	299	269	深鉢	S1908・埋土	地文のみ(L.L.)	褐	-	[13.6]	-	
61	299	269	深鉢	S1908・埋土・床面直上	施沈縁・地文(L.U)	褐	-	[26.3]	-	
62	299	269	深鉢	S1908・埋土	施沈縁・ 地文のみ(L.L.)	褐	-	[6.1]	-	
63	299	269	小形深鉢	S1910・埋土	地文のみ(L.U)	にぶい黄緑	-	[4.4]	4.0	ヌス・コグ付
64	299	269	深鉢	S1910・鉢A・埋土上層	施沈縁	褐	-	[5.9]	-	
65	299	269	深鉢	S1910・埋土	施沈縁・地文	にぶい黄緑	-	[6.7]	-	
66	300	269	深鉢	S1910・埋土	施沈縁・地文(L.U)	にぶい黄緑	-	[7.5]	-	
67	300	269	深鉢	S1910・埋土上層	施沈縁・地文	赤褐	-	[8.3]	-	
68	300	269	深鉢	S1910・埋土	施沈縁・地文	赤褐	-	[6.8]	-	
69	300	269	深鉢	S1910・P3・埋土	沈縁・地文(L.U)	褐	-	[6.8]	-	
70	300	270	深鉢	S1910・鉢B・鉢内埋設土器	地文のみ(結節L.U)	にぶい黄緑	-	[23.2]	-	
71	300	270	深鉢	S1910・埋土	施沈縁・地文(L.U)	暗褐	-	[8.3]	-	裏部少量
72	300	270	深鉢	S1910・埋土	沈縁・地文(L.U)	褐	-	[7.6]	-	
73	300	270	深鉢	S1910・埋土	施沈縁・地文(L.U)	褐	-	[8.7]	-	裏部多め、

鎮車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—中期一

(復元値)・〔残存値〕・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	35もな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
74	300	270	深鉢	SI1910・埋土	沈縞・刺突列・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[13.9]	-	
75	300	270	深鉢	SI1910・埋土	沈縞・刺突列・磨消・地文(LJ)	褐	22.2	[33.7]	-	
76	301	270	深鉢	SI1902・埋土下位	沈縞・磨消・地文(無)	褐	-	[12.0]	-	
77	301	270	浅鉢	SI1902・Q1・埋土下位	沈縞・磨消	褐	-	[6.6]	-	外面赤影
78	301	270	深鉢	SI1902・SK904・Q1・埋土下位、Q2・埋土上位・埋土	沈縞・磨消・地文(RJ)	褐	23.3	[20.9]	-	
79	301	271	深鉢	SI1902・Q2・埋土上位・Q3・埋土上位・Q4・埋土上位、埋土下位・埋土、埋土、SK906・埋土	地文のみ(RJ)	にぶい黄緑	27.0	43.2	-	DHと同一個体
80	302	271	深鉢	SI1902・Q1・埋土	陽縞・沈縞・地文(LJ)	黒褐色	-	[5.9]	-	桜木柄式?
81	302	271	小形深鉢	SI1902・Q4・埋土下位	無文	にぶい黄緑	-	[2.8]	4.2	
82	302	271	深鉢	SI1902・Q1・埋土	陰沈縞・地文(LJ)	明褐色	-	[8.9]	-	
83	302	271	深鉢	SI1902・Q3・埋土上位・Q4・埋土上位・埋土下位	沈縞・磨消・地文(RJ)	にぶい褐	-	[13.5]	-	
84	302	271	深鉢	SI1902・Q3・埋土上位・Q4・埋土下位	地文のみ(RJ)	にぶい褐	-	[15.7]	13.4	DHと同一個体 底部削り底
85	302	271	深鉢	SI1902・Q4・埋土上位・SK906	ヒレ状突起・沈縞・磨消・地文(RJ)	褐	21.9	35.8	9.6	底部削り底
86	302	271	深鉢	SI1902・Q1・埋土	沈縞・刺突列・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[12.2]	-	
87	303	272	深鉢	SI1902・Q2・埋土下位・Q3・埋土下位・SK906・Q2・埋土	地文のみ(RJ)	にぶい褐	-	[28.9]	12.7	底部削り底
88	303	272	深鉢	SI1909・床直	地文のみ(RJ)	褐	11.2	8.9	4.4	
89	303	272	深鉢	SI1494・埋土	沈縞・地文(LJ)	暗褐色	(10.2)	10.7	4.6	
90	303	272	深鉢	SI1494・埋土	無文	にぶい黄緑	-	[6.4]	5.4	底部削り底
91	303	272	深鉢	SI1494・埋土	沈縞・地文(無)	暗褐色	-	[4.2]	-	
92	303	272	深鉢	SI1494・埋土中位	地文のみ(LJ)	褐	-	[12.0]	10.1	底部削り底
93	303	272	深鉢	SI1913	沈縞・地文(LJ)	赤褐色	-	[3.0]	-	
94	303	272	深鉢	SI1902・Q3・埋土下位	ヒレ状突起・沈縞・磨消・地文(RJ)	にぶい黄緑	-	[12.2]	-	
95	304	272	深鉢	SI1901・埋土上位	陰沈縞・地文(LJ)	褐	-	[19.8]	-	
96	304	272	深鉢	SI1901・埋土上層・埋土下層	陰沈縞・刺突列・地文(RJ)	暗褐色	-	[10.9]	-	
97	304	272	深鉢	SI1901・埋土上位・埋土下位	陰沈縞	明赤褐色	-	[14.7]	-	
98	304	272	小形深鉢	SI1902・Q1・埋土	無文?	橙	-	[1.3]	4.5	底部削り底の 灰床

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
99	304	272	小形深鉢	SI744・ベルト下	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[1.2]	4.4	
100	304	272	小形深鉢	SI744・埋土	地文のみ(LJ)	褐灰	-	[5.1]	4.4	底部水漬痕
101	304	272	深鉢	SI744・埋土	刺突列・ 地文(不明)	にぶい黄緑	-	[4.7]	-	
102	304	273	深鉢	SI744・埋土	貼付・ 沈線・ 磨消・地文(擦赤)	にぶい黄緑	-	[4.6]	-	
103	304	273	深鉢	SI744・埋土	貼付・ 沈線・ 磨消・地文(擦赤)	にぶい橙	-	[4.6]	-	
104	304	273	深鉢	SI744・埋土・南側・埋土	貼付・ 沈線・ 磨消・地文(LJ)	にぶい橙	-	[6.4]	-	
105	304	273	深鉢	SI744・南側埋土・床面近く、 床SI751・土器堆設部・床底	地文のみ(LJ)	褐	36.4	[24.7]	-	
106	305	273	深鉢	SI485・床直	地文のみ(擦赤)	にぶい黄緑	-	[10.8]	-	補修孔
107	305	273	深鉢	SI485・埋設土器・伊	沈線・地文(LJ)	にぶい黄緑	(19.7)	30.2	8.0	直昭御代底
108	305	273	縦糸容器	SI485・埋土	無文	にぶい黄緑	2.6	15.1	9.8	蓋と身に分割、 内面に縦糸付着。
109	305	273	深鉢	SI485・埋土	地文のみ(擦赤)	にぶい黄緑	-	[18.8]	11.4	直昭御代底
110	305	273	深鉢	SI485・II21	沈線・磨消・ 地文(RLJ)	明赤褐	(6.0)	[9.7]	-	
111	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土上位	施沈線・地文(RLJ)	褐	-	[4.8]	-	
112	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土	施沈線・刺突列・ 地文(RL?)	赤褐	-	[7.8]	-	
113	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土	施沈線・地文(LJ)	暗褐	-	[7.5]	-	
114	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土下位	施沈線・地文(RLJ)	にぶい赤褐	-	[7.9]	-	
115	305	274	深鉢	SI912・Q3・埋土上位	施沈線・刺突列・ 地文(擦赤)	褐	-	[10.3]	(6.6)	
116	306	274	深鉢	SI483・埋土・SI483・埋土(床直上 含む)	施沈線・地文(LJ)	にぶい黄褐	-	[8.7]	-	
117	306	274	深鉢	SI483・埋土(床直上含む)	ヒレ状突列・ 沈線・磨消・ 地文(RLJ)	にぶい橙	-	[14.8]	-	
118	306	274	深鉢	SI483・P-2・埋土	地文のみ(擦赤)	にぶい橙	-	[12.3]	11.2	直昭御代底
119	306	274	深鉢	SI483・埋土(床直上含む)	地文のみ(擦赤)	にぶい橙	-	[20.8]	11.4	直昭御代底
120	306	274	深鉢	SI483・P-1・床直上・埋土(床直上 含む)・IZ1f・地山直上(黄褐色土)	地文のみ(RL)	褐	-	[27.3]	14.0	
121	306	274		SI483・埋土	沈線・地文(LJ)	明褐	(6.4)	5.9	3.5	
122	306	274	深鉢	SI820・サブトレー器	地文のみ(擦赤)	明褐	-	[7.7]	-	豊多量
123	307	274	深鉢	SI493・埋土・7層検出	沈線・地文(擦赤)	にぶい黄緑	(19.4)	[16.2]	-	

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
124	307	274	深鉢	SI493・埋土	沈縞・刻突列・磨削・地文(縦条)	褐	-	[15.9]	-	
125	307	274	深鉢	SI493・埋土	沈縞・刻突列・磨削・地文(LJ)	灰黄褐	-	[6.3]	-	D128と同一個体
126	307	274	浅鉢	SI493・埋土	沈縞・波折・地文(RJ)	明赤褐	-	[9.4]	-	
127	307	275	深鉢	SI494・493・埋土	沈縞・刻突列・磨削・地文(LJ)	褐	(8.3)	9.5	4.2	
128	307	275	深鉢	SI493・埋土	沈縞・刻突列・磨削・地文(LJ)	灰黄褐	-	[6.5]	-	D125と同一個体
129	307	275	深鉢	SI819・一括	沈縞・磨削・地文(LJ)	灰黄褐	-	[4.7]	-	
130	307	275	深鉢	SI819・一括	地文のみ(LJ)	にぶい黄褐	-	[7.4]	-	
131	307	275	深鉢	SI819・炉・埋土、炉石、周辺埋土、炉・割り方埋土	沈縞・磨削・地文(LJ)	にぶい黄褐	-	[19.1]	8.0	直部木葉模
132	307	275	深鉢	SI819・埋土中	沈縞・磨削・地文(LJ)	にぶい橙	-	[9.6]	-	
133	307	275	深鉢	SI819・ペルト一括、床面	地文のみ(縦筋RL)	褐	-	24.3	8.0	
134	308	275	深鉢	SI740・Q1・埋土上位、Q3・埋土上位	沈縞・磨削・地文(LJ)	褐灰	-	[11.6]	-	
135	308	275	深鉢	SI740・Q2・埋土上位	沈縞・刻突列・磨削・地文(LJ)	明褐	-	[5.3]	-	
136	308	275	深鉢	SI740・Q1・埋土下位、Q3・埋土下位	沈縞・磨削(LJ)	にぶい黄褐	(19.7)	[12.3]	-	口唇部裏面突起
137	308	275	深鉢	SI740・Q2・埋土上位、Q3・埋土下位、下唇、ペルト一括	地文のみ(燃赤)	にぶい黄褐	-	[16.6]	-	
138	308	275	深鉢	SI740・Q2・埋土上位	沈縞・地文(燃赤)	にぶい黄褐	-	[8.2]	-	
139	308	275	深鉢	SI740・Q3・埋土下位、埋土上面	沈縞・地文(縦筋RL)	にぶい黄褐	-	[27.8]	[7.7]	D40と同一個体 底部焼付
140	308	275	深鉢	SI740・p11・埋土、Q1・埋土上位、Q3・埋土下位、Q4・埋土下位	地文のみ(RL)	褐	-	[29.2]	10.7	底部焼付
141	309	275	深鉢	SI740・Q1・埋土上位、Q2・埋土上位、Q3・埋土下位、Q4・埋土下位	沈縞・地文(燃赤)	明褐	11.5	14.5	5.0	口唇部裏面 突起2単位あり
142	309	275	深鉢	SI740・Q1・埋土上位	捲沈縞・地文(LJ)	にぶい褐	-	[5.5]	-	
143	309	276	深鉢	SI740・埋土上層	沈縞・磨削・地文(RJ)	にぶい橙	-	[6.8]	-	
144	309	276	深鉢	SI740・Q3・埋土上位	捲沈縞	褐	-	[8.8]	-	
145	309	276	深鉢	SI740・埋土上層	沈縞・磨削・地文(RJ)	明褐	-	[12.2]	-	
146	309	276	深鉢	SI740・Q1・埋土上位	捲沈縞・地文(LJ)	にぶい褐	-	[5.8]	-	
147	309	276	小形深鉢	SI740	地文のみ(RJ)	にぶい黄褐	-	[2.2]	5.2	
148	309	276	小形深鉢	SI740・Q4・埋土上位	地文のみ？(LJ)	褐	-	[1.7]	4.4	

## 掲載遺物一覧

## 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
149	309	276	深鉢	S1758	幾沈繩・地文(LIJ)	褐	-	[6.5]	-	
150	309	276	深鉢	S1813・堆土一括	幾沈繩・地文(ILIJ)	にぶい褐	-	6.5	-	
151	309	276	深鉢	S1493・堆土、S1494・堆土上位、S1496・トレンチ（土坑も含む）、遺構外	地文のみ(ILIJ)	にぶい黄褐色	(28.7)	[56.7]	-	
152	310	277	深鉢	S1494・堆土、S1495・堆土上位	地文のみ(結節LIJ)	にぶい褐	27.4	50.7	11.8	底部網代底
153	311	278	深鉢	S1494・堆土、埋土中位、南一括	地文のみ(結節LIJ)	黄褐色	23.0	30.6	12.0	底部網代底
154	311	277	深鉢	S1495・堆土ペルト・2層目、7層、IIZ・検出面	沈繩・刺突・磨消・地文(LIJ)	褐	-	[22.5]	8.7	底部網代底
155	311	277	深鉢	S1495・床面や上面	地文のみ(LIJ)	灰褐色	-	[14.1]	12.5	底部網代底
156	312	279	深鉢	S1495・2層目、ペルト・埋土2層目	地文のみ(LIJ)	褐	-	[31.4]	-	
157	312	278	深鉢	S1495・2層目、ペルト・埋土最上層(1層目)	ヒレ状突起・沈繩・磨消・地文(LIJ)	にぶい褐	(12.6)	[19.5]	-	
158	312	279	浅鉢	S1495・7層、IIZ・検出面	隆綫・刺突・地文(點)	明黃褐色	(24.8)	[9.0]	-	
159	312	278	深鉢	S1495・#3くぼみ・堆土、堆土ペルト・2層目	地文のみ(無糸)	褐	-	[19.5]	10.6	底部網代底
160	313	279	深鉢	S1495・伊体式土器内、土器埋設	地文のみ(L)	褐	-	[27.7]	[10.7]	底部木蓋底
161	313	279	深鉢	S1751・堆土、床直	沈繩・刺突列・磨消・地文(LIJ)	褐	19.0	[19.9]	-	
162	313	279	小形深鉢	S1751・南側・堆土	地文のみ(不明)	褐灰	-	[3.2]	5.0	
163	313	279	深鉢	S1816・一括	沈繩・地文(LIJ)	褐	-	5.3	-	
164	313	279	深鉢	S1812・一括	地文のみ(LIJ)	橙	-	6.4	-	
165	313	279	深鉢	S1812・堆土	沈繩・刺突列・磨消・地文(LLJ)	にぶい褐	-	5.1	-	
166	313	279	深鉢	S1815・楕式G・埋設土器	沈繩・磨消・地文(LIJ)	褐	-	[23.5]	8.6	底部網代底
167	313	280	深鉢	S1815・ベルト一括	地文のみ(結節LIJ)	褐	-	[21.0]	-	
168	314	280	深鉢	S1817・上層、下層、床面	ヒレ状突起・沈繩・刺突列・磨消・地文(LIJ)	にぶい黄褐色	(17.9)	[15.1]	-	口横内面ヒレ状突起
169	314	280	深鉢	S1817・ベルト一括	沈繩・磨消・地文(IL)	暗褐色	-	[14.5]	-	
170	314	280	深鉢	S1817・上層	沈繩・地文(ILIJ)	暗褐色	-	[8.4]	-	D178と同一個体
171	314	280	深鉢	S1817・最上層、上層	沈繩	にぶい黄褐色	14.8	[18.6]	-	海綿状骨針少量
172	314	280	深鉢	S1817・下層	沈繩・刺突・磨消・地文(無糸)	にぶい褐	-	[16.2]	-	
173	314	280	深鉢	S1817・床面、ベルト一括	地文のみ(無糸)	橙	-	[9.9]	14.2	底部網代底

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・〔残存値〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
174	314	280	深鉢	S1817・下層、床面	地文のみ(燃赤)	にぶい黄褐色	-	[13.9]	10.4	底部削除
175	315	280	深鉢	S1817・上層	沈縞・地文(LJL)	暗褐色	-	[8.6]	-	D170と同一個体
176	315	280	深鉢	S1817・床面	沈縞・磨削	褐	-	[7.6]	-	
177	315	281	深鉢	S1817・ペルト一括	ヒレ状突起・沈縞・磨削・地文(LJL)	暗褐色	-	[9.7]	-	
178	315	281	深鉢	S1817・床面	地文のみ(ELJ)	橙	-	[21.3]	-	
179	315	281	深鉢	S1817・中～下層	ヒレ状突起・沈縞・磨削・地文(LJL)	橙	-	[10.6]	-	
180	315	281	深鉢	S1817・堆土	ヒレ状突起・沈縞・網突列・磨削・地文(LJL)	にぶい橙	-	[15.0]	-	D314・319堆土 同一個体?
181	315	281	深鉢	S1828・堆土	疊沈縞	にぶい黄褐色	-	[10.8]	-	
182	315	281	深鉢	S1828・床底、S1829・床面	地文のみ(ELJ)	にぶい黄褐色	25.0	[22.8]	-	
183	315	281	深鉢	S1828・鉢内	地文のみ(LJL)	にぶい橙	-	[25.5]	-	
184	316	281	深鉢	S1818・堆土、床面	地文のみ(結節LJL)	にぶい黄褐色	-	[21.2]	-	
185	316	281	深鉢	S1818・上層	地文のみ(ELJ)	褐	-	[12.3]	-	
186	316	282	深鉢	S1751	地文のみ(LJL)	黄褐色	(27.4)	[43.0]	-	
187	316	282	深鉢	S1754・堆土	疊沈縞・地文(LJL)	褐	(17.4)	[8.3]	-	
188	316	282	深鉢	S1754・堆土	疊沈縞・地文(燃赤)	黒褐色	-	[5.4]	-	
189	316	282	深鉢	S1754・堆土	疊沈縞・網突列・地文(LJL)	橙	-	[7.6]	-	補修孔あり。
190	316	282	深鉢	S1754・堆土	沈縞・地文(LJL)	褐	-	[6.6]	-	
191	316	282	深鉢	S1754・堆土	疊沈縞・網突列・地文(LJL)	褐	-	[5.6]	-	
192	316	282	深鉢	S1754・堆土	沈縞・地文(LJL)	褐	-	[6.5]	4.4	
193	316	282	深鉢	S1754・堆土	疊沈縞・地文(LJL)	褐	-	[7.5]	(5.4)	
194	317	282	深鉢	S1754・堆土	地文のみ(燃赤)	褐	-	[32.5]	-	
195	317	283	深鉢	S1830・P3・堆土	沈縞・地文(LJL)	にぶい黄褐色	-	[7.8]	-	
196	317	283	深鉢	S1822・堆土、S1830・炉前庭部	沈縞・磨削・地文(LJL)	褐	(15.7)	21.4	7.0	底部削除
197	317	283	深鉢	S1802・復式炉	地文のみ(LJL)	にぶい褐	-	[6.1]	-	
198	317	283	深鉢	S1802・堆設土器	地文のみ(LJL)	にぶい褐	-	[27.8]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
199	317	283	深鉢	S1802・土坑埋土	地紋・地文(LJ)	褐	-	[4.1]	-	
200	318	283	深鉢	S1405・407・道遺、埋土	ヒレ状突起・沈縫・地文(熱糸)	褐	(24.1)	34.2	8.5	直通縄代板
201	318	283	深鉢	S1822・ベルト・下層	ヒレ状突起・沈縫・磨消・地文(LJ)	にぶい黄褐色	[20.0]	[12.4]	-	
202	318	283	深鉢	S1822・上層、下層	地文のみ(結節LJ)	にぶい黄褐色	19.5	[23.9]	-	
203	318	283	深鉢	S1822・ベルト	沈縫・地文(LJ)	灰黃褐色	-	[5.6]	-	補修孔(途中)
204	318	283	深鉢	S1822・上層	竹管刺突・沈縫・磨削?	明黄褐色	-	[5.1]	-	
205	318	283	小形深鉢	S1801・Q3・埋土下部	地文のみ(LJ)	にぶい黄褐色	-	[0.9]	(3.7)	
206	318	283	深鉢	S1801・堆土 SD402・C西竪・埋土上部	地文のみ(熱糸)	にぶい橙	-	[13.9]	-	
207	318	284	深鉢	S1801・埋土下部	沈縫・地文(LJ)	褐	-	[12.8]	-	
208	318	284	深鉢	S1822・ベルト	ヒレ状突起・刺突列・磨消・地文(LJ)	明黄褐色	-	[6.3]	-	
209	318	284	深鉢	S1822・ベルト・上層	地文のみ(熱糸)	にぶい黄褐色	-	[7.7]	11.6	直通縄代板
210	319	284	深鉢	S1801・埋土下部、埋土中位	沈縫・地文(LJ)	褐	-	[6.3]	-	
211	319	284	深鉢	S1801・(西区) 埋土	地紋・地文(LJ)	黒褐色	-	[5.1]	-	
212	319	284	深鉢	S1801・埋土下部	沈縫・刺突・磨消・地文(LJ)	暗褐色	-	[7.2]	-	
213	319	284	深鉢	S1801・埋土下部	沈縫・磨消・地文(LJ)	にぶい橙	-	[10.3]	-	
214	319	284	深鉢	S1801・PP2・埋土	地文のみ(LJ)	にぶい褐	-	[8.2]	11.5	直通縄代板
215	319	284	深鉢	S1801・Q4・埋土	磨消・地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[7.2]	11.2	直通縄代板 ナデ面し
216	319	284	深鉢	S1801・埋土	地文のみ(熱糸)	褐	-	[7.8]	11.2	直通縄代板
217	319	284	深鉢	S1406・埋設土器	地紋	褐	-	[6.8]	-	
218	319	284	深鉢	S1406・床直、伊付近、 埋設土器、IIIZK・検出面	地文のみ(LJ)	にぶい橙	(24.7)	47.9	9.8	
219	320	285	深鉢	S1758・埋土下層	地紋・地文(LJ)	褐	-	[16.3]	-	
220	320	285	深鉢	S1758・埋土下層	沈縫・地文(LJ)	暗褐色	(10.1)	[6.7]	-	
221	320	285	深鉢	S1758・埋土下層	地文のみ(LJ)	褐	-	[19.8]	-	
222	320	285	深鉢	S1829・埋土、床直、床面, 炉内	地文のみ(LJ)	褐	-	[9.1]	7.4	直通縄代板
223	320	285	深鉢	S1829・床直、床面	地文のみ(LJ)	褐	(21.3)	[12.6]	-	

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・〔残存値〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
224	320	285	深鉢	SK829・床底、床面	原体压痕・地文(LJ)	にぶい黄緑	(18.2)	[22.1]	-	
225	321	285	深鉢	SK519・埋土下層	隆沈縦	にぶい褐	-	[5.6]	-	
226	321	285	深鉢	SK519・埋土下層	隆沈縦・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[7.1]	-	
227	321	285	深鉢	SK401・埋土	無文	にぶい黄緑	-	[6.8]	9.7	底部網代底
228	321	285	深鉢	SK405・埋土	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[15.8]	-	
229	321	285	深鉢	SK416・埋土	沈縦・竹管刺突・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[7.4]	-	
230	321	285	深鉢	SK402・埋土、Ⅱ区	沈縦	にぶい黄緑	(11.4)	[7.4]	-	
231	321	285	深鉢	SK414・埋土	多重沈縦・地文(LJ)	褐	-	[6.7]	-	
232	321	285	深鉢	SK416・上～中層	地文のみ(LJ)	褐	-	[8.6]	(9.3)	
233	321	285	深鉢	SK416・最下位	沈縦・磨消・地文(LJ)	暗褐	-	[12.5]	-	
234	321	286	深鉢	SK416、417・埋土	沈縦・地文(LJ)	褐	-	[6.6]	-	
235	321	286	深鉢	SK416・埋土	沈縦・磨消・地文(LJ)	褐	-	[8.4]	-	
236	321	286	深鉢	SK416・埋土	隆沈縦・地文(LJ)	暗褐	-	[5.6]	-	
237	321	286	深鉢	SK416・埋土下位	沈縦・地文(LJ)	褐	-	[5.7]	-	
238	321	286	深鉢	SK419	隆沈縦・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[4.6]	-	
239	321	286	深鉢	SK421・埋土	隆沈縦・刺突・地文(LJ)	暗褐	-	[3.7]	-	
240	321	286	深鉢	SK421・埋土	隆縫・地文(LJ)	褐	-	[5.5]	-	
241	321	286	深鉢	SK423・埋土	隆沈縦・地文(無系)	灰白	-	[3.7]	-	
242	321	286	深鉢	SK425・埋土	隆沈縦・地文(LJ)	褐	-	[5.7]	-	
243	321	286	深鉢	SK423・埋土	隆沈縦・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[6.5]	-	
244	322	286	深鉢	SK432・埋土	沈縦・刺突列	にぶい黄緑	-	[2.6]	-	
245	322	286	深鉢	SK438・埋土	沈縦・地文(LJ)	褐	-	[33.0]	-	
246	322	286		SK438・埋土	地文のみ(LJ)	褐	-	[13.5]	-	
247	322	286	小形深鉢	SK438・埋土	無文	褐	(8.3)	7.0	4.6	
248	322	286	小形深鉢	SK438・埋土	地文のみ(LJ)	灰黄褐	-	[4.6]	7.3	底部網代底

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
249	322	286	深鉢	SK441・北側検出	隆沈縞・地文(RLJ)	にぶい黄緑	-	[6.6]	-	
250	322	286	深鉢	SK444	沈縞・地文(LJ)	褐	-	(4.8)	-	
251	322	286	深鉢	SK463・埋土一括、 SK464・埋土上層	沈縞・刺突列(LJ)	灰黄褐色	-	[14.4]	-	
252	322	286	小形深鉢	SK463・埋土一括	地文のみ	にぶい黄緑	-	[6.2]	4.2	直面網代縞
253	322	286	深鉢	SK483・埋土	隆沈縞・刺突列・ 地文(RLJ)	褐灰	-	[9.3]	-	
254	322	286	深鉢	SK484・埋土	沈縞・磨痕・ 地文(無縞)	にぶい黄緑	-	[18.9]	-	
255	322	286	深鉢	SK494・埋土	隆沈縞・地文(LJ)	にぶい褐	-	[10.4]	-	
256	322	286	深鉢	SK720	(場)沈縞・ 地文(RLJ?)	褐	-	[5.9]	-	
257	322	286	深鉢	SK723・埋土	隆沈縞・地文(RLJ)	黒褐	-	[3.6]	-	
258	322	286	深鉢	SK719・底面・埋土	地文のみ(RLJ)	にぶい褐	-	[11.0]	12.4	直面網代縞
259	323	287	深鉢	SK719	地文のみ(結節LJ)	褐	-	[14.0]	-	
260	323	287	深鉢	SK719	地文のみ(LJ)	褐	-	[22.6]	-	
261	323	287	小形深鉢	SK730・埋土	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[3.8]	4.8	
262	323	287	深鉢	SK742・埋土	隆沈縞・ 地文(無縞)	褐	-	[7.6]	-	
263	323	287	深鉢	SK904・埋土	橋状突起・沈縞・ 刺突列・磨痕(RL)	にぶい褐	(12.8)	[9.6]	-	
264	323	287	深鉢	SK904・埋土上位	沈縞・刺突列・ 地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[4.5]	-	
265	323	287	深鉢	SK904・埋土	貼付・沈縞・磨痕・ 地文(RLJ)	褐	-	[5.1]	-	
266	323	287	深鉢	SK906・埋土	隆沈縞・地文(RL)	にぶい褐	-	[5.1]	-	
267	323	287	深鉢	SK906・埋土	沈縞・磨痕・ 地文(RL)	にぶい黄緑	-	[7.6]	-	
268	323	287	深鉢	SK906・埋土	地文のみ(無縞)	にぶい黄緑	-	[13.8]	-	
269	323	287	深鉢	SK912・埋土	沈縞・地文(RLJ)	浅鉢黄緑	-	[5.8]	-	
270	323	287	深鉢	SK916・埋土上位	沈縞・磨耗・ 地文(LJ)	褐	-	[8.2]	-	
271	323	287	深鉢	SK919・埋土	隆沈縞・地文(RLJ)	褐	-	[4.7]	-	
272	323	287	深鉢	SK915・埋土上層	沈縞・地文(RLJ)	灰黃褐色	-	[5.1]	-	
273	323	287	深鉢	SK915・埋土上層	ヒレ状突起・ 磨痕・沈縞	にぶい黄緑	-	[3.6]	-	

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
274	323	287	深鉢	SK30 - 稲土	沈縞・磨消・地文(LR)	にぶい黄緑	-	[4.8]	-	
275	323	287	深鉢	SK319 - 稲土	沈縞・地文(RLR)	褐	-	[8.8]	-	
276	323	287		SK303	地文(LR)	褐	-	[4.5]	-	
277	323	287	深鉢	II2区・検出面	沈縞・刺突・地文(RL)	にぶい黄緑	-	[3.9]	-	
278	323	287	深鉢	SK304	3重沈縞・地文(LR)	灰褐	-	[7.7]	4.8	
279	324	287	深鉢	SK302 - 稲土上位	地文(不明)	黒褐	-	[5.6]	-	
280	324	287	深鉢	SK302 - 稲土上位	地文(LR)	褐	-	[6.3]	-	
281	324	287	深鉢	SK302 - 稲土上位	地文(LR)	暗褐	-	[14.2]	-	
282	324	287	深鉢	SK303 - 稲土下位	地文(LR)	灰白	-	[5.6]	-	
283	324	287	小形深鉢	SK303 - 稲土下位	地文(無)	褐	-	[5.2]	-	
284	324	287	深鉢	SK304 - 稲土上位	沈縞・地文(LR)	褐	-	[9.7]	-	
285	324	288	深鉢	SK304 - ベルトA-A' 1層	沈縞・地文(LR)	にぶい黄緑	-	[6.6]	-	
286	324	288	深鉢	SK304 - 稲土上位	沈縞・刺突・磨消・地文(LR)	褐	-	[7.4]	-	
287	324	288	深鉢	SK304 - 西半・稻土上位 SK317 - ベルトA-A'・16層 SK318 - ベルトA-A'・14層	地文(無)(LR)	褐	(20.0)	[19.8]	-	
288	324	288	小形 深鉢	SK304 - 1層	地文のみ(LR)	褐	-	[4.3]	-	
289	324	288	深鉢	SK305 - 北半・稻土下位	地文のみ(LR)	褐	-	[4.3]	3.4	
290	324	288	深鉢	SK305 - 稲土上位	地文(無)(LR)	褐	-	[6.8]	-	
291	324	288	深鉢	SK306 - 稲土上位	沈縞・磨消(LR)	褐	-	[4.3]	-	
292	324	288	深鉢	SK306 - 稲土上位	地文(LR)	褐	-	[6.6]	-	
293	324	288	深鉢	SK306 - 稲土上位	地文(LR)	褐	-	[4.3]	-	補修孔
294	324	288	深鉢	SK306 - 稲土上位	無文	褐	-	[5.8]	-	
295	324	288	深鉢	SK306 - 稲土上位	地文(LR)	明褐	-	[4.6]	-	
296	324	288	深鉢	SK309 - ベルトA-A' - 8層	沈縞・磨消・地文(RLR)	にぶい黄緑	-	[6.3]	-	
297	324	288	深鉢	SK309 - ベルトA-A' - 1層 2層	沈縞・刺突・磨消・地文(無)	にぶい黄緑	-	[10.7]	-	
298	324	288	深鉢	SK309 - ベルトA-A' - 1層 2層	地文(LR)	褐	(18.5)	23.8	6.4	蓋部木蓋板

## 掲載遺物一覧

## 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
299	325	288	深鉢	SK814・北西・埴土上位。 SK816・南半・埴土下位	沈縞・刻字・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	19.2	25.4	6.8	直部木葉模
300	325	288	深鉢	SK814・北西・埴土上位	幾沈縞・地文(LJ)	褐	-	[4.6]	-	
301	325	288	深鉢	SK829・埴土	(残)沈縞	褐	-	[4.1]	-	
302	325	288	小形深鉢	SK829・埴土上層	隆沈縞・地文(擦糸)	橙	-	[2.1]	[5.5]	
303	325	288	深鉢	SK819・埴土6層	沈縞・地文(LJ)	暗褐色	-	[5.6]	-	
304	325	288	深鉢	SK818・埴土上位	隆沈縞・地文(LJ)	にぶい赤褐	-	[7.4]	-	
305	325	288	深鉢	SK824・2層	隆沈縞・地文(結節LJ)	にぶい赤褐	-	[15.0]	-	
306	325	288	深鉢	SK819・埴土	沈縞・地文(LJ)	褐	-	[6.6]	-	
307	325	289	深鉢	SK820・埴土上位(暗褐色土)	幾沈縞・地文(LJ)	にぶい黄褐	-	[4.6]	-	
308	325	289	深鉢	SK830・埴土	幾沈縞・地文(LJ)	褐	-	[4.9]	-	
309	325	289	深鉢	SK827・埴土	地文のみ(LJ)	灰黄褐	-	[16.5]	-	内面ニゲ
310	325	289	深鉢	SK827・埴土	幾沈縞・地文(LJ)	褐	-	[8.6]	-	
311	325	289	深鉢	SK827・埴土	幾沈縞・地文(LJ)	暗褐	-	[8.1]	-	
312	325	289	深鉢	SK831・埴土	沈縞・磨消・地文(LJ)	褐	-	[5.9]	-	外腹ヌヌ 内面ニゲ
313	325	289	深鉢	SK831・埴土	地文のみ(LJ)	橙	-	[7.3]	-	
314	325	289	深鉢	SK831・埴土	沈縞・地文(LJ)	にぶい橙	-	[19.2]	(10.6)	D180・319地土 同一個体 直部細内底
315	326	289	深鉢	SK833・埴土・1層	削文	にぶい褐	(10.3)	11.9	(5.2)	
316	326	289	深鉢	SK833・1層一括	地文のみ(LJ)	褐	(14.4)	16.2	5.9	
317	326	289	深鉢	SK835・ベルト一括	幾沈縞・地文(LJ)	暗褐	-	[4.5]	-	
318	326	289	深鉢	SK838・一括	横状突起	明赤褐	-	[4.9]	-	外面赤御
319	326	289	深鉢	SK838・埴土一括	沈縞・磨消・地文(LJ)	にぶい橙	-	[10.8]	-	D180・314地土 同一個体?
320	326	289	深鉢	SK840・一括	沈縞・磨消・地文(LJ)	にぶい褐	-	[5.2]	-	
321	326	289	深鉢	SK845・一括	地文のみ(擦糸)	にぶい褐	-	[20.6]	-	
322	326	289	深鉢	SK842・上層(黒)	沈縞・原純・地文(LJ)	明褐	-	[8.3]	-	
323	326	289	深鉢	SK843・埴土	地文のみ(擦糸)	明褐	-	[13.5]	-	

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・[既存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
324	326	289	深鉢	SK843・埋土	隆沈縁・地文(RLJ)	褐色	-	[6.6]	-	
325	326	289	深鉢	SK838・埋土一括	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[9.7]	-	
326	326	289	深鉢	SF801・ベルトA-A'・6層	地文のみ(既存)	明褐色	-	[8.8]	[14.6]	直照焼成
327	326	290	深鉢	SF801・東北1/4・埋土	沈縁・刺突・磨消・地文(LJ)	黒褐	-	[7.6]	-	内面コグ 外面ススキ
328	327	290	深鉢	SF801・埋土(2層)・燒土層	沈縁・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[22.3]	-	D330と同一個体
329	327	290	深鉢	SF801・ベルトA-A'・1層・ 6層・北東1/4・燒土層・ 北面1/4・埋土	地文のみ(結節RL)	にぶい黄緑	-	[26.6]	-	
330	327	290	深鉢	SF801・東南1/4・燒土層	沈縁・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[12.4]	-	口唇部内面 ヒレ状突起 D330と同一個体
331	327	290	深鉢	SK408・埋土	地縁	褐	-	[4.6]	-	
332	327	290	深鉢	SK408・埋土	沈縁・刺突・地文(既存)	にぶい黄緑	-	[6.3]	-	
333	328	291	深鉢	SK908・埋土	隆沈縁・地文(LJ)	褐	40.0	[57.5]	-	
334	329	290	深鉢	SK907・石検出面・繋り込み内	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	(25.7)	54.1	12.0	直照焼成
335	330	291	深鉢	SK901	隆沈縁・地文(RLJ)	褐	28.4	[18.0]	-	
336	330	292	深鉢	SK98・埋土	沈縁・磨消・地文(LJ)	褐	-	[6.8]	-	
337	330	292	深鉢	SK98・埋土	隆沈縁・地文(LJ)	褐	-	[16.7]	-	
338	330	292	深鉢	SK922・石検出面	隆沈縁・地文(RLJ)	褐	-	[12.7]	-	
339	330	292	深鉢	SK923・埋設土器	隆沈縁・地文(RLJ)	褐	-	[11.3]	11.1	
340	330	292	深鉢	SK909・埋設土器	地文のみ(LJ)	褐	-	[7.3]	-	
341	330	292	深鉢	SK907・繋り込み内	地文のみ(結節RL)	褐	-	[17.6]	-	
342	330	292	深鉢	SF402・埋土	沈縁・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[4.6]	-	
343	330	292	深鉢	SF402	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[8.1]	-	
344	330	292	深鉢	SK900・(II ARe)・石鶴周囲	隆沈縁・地文(不明)	にぶい黄緑	-	[3.5]	-	
345	331	292	深鉢	SK907・繋り込み内	沈縁・地文(結節RL)	にぶい黄緑	(23.6)	[38.1]	-	
346	331	292	深鉢	SK909・埋設土器	地文のみ(結節RL)	褐	(18.6)	26.4	(6.4)	
347	331	292	深鉢	SI401・繋り方	隆沈縁・地文(既存)	黒褐	-	[9.6]	-	D465と同一個体
348	331	292	深鉢	SI401・繋り方 外233・西手・検出面	隆沈縁・刺突・地文(RLJ)	暗褐	-	[7.6]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
349	331	292	深鉢	S1402・南側、S1406・堆土	幾沈縞・地文(LJ)	褐灰	-	[12.5]	-	
350	331	293	深鉢	S1402・堆土・ IIJK・カクラン、S1406・煙道	沈縞2条 3条・地文(LJ)	褐	(18.1)	[21.2]	-	
351	331	293	小形深鉢	S1710・床下	無文	にぶい黄褐色	-	[1.6]	2.9	
352	331	293	深鉢	S1710・床下・堆土	ヒレ状斜付・ 地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[6.8]	-	
353(表面)	332	293	深鉢	S1403・床面、煙出、煙道5・堆土・ 堆土上部	ヒレ状斜付・ 沈縞・刺突・ 地文(擦糸)	にぶい褐色	(35.0)	[20.0]	-	
353(側面)	332	293		S1428・堆土下部、製炭検出面(カ クラン)・黒褐色土	ヒレ状斜付・ 沈縞・刺突	にぶい褐色	-	[20.0]	-	
354	332	293	深鉢	S1403・煙出	沈縞・刺突・ 地文(擦糸)	明黄緑	-	[15.3]	-	
355	332	293		S1403・底床はがし(南半)	地文のみ(RL)		-	[4.6]	13.6	直通側面底
356	332	293	深鉢	S1403・P24	口縁沈縞・ 地文(RL)	明黄緑	-	[8.2]	-	
357	332	293	深鉢	S1452・カマド付近	幾沈縞・地文(LJ)	褐	-	[6.2]	-	
358	332	293	深鉢	S1452・カマド付近	幾沈縞・地文(LJ)	暗褐色	-	[9.6]	-	
359	332	293	深鉢	S1803・Q1・掘り方理土	沈縞・磨削(LJ)	褐	-	[8.3]	-	
360	333	293	深鉢	S1411・床下	幾縞	明褐色	-	[7.6]	-	補修孔
361	333	293	深鉢	S1411・堆土	幾沈縞・地文(LJ)	にぶい黄褐色	-	[4.6]	-	
362	333	293	深鉢	S1411・床下	口縁斜付・小刺突	褐	-	[3.8]	-	
363	333	293	深鉢	S1411・煙道部・煙道堆土、 床下・カマド煙道、IIZig・下層	地文のみ(擦糸)	褐灰	-	[29.5]	-	
364	333	293	深鉢	S1445・床底・SI	幾沈縞・刺突列・ 地文(LJ)	褐	-	[6.6]	-	
365	333	293	深鉢	S1445・床底	幾沈縞?・刺突列・ 地文(擦糸)	にぶい黄緑	-	[7.8]	-	
366	333	293	深鉢	S1411・IIZig・下層	幾沈縞・地文(LJ)	暗褐色	-	[11.8]	-	補修孔
367	333	294	深鉢	S1416・堆設土器2	幾縞・地文(LJ)	褐灰	(30.9)	[21.5]	-	
368	333	294	深鉢	S1445・底床・堆土	幾沈縞・地文(LJ)	にぶい褐	-	[10.0]	-	
369	333	294	深鉢	S1449・堆土	沈縞・地文(LJ)	褐	(12.2)	[10.1]	-	
370	333	294	深鉢	S1472・堆土下層	沈縞・磨削・ 地文(RL)	にぶい黄緑	-	[5.1]	-	
371	334	294	浅鉢	S1430・堆土上部	幾沈縞・地文(LJ)	浅鉢黄緑	-	[11.6]	-	
372	334	294	深鉢	S1430・堆土上部、SK414・堆土、 北側検出・検出面	幾沈縞・地文(LJ)	暗褐色	-	[12.3]	-	

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・〔残存値〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
373	334	294	深鉢	S1430・住居	幾沈縞・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[8.5]	-	
374	334	294	深鉢	S1453・堆土 S1454・埋土、北東・堆土	沈縞2重 3条・地文(LJ)	褐	-	[17.6]	-	共生土層 (中層)?
375	334	294	深鉢	S1451・埋土	沈縞・地文(LJ)	暗褐	-	[5.6]	-	
376	334	294	深鉢	S1458・點床	沈縞・地文(LJ)	暗褐	-	[7.9]	-	
377	334	294	深鉢	S1458・埋土	沈縞・地文(LJ)	褐	-	[6.8]	-	
378	334	294	浅鉢	S1466, 476・埋土	沈縞・刺突列	暗褐	-	[4.6]	-	
379	334	294	壺	S1469・埋土	沈縞・磨消(復元LJ)	にぶい黄緑	-	[7.4]	5.3	底部削除 ナメなし
380	334	294	深鉢	S1481・埋土	地文のみ(LJ)	褐	(13.7)	[16.2]	(6.2)	底部削除
381	335	295	深鉢	II22b・Ⅷ層検出	沈縞・刺突・ 地文(底糸)	褐	-	[7.8]	-	
382	335	295	深鉢	II21g・Ⅷ層	幾沈縞・地文(LJ)	褐	-	[5.8]	-	
383	335	295	深鉢	II26e・Ⅷ層	沈縞・磨消・ 地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[7.6]	-	
384	335	295	深鉢	II26e・Ⅷ層	幾沈縞・刺突列・ 地文(LJ)	暗褐	-	[5.7]	-	
385	335	295	深鉢	II22j・Ⅷ層	沈縞	にぶい黄緑	-	[4.8]	-	
386	335	295	深鉢	II23d・Ⅷ層	沈縞・磨消・ 地文(LJ)	浅鉢黄緑	-	[10.1]	-	
387	335	295	深鉢	II29g・VI層下位～Ⅷ層上面	幾沈縞・地文(LJ)	褐	-	[13.2]	-	
388	335	295	深鉢	II24h・Ⅷ層	沈縞・地文(LJ)	暗褐	(9.8)	13.4	6.6	
389	335	295	深鉢	II29g・VI層下位～Ⅷ層上面	幾沈縞・地文(LJ)	にぶい黄緑	(13.2)	13.6	8.0	
390	335	295	深鉢	II26e・Ⅷ層	幾沈縞・地文(LJ)	にぶい赤褐	-	[5.6]	6.6	
391	335	295	深鉢	II210g・VI層下位～Ⅷ層上面	幾沈縞・刺突列・ 地文(底糸)	にぶい褐	-	[8.6]	-	
392	335	295	深鉢	II210h・Ⅷ層下位	幾沈縞・刺突列・ 地文(底糸)	褐	-	[10.6]	-	
393	335	295	深鉢	II28d・Ⅷ層上 II27a・Ⅷ層	幾沈縞・地文(LJ)	褐	-	[21.7]	-	
394	335	295	深鉢	II29 f・Ⅷ層上	幾沈縞・地文(LJ)	灰褐	(9.8)	[6.9]	-	
395	335	295	深鉢	II29 f・Ⅷ層	幾沈縞・刺突列・ 地文(LJ)	灰褐	-	[8.1]	-	共生土層 (中層)?
396	335	295	器台	II210 h・Ⅷ層上位	無文・円形透孔	にぶい褐	14.7	10.4	18.0	
397	335	295	深鉢	II29 f・Ⅷ層上	幾沈縞・ 地文(底糸)	にぶい黄緑	-	[13.5]	6.6	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
398	335	295	深鉢	II29 f・Ⅶ層下位	幾沈繩・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[9.5]	-	
399	336	295	深鉢	II29 f・Ⅶ層	沈繩・磨削・地文(LJ)	灰黄褐	-	[7.5]	-	
400	336	295	深鉢	II29 f・Ⅶ層	幾沈繩・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[7.9]	-	
401	336	295	深鉢	II29 f・Ⅶ層	沈繩・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[7.7]	[7.0]	
402	336	295	深鉢	II29 f・Ⅶ層下位	幾沈繩・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[6.6]	-	
403	336	296	深鉢	II29 f・Ⅶ層	幾沈繩・地文(LJ)	橙	-	[8.6]	-	
404	336	296	深鉢	II29e・Ⅶ層	幾沈繩・地文(LJ)	にぶい褐	[15.7]	[10.3]	-	
405	336	296	深鉢	II29e・Ⅶ層	幾沈繩・刺突列・地文(撚糸)	暗褐	-	[8.4]	-	
406	336	296	深鉢	II15 i・Ⅶ層	幾沈繩・地文(LJ)	暗褐	-	[5.4]	-	
407	336	296	深鉢	II15b・Ⅶ層	沈繩・地文(LJ)	暗褐	(11.5)	[15.0]	-	
408	336	296	深鉢	II15 j・Ⅶ層上面	沈繩・地文(LJ?)	褐	-	(12.0)	-	
409	336	296	深鉢	II29e・Ⅶ層	地文のみ(撚糸)	にぶい褐	-	[12.2]	-	
410	336	296	深鉢	II16 j・Ⅶ層	沈繩・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[6.3]	-	
411	336	296	深鉢	II15 j・Ⅶ層	沈繩・磨削(LJ)	褐	-	[4.6]	3.8	
412	336	296	深鉢	II15i・II22e・埋土	幾沈繩・地文(LJ)	黒褐色	-	[7.5]	-	
413	336	296	深鉢	III21h・V1層下位～Ⅶ層	幾沈繩・地文(LJ)	灰褐	-	[13.5]	-	
414	337	296	深鉢	III21j・Ⅶ層	(残)沈繩・地文(LJ)	褐	-	[15.6]	-	
415	337	296	深鉢	sondage エリア・カクラン	沈繩・地文(LJ)	明黄褐	-	[4.9]	-	
416	337	296	浅鉢	IIY区・トレンチ・V1層	幾沈繩・地文(LJ)	にぶい赤褐	-	[5.2]	-	柱口側あり。
417	337	296	深鉢	S1415北側付近・検出	沈繩・地文(LJ)	褐	-	[7.2]	-	
418	337	296	深鉢？	追加調査区・表土検出面	幾沈繩・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[5.6]	-	
419	337	296	深鉢	追加調査区西半分、仮2号住・埋土	幾沈繩	暗褐	-	[6.3]	5.8	高部木棗板ナゲ剥し
420	337	296	深鉢	SK318周辺	地文(結節LJ)	にぶい橙	-	[32.5]	(11.0)	底面部代板
421	337	297	深鉢	カクラン・検出	幾繩	黒褐	-	[5.8]	-	
422	337	297	深鉢	SI411の下層？	円孔・突起	にぶい黄緑	-	[6.0]	-	

田舎町車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・〔残存値〕・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	3Dもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
423	337	297	深鉢	II22 b～2c・検出面	沈縞・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[4.3]	-	
424	337	297	深鉢	IIZ81～IA10b・VI層上面	沈縞・地文(LJ)	褐	-	[8.6]	-	
425	338	297	深鉢	II2・検出面	地文のみ(無文)	にぶい黄緑	(23.9)	[11.7]	-	
426	338	297	深鉢	SK318周辺	地文(LJ)	にぶい橙	-	[7.2]	13.7	直部縦代板
427	338	297	深鉢	北端(黒褐色土)	沈縞・地文(LJ)	褐	-	[25.9]	8.4	直部縦代板 ナゲ附し
428	338	297	深鉢	II1区・トレンチ・VI層	沈縞・地文(LJ)	暗赤褐	-	[29.6]	-	
429	339	297	深鉢	メインベルト南側・検出面	沈縞・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[10.6]	-	
430	339	297	深鉢	西壁検出エリア・検出	隆沈縞・突起	明褐	-	[7.2]	-	
431	339	297	深鉢	IIZ1 g・S1411の下解、IIZ1g・検出面(黒褐色土)	隆沈縞・地文(LJ)	明褐	-	[19.8]	-	
432	339	297	深鉢	中央北寄・表土～検出面、西半・検出面、検出	沈縞・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[9.2]	-	
433	339	298	深鉢	II21～2f・検出面	隆沈縞・地文(LJ)	褐	-	[14.6]	-	
434	339	298	深鉢	II21f・黒褐色	隆沈縞・地文(LJ)	黄褐	-	[7.2]	-	
435	339	298	深鉢	VI「層上面」	隆縞・地文(無文)	暗褐	-	[7.1]	-	
436	339	298	深鉢	黒褐色シルト(縄文層)	隆縞・沈縞	褐	-	[9.7]	-	
437	339	298	器台	検出面	無文	褐	(17.3)	5.9	(19.5)	
438	339	298	深鉢	S1425・埋土(縄文層)・遺構外・縄文土層	地文のみ(無文)	褐	-	[25.3]	-	
439	340	298	深鉢	IIZ81～IA10b・VI層上面	縦状突起	にぶい黄緑	-	[7.3]	-	
440	340	298	深鉢	IIZ10 g・VI層	内面ヒレ状突起・沈縞・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[5.6]	-	
441	340	298	深鉢	S1429の南・II21d, S3408, SK470・埋土	隆沈縞・地文(LJ)	褐	-	[14.1]	-	
442	340	298	深鉢	S1429の南・検出	隆沈縞・突起糸・地文(LJ)	灰黄褐	-	[6.2]	-	
443	340	298	深鉢	IIZ10 h・VI層	沈縞・磨消・地文(LJ)	灰褐	-	[7.4]	-	
444	340	298	深鉢	VII層上面	ヒレ状突起・地文(LJ)	明黄褐	-	[5.6]	-	
445	340	298	深鉢	II22e・検出	隆沈縞・地文(LJ)	橙	-	[9.7]	-	
446	340	298	深鉢	IIZ81～IIZ10b・VI層上面、IIZ10b・VI層相当	隆沈縞・地文(LJ)	褐	-	[16.8]	-	
447	340	298	深鉢	II21 g・VI層相当	沈縞・磨消・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[8.6]	-	

## 掲載遺物一覧

## 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・(残存値)・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
448	340	299	深鉢	II22 f・検出	沈縞・地文(LJ)	褐	-	[11.5]	-	
449	340	299	深鉢	II22e・検出	沈縞・地文(LJ)	褐	-	[8.9]	-	
450	340	299	深鉢	II22 g・V層相当	塊沈縞・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[5.7]	-	
451	340	299	深鉢	II21f・検出	沈縞・磨削・地文(擦点)	にぶい黄緑	-	[10.3]	-	
452	340	299	浅鉢	IIZ10 h・VI層	塊沈縞・地文(擦点)	赤褐	-	[6.1]	-	
453	341	299	深鉢	II22 e・検出	塊沈縞・地文(LJ)	暗褐	-	[12.4]	-	
454	341	299	深鉢	II22 f・検出、北・中央検出	沈縞・地文(LJ)	褐	-	[16.9]	-	
455	341	299	深鉢	IIZ8i～10 b・V層上面	ヒレ状突起・陰沈縞・地文(擦点)	にぶい黄緑	(13.0)	[10.8]	-	
456	341	299	浅鉢？	IIIY31～3 j・検出	陰沈縞・磨削・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[6.2]	-	
457	341	299	浅鉢	II26a～6b・包含層	塊沈縞・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[5.3]	-	外面部
458	341	299	深鉢	II26a～6b・包含層	塊沈縞・地文(LJ)	黒褐	-	[6.8]	-	
459	341	299	深鉢	IIIY31～3 j・検出	塊沈縞・磨削(LJ)	にぶい黄緑	-	[9.2]	-	内外面部
460	341	299	深鉢	II22 f・検出	塊沈縞・地文(LJ)	褐	(13.7)	[20.3]	(6.6)	
461	341	299	深鉢	S1451の南らへん、S1415北側付近・検出	塊沈縞・地文(LJ)	褐	[31.8]	[42.3]	-	
	341	299	深鉢	II22 f・検出	沈縞・地文(LJ)	褐				
462	342	300	深鉢	II22 f・検出	塊沈縞・地文(LJ)	褐	(20.0)	[20.1]	-	
463	342	300	深鉢	S1421付近・検出、II21d・検出、S1429の南らへん・検出	地文のみ(LJ)		-	[16.1]	12.4	底部一帯？
464	342	300	深鉢	北京・VI層～7層上面	塊沈縞・地文(擦点?)	赤褐	-	[8.7]	-	
465	342	300	深鉢	II21g・VI層相当	塊沈縞・地文(擦点?)	にぶい黄緑	-	[10.8]	-	D347と同一個体
466	342	300	深鉢	I29 h～10 h・VI層	陰沈縞・地文(擦点?)	にぶい黄緑	-	[13.3]	(7.0)	直照側底
467	342	300	深鉢	S1468付近・検出、I210e・検出、I210e～h・VI層、I210 h・VI層相当、S1426付近、I28i～I210b・VI層上面	地文のみ(絞縞LJ)	にぶい黄緑	-	[39.5]	(12.5)	直照側底
468	343	300	深鉢	北京・VI層～7層上面	地文のみ(擦点?)	灰黒褐	-	[7.7]	10.9	直照側底
469	343	300	深鉢	IIIY31～3 j・検出	陰縞・磨削？・地文(LJ)	褐	-	[8.2]	-	
470	343	300	深鉢	II22 f・検出	沈縞・地文(LJ)	褐	(17.0)	[13.2]	-	
471	343	300	深鉢	II21 g・VI層相当	塊沈縞・地文(LJ)	褐	-	[11.4]	-	

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－中期－

(復元値)・[既存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真回版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
472	343	301	深鉢	II26a～6b・包含層、不明	地文のみ(LR)	にぶい黄緑	-	[29.6]	-	
473	344	301	深鉢	II23a・複層、II26a・カタラシ、II26a～6b・包含層	地文のみ(LR)	にぶい黄緑	-	[18.6]	12.6	底部削伐痕
474	344	301	深鉢	SD401・A区・写真前の清掃	陶沈縦	黒褐	-	[8.0]	-	
475	344	301	深鉢	SD401・A区・埋土下部	沈縦・刺突列・地文(RL)	にぶい褐	-	[5.9]	-	
476	344	301	深鉢	SD401・A区・写真前の清掃	陶沈縦・地文(LR)	褐	-	[4.9]	-	
477	344	301	深鉢	SD401・A北複亂・埋土、A区・埋土上・中部	陶沈縦・地文(RL)	黄褐	-	[13.0]	-	
478	344	301	深鉢	西側壁3・包含層	沈縦・磨消・地文(RL)	暗褐	(22.0)	[11.0]	-	
479	344	301	深鉢	SD402・F(北側) 地すべり状地形・埋土	陶沈縦・地文(RL?)	にぶい褐	-	[6.4]	-	
480	344	301	深鉢	SD402・DK土槽付近・黒ボク土	陶沈縦・地文(LR)	暗褐	-	[6.8]	(7.4)	
481	344	301	深鉢	SD402・C面・埋土下部②	内面ヒレ状突起・ 沈縦	にぶい褐	-	[4.6]	-	
482	344	301	深鉢	SD402・C西端・埋土下部④、 C西・埋土下部③	沈縦・磨消(RL)	にぶい褐	-	[8.1]	-	
483	344	301	深鉢	SP4735	陶沈縦・地文(LR)	暗褐	-	[7.2]	-	
484	344	301	深鉢	SD402・C西端埋土下部②、SD482	ヒレ状突起・沈縦 ・磨消・地文(RL)	赤褐	-	[7.2]	-	
485	344	301	深鉢	SD402・DK・斜斜面～土槽貼付土	陶沈縦・刺突列・ 地文(透赤)	赤褐	-	[6.2]	-	
486	344	301	深鉢	SP4082	陶沈縦・地文(LR)	暗褐	-	[3.9]	-	
487	344	301	深鉢	SP4211	地文(RL)	褐灰	-	[5.1]	13.1	底部削伐痕

第5表 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器(D)一覧—早期末葉—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
488	345	302	深鉢	SIT752・埋土	原体汪痕	にぶい赤褐色	-	[5.3]	-	
489	345	302	深鉢	SIT752・埋土	地文のみ(LJ)	明赤褐色	-	[8.2]	-	縦縞多量
490	345	302	深鉢	SIT752・埋土下部	原体汪痕・地文(LJ)	灰黄褐色	-	[7.2]	-	内面沈継
491	345	302	深鉢	SIT752・埋土下部	原体汪痕・網突・地文(LJ)	黒褐色	-	[7.3]	-	D561と同一個体 →採集後補
492	345	302	深鉢	SIT752・埋土	地文のみ(LJ)	灰黄褐色	-	[4.6]	-	
493	345	302	深鉢	SIT752・床底	地文のみ(LJ)	にぶい梗	-	[4.4]	-	
494	345	302	深鉢	SIT752・埋土	原体汪痕	にぶい赤褐色	-	[4.8]	-	縦縞微量
495	345	302	深鉢	SIT752・埋土下部	原体汪痕	にぶい黃褐色	-	[3.6]	-	
496	345	302	深鉢	SIT752・埋土下部	原体汪痕・地文(LJ)	にぶい褐色	-	[4.8]	-	
497	345	302	深鉢	SIT752・埋土	原体汪痕・地文(LJ?)	にぶい黃褐色	(32.5)	[18.2]	-	
498	345	302	深鉢	SIT753・東西ペルト	地文(LJ)	明褐色	-	[10.1]	-	表面調文
499	345	302	深鉢	SIT753・東西ペルト	原体汪痕・地文(LJ)	にぶい黃褐色	-	[7.5]	-	
500	345	302	深鉢	SIT753・東西ペルト	原体汪痕・地文(LJ)	にぶい黃褐色	-	[7.4]	-	D561と同一個体
501	345	302	深鉢	SIT753・東西ペルト	原体汪痕・地文(LJ)	にぶい黃褐色	-	[13.4]	-	D609と同一個体
502	345	302	深鉢	SIT753・埋土下層	原体汪痕・地文(LJ)	暗褐色	-	[7.8]	-	
503	345	302	深鉢	SIT753・東端・埋土下層	原体網突付彫線・原体汪痕	灰黄褐色	-	[4.6]	-	
504	345	302	深鉢	SIT753・東端・埋土下層	地文(LJ)	にぶい黃褐色	-	[11.7]	-	表面調文
505	345	302	深鉢	SIT753・東端・埋土下層	原体汪痕付彫線・地文(LJ)	暗褐色	-	[8.2]	-	表面調文・補修孔
506	346	303	深鉢	SIT753・東端・埋土下層	原体汪痕付彫線・原体汪痕・地文(LJ)	にぶい黃褐色	-	[12.6]	-	N618と同一個体?
507	346	303	深鉢	SIT753・埋土下層	地文のみ(LJ)	梗	-	[7.6]	-	表面調文
508	346	303	深鉢	SIT753・埋土下層	原体汪痕・地文(LJ)	褐色	-	[13.4]	-	外縁スヌ内面リダ付帯
509	346	303	深鉢	SIT753・東西ペルト	原体汪痕付彫線・地文(LJ)	明褐色	-	[7.8]	-	表面調文
510	346	303	深鉢	SIT753・南東・埋土上層	原体汪痕・地文(LJ)	褐灰	-	[5.1]	-	
511	346	303	深鉢	SIT753・南東側・埋土下層	原体汪痕付彫線・原体汪痕・地文(LJ)	にぶい黃褐色	(30.2)	[34.9]	-	表面調文
512	346	303	深鉢	SIT753・南東側・埋土下層	沈縞?・地文(LJ?)	にぶい黃褐色	-	[7.1]	-	

## 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－早期末葉－

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺物・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
513	346	303	深鉢	S1753・北東・埋土下層	原体压痕付縦線・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[6.8]	-	
514	346	303	深鉢	S1753・東端・埋土上層	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[5.4]	-	
515	346	303	深鉢	S1753・南東・埋土上層	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[6.3]	-	
516	347	303	深鉢	S1753・東端・埋土下層	原体压痕付縦線・地文(LJ)	明褐色	-	[15.4]	-	表裏両文
517	347	303	深鉢	S1753・検出面	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[10.4]	-	
518	347	304	深鉢	S1753・東端・埋土下層②	原体压痕付縦線・原体压痕・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[8.1]	-	D506と同一個体？
519	347	304	深鉢	S1753・埋土下層	原体压痕・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[7.1]	-	表裏両文
520	347	304	深鉢	S1753・埋土下層	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[5.9]	-	縫跡少量
521	347	304	深鉢	S1753・南北トレ・埋土下層(集中部)	原体压痕・地文(LJ)	褐	-	[9.4]	-	
522	347	304	深鉢	S1753・東端・埋土下層・埋土下層②・③・東西ベルト	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[12.5]	-	
523	347	304	深鉢	S1753・南東・埋土上層・東端・埋土下層	原体压痕付縦線・地文(LJ)	にぶい黄緑	(28.7)	[21.3]	-	表裏両文
524	347	304	深鉢	S1753・東端・埋土下層	原体压痕・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[14.5]	-	表裏両文
525	347	304	深鉢	S1753・南東・埋土上層	原体压痕付縦線・地文(LJ?)	黒褐	-	[3.8]	-	
526	347	304	深鉢	S1753・南西・埋土上層	地文(LJ)	明褐色	-	[5.6]	-	
527	348	304	深鉢	S1914・Q5・理土下層・Q5・埋土南側下層	路地体压痕付縦線・地文(RL)	にぶい黄緑	-	[5.6]	-	表裏両文
528	348	304	深鉢	S1914・Q3・埋土下層	原体压痕付縦線・地文(LJ)	褐	-	[9.1]	-	表裏両文
529	348	304	深鉢	S1914	地文のみ(LJ)	明褐色	-	[7.9]	-	表裏両文
530	348	304	深鉢	S1914・Q3,Q4・埋土下層	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[7.1]	-	表裏両文
531	348	305	深鉢	S1914・Q4・埋土下層・東西ベルト内埋土	地文のみ(LJ)	明褐色	-	[8.6]	-	表裏両文
532	348	305	深鉢	S1914・Q3・埋土下層	原体压痕付縦線・地文(LJ)	褐	(25.1)	[22.6]	-	補修孔あり。
533	348	305	深鉢	S1914・Q3・埋土下層	原体压痕付縦線・地文(LJ)	にぶい黄緑	-	[6.4]	-	表裏両文
534	348	305	深鉢	S1914	地文のみ(LJ)	黒褐	-	[5.7]	-	表裏両文
535	348	305	深鉢	S1914・Q1・下層・Q3・埋土下層	地文のみ(LJ)	褐	30.1	[20.4]	-	内面コグ
536	348	305	深鉢	S1914・Q4・埋土下層	地文のみ(LJ)	にぶい黄緑	-	[5.4]	-	表裏両文
537	348	305	深鉢	S1914・Q3・埋土下層	地文のみ(LJ)	にぶい褐	-	[5.1]	-	

## 掲載遺物一覧

## 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－早期末葉－

(復元値)・〔既存値〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
538	349	305	深鉢	S1916・Q4・埋土上位	地文のみ(LR)	にぶい黄褐色	-	[9.6]	-	表裏両文
539	349	305	深鉢	S1916・Q4・埋土下位	原体直付隆線・沈線・地文(LR)	暗褐色	-	[6.6]	-	表裏両文
540	349	305	深鉢	S1916・Q1・埋土上位	地文のみ(LR)	褐	-	[3.3]	-	
541	349	305	深鉢	S1916・3,4ブロック・埋土上位	地文のみ(LR)	灰褐色	-	[5.6]	-	
542	349	305	深鉢	S1916・Q1・埋土上位	地文のみ(LR)	にぶい黄褐色	-	[4.8]	-	
543	349	305	深鉢	S1916・1,2ブロック・埋土上位	地文のみ(LR)	明褐色	-	[3.1]	-	
544	349	306	深鉢	S1916・Q3・埋土上位、埋土中	原体直付隆線・地文(LR)	黒褐色	(36.1)	[12.2]	-	埴輪孔
545	349	305	深鉢	S1916・Q1・埋土上位	地文のみ(LR)	にぶい黄褐色	-	[5.2]	-	表裏両文
546	349	306	深鉢	S1754・床直(トレンチ)、S1755・床直、後出面、南北トレンチ	地文のみ(LR)	褐	(29.3)	[19.0]	-	表裏両文(周面)
547	349	306	深鉢	S1755・南北トレンチ	盛り上げに刻み・地文(LR)	褐	-	3.8	-	
548	349	306	深鉢	S1755・南北トレンチ	地文のみ(LR)	にぶい黄褐色	-	6.1	-	
549	349	306	深鉢	S1901・埋土下層	原体直付隆線・地文(LR)	にぶい黄褐色	-	[5.4]	-	表裏両文
550	349	306	深鉢	S1903・埋土	地文のみ(LR)	黒褐色	-	[5.6]	-	
551	349	306	深鉢	S1903・P1(3)内	地文のみ(不明)	にぶい黄褐色	-	[6.9]	-	
552	349	306	深鉢	S1903・埋土	原体直付・地文(LR)	にぶい黄褐色	-	[3.4]	-	表裏両文
553	349	306	深鉢	S1753・埋土下層	かきよせ(上下)・地文(LR)	にぶい黄褐色	-	[12.8]	-	縹緲微量混入
554	349	306	深鉢	S1912・Q3・埋土	原体直付	暗褐色	-	[4.7]	-	
555	350	306	深鉢	S1756・埋土	原体直付・地文(LR)	褐	(30.5)	[13.1]	-	縹緲少量
556	350	306	深鉢	S1756・埋土	地文のみ(LR)	褐	-	[3.9]	-	
557	350	306	深鉢	S1756・埋土	地文のみ(LR)	褐	-	[7.8]	-	
558	350	306	深鉢	S1756・埋土	原体直付・地文(LR)	褐	-	[5.3]	-	縹緲少量
559	350	306	深鉢	S1756・埋土	原体直付・地文(LR)	暗褐色	-	[4.8]	-	縹緲少量
560	350	306	深鉢	S1756・埋土	原体直付隆線・地文(LR)	明褐色	-	[10.8]	-	縹緲や多い
561	350	307	深鉢	S1756・埋土・北西隅・埋土一括土器	原体直付・地文(LR)	褐	-	[16.9]	-	縹緲少量
562	350	307	深鉢	S1756・埋土	原体直付・地文(LR)	褐	-	[8.7]	-	

## 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—早期末葉—

(復元値)・〔既存値〕・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
563	350	307	深鉢	SI756・埴土	地文のみ(LR)	褐	-	[16.6]	-	
564	350	307	深鉢	SI756・埴土下部	刺突列・地文(LR?)	黒褐	-	[12.6]	-	D481と同一個体
565	351	307	深鉢	SI756・埴土・北西隅・埴土・一括土器	地文のみ(LR)	にぶい赤褐	-	[19.6]	-	
566	351	307	深鉢	SF401・埴土下	条痕・原体圧痕・地文(LR)	褐	(31.5)	[35.3]	-	縹緲含む。
567	351	307	深鉢	SK735・埴土	地文のみ(LR)	褐	-	[11.3]	-	縹緲少量
568	351	307	深鉢	SK727・埴土	地文のみ(LR)	褐	-	[7.9]	-	縹緲少量
569	351	307	深鉢	SK829・埴土	口縁端部刻み・地文(LR)	暗褐	-	[2.8]	-	縹緲少量
570	351	307	深鉢	SK490・埴土	口縁端部原体圧痕・地文(LR)	褐	-	[3.8]	-	
571	351	307	深鉢	SK729・埴土	地文のみ(LR)	褐	-	[7.0]	-	縹緲少量
572	351	308	深鉢	SK735・埴土	地文のみ(LR)	褐	-	[5.1]	-	表裏両文
573	351	308	深鉢	II A7a・VIII層	口縁内面に原体圧痕・地文(LR)	褐	-	[5.2]	-	表裏両文
574	351	308	深鉢	II A7b?・VIII層	原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[6.6]	-	内面コダ付帶表裏両文・縫合孔
575	351	308	深鉢	SK728・埴土	地文のみ(LR)	にぶい褐	-	[5.1]	-	
576	352	308	深鉢	II 210 j・VIII層	地文のみ(LR)	にぶい黄褐	-	[6.1]	-	内面コダ付帶表裏両文
577	352	308	深鉢	II A7a・VIII層	原体圧痕	褐	-	[5.9]	-	
578	352	308	深鉢	II A7a・VIII層	堆形?・沈縫・原体圧痕・地文(LR)	にぶい褐	-	[7.6]	-	表裏両文
579	352	308	深鉢	II 210 j・VIII層	原体圧痕・地文(未端LR)	にぶい黄褐	-	[11.8]	-	
580	352	308	深鉢	II A6 c・VIII層	地文のみ(LR)	灰黃褐	-	[3.6]	-	縹緲少量
581	352	308	深鉢	II A7b・VIII層	地文のみ(LR)	灰褐	-	[2.8]	-	
582	352	308	深鉢	II 27h・VIII層(池山直上層)	地文のみ(LR)	暗褐	-	[12.7]	-	
583	352	308	深鉢	II A6 c・VIII層	口縁部に刻み・地文(LR)	暗褐	-	[6.0]	-	縹緲少量
584	352	308	深鉢	II A6 a・複合	口縁部に原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[6.9]	-	縹緲少量
585	352	308	深鉢	II A6 b・VIII層	口縁部に刻み・地文(LR)	にぶい褐	-	[4.6]	-	
586	352	308	深鉢	II A6 b・VIII層	路条你正直・陳布・地文(非結晶LR)	褐灰	-	[6.6]	-	
587	352	308	深鉢	埴土横付近・VIII層上面	原体圧痕・地文(LR)	褐灰	-	[3.8]	-	

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧－早期末葉－

(復元値)・[既存値]・その他最大値

掲載No/D	図版	写真回数	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
588	352	308	深鉢	II Y 5 i・Ⅷ層	口縁部原体压痕・地文(?)	褐	-	[10.7]	-	縄縺多量
589	352	308	深鉢	III Z 11 i・Ⅷ層	地文のみ(?)	にぶい黄緑	-	[8.6]	-	縄縺多量 前面切欠?
590	352	308	深鉢	II A 6 e・Ⅷ層	略帯・地文(LR)	にぶい黄緑	-	[9.4]	-	
591	352	308	深鉢	II Y 5 i・Ⅷ層	原体压痕・地文(?)	にぶい褐	-	[6.8]	-	
592	352	308	深鉢	II A 6 c・Ⅷc層	原体压痕付略帯・地文 (LR)	暗褐	-	[4.9]	-	縄縺微量
593	352	308	深鉢	II Z 8 b・Ⅷ層	地文のみ(?)	明黄褐	-	[5.4]	-	縄縺少量
594	352	308	深鉢	II A 4・Ⅷ層	地文のみ (LR?)	褐	-	[4.7]	-	縄縺深入 前面切欠~底面
595	352	308	深鉢	II A 7 c・Ⅷ層	地文のみ(不明)	にぶい橙	-	[6.3]	-	

第6表 田舎車堂前遺跡掲載縄文土器(D)一覧—早期中葉—

(復元値)・[既存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真回数	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法(cm)			備考
							口径	器高	底径	
596	353	309	深鉢	SI802・pp10	貝殻・沈縞文	淡青黄緑	-	[4.6]	-	
597	353	309	深鉢	SI753・南東側・埋土下層	貝殻・沈縞・網突列	にぶい黄緑	-	[6.8]	-	
598	353	309	深鉢	SI916・3,4ブロック・埋土上位	貝殻・沈縞	にぶい黄緑	-	[5.1]	-	
599	353	309	深鉢	SI489	貝殻・沈縞文	にぶい黄緑	-	[2.7]	-	
600	353	309	深鉢	SI903・埋土	無文	橙	-	[5.4]	-	
601	353	309	深鉢	SI494・埋土	貝殻・沈縞文	にぶい黄緑	-	[5.1]	-	
602	353	309	深鉢	SI904・埋土	沈縞・網突	橙	-	[4.0]	-	
603	353	309	深鉢	SK833・埋土	貝殻・沈縞	にぶい黄緑	-	[3.6]	-	
604	353	309	深鉢	SI489・埋土	貝殻・沈縞文	にぶい橙	-	[3.7]	-	
605	353	309	深鉢	SK827・埋土	貝殻・沈縞・網突	にぶい黄緑	-	[4.7]	-	
606	353	309	深鉢	II A7c・Ⅷ層	沈縞・網突	橙	-	[3.6]	-	
607	353	309	深鉢	SK476・埋土	貝殻・沈縞・網突	灰黄緑	-	[4.2]	-	
608	353	309	深鉢	SK900・(II A8a) 石範圍内	貝殻・沈縞・網突	褐	-	[4.2]	-	
609	353	309	深鉢	II Y 5 i・Ⅷ層	貝殻	橙	-	[6.0]	-	
610	353	309	深鉢	II A6a・Ⅷ層	貝殻・沈縞	にぶい橙	-	[3.4]	-	
611	353	309	深鉢	II A7b・Ⅷ層	沈縞	にぶい黄緑	-	[4.2]	-	
612	353	309	深鉢	II Z7a・Ⅷ層	貝殻・沈縞・網突	褐灰	-	[4.4]	-	
613	353	309	深鉢	II A7a~7b・Ⅷ層	貝殻・沈縞・網突	橙	-	[5.1]	-	
614	353	309	深鉢	II A5b・Ⅷ層	貝殻・沈縞・網突	褐灰	-	[4.4]	-	
615	353	309	深鉢	II A7b・Ⅷ層	貝殻・沈縞・網突	にぶい黄緑	-	[5.9]	-	
616	353	309	深鉢	II 10b・Ⅸ層	貝殻・沈縞文	にぶい黄緑	-	[4.3]	-	
617	353	309	深鉢	II Y 5 i・Ⅷ層	貝殻・沈縞・網突	にぶい黄緑	-	[4.3]	-	

第7表 田鎮車堂前遺跡掲載磁器(E)一覧

掲載NoE	図版	写真図版	種別	器種	産地(類)	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
1	195	188	青磁	碗	龍泉窯系	SP4264・埋土	外面蓮弁文	13世紀
2a	195	188	青磁	碗	龍泉窯系	SI438・埋土上層、罐1・西C区検出面	外面蓮弁文	13世紀
2b	195	188	青磁	碗	龍泉窯系	罐1・西C区・検出面		13世紀
3	195	188	白青磁	碗	中国	■COg・包含層		13世紀
4	195	188	染付	碗	肥前	表土		17世紀
5	199	188	青白磁	皿	景德鎮	罐1・東C区・埋土下層	極薄で外反する口縁	口縁飾花形?
6	199	188	白磁	碗	福建	BB10d~f・検出面	内面に平行沈線2条	
7	199	188	白磁	碗	福建	北東側表土～検出面	見込みに沈線	
8	199	188	白磁	碗	福建	罐1・東・埋土	見込み釉搖き取り?	
9	199	189	白磁	碗	福建	罐1・ベルト・東埋土最下層	見込みに沈線	
10	199	189	白磁	碗	福建	罐1・ベルト・埋土最下層		太平府編年Ⅱ版
11	199	189	白磁	碗	福建	北東側表土～検出面	見込み釉搖き取り	
12	199	189	白磁	四耳壺?	福建	罐1・東・埋土上層		
13	199	189	白磁	四耳壺?	福建	■B2a・表土		
14	199	189	白磁	壺	福建	罐1・東・埋土		
15	199	189	白磁	壺	福建	SD601・流末埋土	内面大半無輪	
16	199	189	青磁	盤	龍泉窯系	SD402・D区西・土橋～南斜面貼付土	刻花文	
17	199	189	青磁	碗	同安窯系	罐1・西F区・埋土上層	柳目文?	
18	199	189	青磁	碗	龍泉窯系	SI208・埋土中位	刻花文	
19	199	189	青磁	碗	龍泉窯系	区画溝1・南側・埋土最上層	刻花文	
20	199	189	青磁	碗	龍泉窯系	BB10e・検出面	刻花文	
21	199	189	青白磁	碗	龍泉窯系	BY4 d・西侧低地帯・里層	刻花文	
22	199	189	青磁	碗	同安窯系	BB10d~f検出面	見込みに段	
23	199	189	青磁	水瓶?	龍泉窯系	BB横乱	見込みに工具調整痕	

第8表 田舎車堂前遺跡揭露陶器(F)一覧

揭露No/F	図版	写真回版	器種	産地(窯)	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
1	195	188	鉢	伊豆沼	S1422・埋土		14世紀?
2	195	188	鉢	伊豆沼	S1206~205・埋土上層		14世紀?
3	195	188	鉢	伊豆沼	北東隅突出		14世紀?
4	195	188	鉢	伊豆沼	II22b~3b・被出		14世紀?
5	199	190	鉢	常滑	調査区南側・トレンチB	内面自然釉	
6	199	190	鉢	常滑	S1301・埋土上層		
7	199	190	鉢	常滑	窓穴建物1 (S1208)	下端回転ヘラケズリ	
8	199	190	鉢	常滑	堀1 (SD207)・埋土最上層		
9	199	190	鉢	常滑	西側低地帯・IIY5d・田層	下半回転ヘラケズリ	
10	199	190	鉢	常滑	堀1 (SD402A)・埋土上層	下半回転ヘラケズリ	
11	199	190	鉢	常滑	堀1 (SD402B)・埋土		13c初期?
12	199	190	鉢	渥美	IIA4g~6j・被出面		渥美最新復元?
13	200	190	壺	渥美	堀1 (SD207A)・埋土上層		F14~17と同一個体?
14	200	190	壺	渥美	堀1 (SD207)・埋土上層		F13~15~17と同一個体?
15	200	190	壺	渥美	堀1 (SD207A)・埋土下層		F13~14~16~17と同一個体?
16	200	190	壺	渥美	堀1 (SD402F)・埋土上層		F13~15~17と同一個体?
17	200	190	壺	渥美	堀1 (SD402F)・埋土上層		F13~16と同一個体?
18	200	190	壺	常滑	III6c~8e・中世包含層	線刻文?	二層または三層文様。F19~20と同一個体?
19	200	190	壺	常滑	14年度南西区トレンチ(1面)	線刻文	二層または三層文様。F18~19と同一個体?
20	200	190	壺	常滑	SD215・南端・埋土	線刻文?	二層または三層文様。F18~19と同一個体?
21	200	190	壺	渥美	堀1 (SD402F)・埋土最上層	線刻文	新宿繩文の可能性あり。
22	200	190	壺	常滑	講1・埋土中位	線刻文	三筋文様。F23と同一個体?
23	200	190	壺	常滑	講1・埋土上層	線刻文	三筋文様。F22と同一個体?
24	200	190	壺	渥美	堀2 (SD301)・北端・埋土上層	線刻文?	同じ文様?
25	200	190	壺	渥美	窓穴建物1 (S1208)・埋土中位	線刻文?	同じ文様? F26~27と同一個体?

田鎮車堂前遺跡掲載陶器（F）一覧

掲載No/F	図版	写真回版	器種	産地（窯）	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
26	200	190	壺	綿美	塚1 (SD402E)・埋土上層	無文・自然縫	F25, 27と同一個体？
27	200	190	壺	綿美	塚1 (SD402E)・埋土上層	無文・自然縫	F25, 26と同一個体？
28	200	190	壺	水沼	S1454・埋土	肩部に鉢底	
29	200	190	壺	水沼	塚1・埋土中位	格子目押印	磁質表面褐色、表面光沢のある墨色。
30	200	190	壺	綿美	IIA6～8j・包含層	格子目押印	内外面・瓶底に擦斑。
31	200	190	壺	綿美	塚1 (SD402D)・埋土下層		内面に擦斑。
32	200	190	壺	綿美	SK451・埋土	格子目押印	
33	201	190	壺	綿美	S1441・カマド付近	格子目押印	F24～27と同一個体？
34	201	190	壺	綿美	塚1 (SD207A)・埋土上層	格子目押印	F23・34～36と同一個体？
35	201	191	壺	綿美	IIA1～2c・検出面		F23・34～36・37と同一個体？
36	201	191	壺	綿美	表土		F23～35・37と同一個体？
37	201	191	壺	綿美	S1423・埋土		F23～36と同一個体？
38	201	191	壺	綿美	塚1 (SD05)・埋土中位	格子目押印	F29と同一個体？
39	201	191	壺	綿美	北東隅突出		F28と同一個体？
40	201	191	壺	綿美	塚1 (SD207B)・埋土上層	格子目押印	F41～43と同一個体？
41	201	191	壺	綿美	塚1 (SD207)・埋土中位	格子目押印	F40・42・43と同一個体？
42	201	191	壺	綿美	塚1 (SD402D+SD207A)・埋土下層	格子目押印	F40・41・43と同一個体？
43	201	191	壺	綿美	塚1 (SD207)・埋土上層		F40～42と同一個体？
44	201	191	壺	綿美	井戸1・埋土中位	格子目押印	F44と同一個体？
45	201	191	壺	綿美	井戸1・埋土上層		F44と同一個体？
46	201	191	壺	綿美	III B・西側・Ⅲ層	格子目押印	
47	201	191	壺	綿美	塚1 (SD402E)		
48	201	191	壺	綿美	整穴建物1 (S1206)・埋土中位		
49	201	191	壺	綿美	IIA表土・検出		
50	201	191	壺	綿美	IIA表土・検出		

田舎車堂前遺跡揭露陶器(F)一覧

揭露No.F	図版	写真図版	器種	産地(窯)	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
51	201	191	甕	綿美	縄1 (SD207C)・埋土中～上層		
52	201	191	甕	常滑	II B5d～6e・包含層	押印	
53	202	191	甕	常滑	SD02・埋土		体部下端～底断片。
54	202	191	甕	常滑	井戸1・埋土中位		内外面に墨斑。
55	202	191	甕	常滑	縄1 (SD402C)・埋土上層	格子目押印	F56・57と同一個体?
56	202	191	甕	常滑	SI803・北の擾乱	格子目押印	F58・59と同一個体?
57	202	191	甕	常滑	縄1 (SD402D)・埋土上層	格子目押印	F58・59と同一個体?
58	202	191	甕	常滑	縄1 (SD402E)・埋土	格子目押印	F59と同一個体?
59	202	191	甕	常滑	SI202・床面	格子目押印	F58と同一個体?
60	202	192	甕	常滑	II A・表土・擾乱	格子目押印	水沼窯の可能性あり。
61	202	192	甕	常滑	SD215・埋土下層	格子目押印	綿美窯の可能性あり。
62	202	192	甕	常滑	縄1 (SD207)・埋土		
63	202	192	甕	常滑	縄2 (SD301)・埋土		肩～底断片。
64	202	192	甕	常滑	SD04・埋土		
65	202	192	甕	常滑	道路下T14脇・第2面		
66	202	192	甕	常滑	近世包含層		
67	202	192	甕	常滑	縄1 (SD207)・埋土下層		
68	202	192	甕	常滑	縄2 SD401A・埋土中・下部		
69	202	192	甕	常滑	埋土		
70	203	192	甕	常滑	SD401・A区北岸・擾乱層		
71	203	192	甕	常滑	縄1 (SD402E)・埋土下層		
72	203	192	甕	常滑	縄1 (SD402D)・東・埋土		
73	203	192	甕	常滑	SI464・埋土		
74	203	192	甕	常滑	SD401・A区・埋土上・中部		
75	203	192	甕	常滑	SD402・E区南斜面・貼付土～埋土下部		

田鎮車堂前遺跡掲載陶器(F)一覧

掲載NoF	図版	写真図版	器種	産地(層)	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
76	203	192	甕	常滑	SK705		
77	203	192	甕	常滑	SI476・埴土		
78	203	192	甕	常滑	IIY44・田層		内面に磨痕
79	203	192	甕	常滑	棚1(SD402F)・埴土最上層		
80	203	192	甕	常滑	SD401		
81	203	192	甕	常滑	SD401・埴土下部		
82	203	192	甕	常滑	棚1(SD402E)・埴土		
83	203	192	甕	常滑	SI704・北側焼出面		

第9表 田舎車堂前遺跡掲載金属製品(G)一覧

[残存値]・その他最大値

掲載NoG	図版	写真図版	器種	出土遺物・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
1	204	193	鉄製小札	溝1・埋土最下層	[8.5]	4.4	0.3	36.29	平面圖あり
2	204	193	鉄製小札	溝1・埋土上層	8.4	4.6	0.2	29.38	折り曲げ(図2-A)
3	204	193	鉄製小札	溝1・埋土上層	8.3	4.3	0.2	28.34	折り曲げ
4	204	193	鉄製小札	溝1・ベルト南側・埋土中位	7.7	4.5	0.3	34.86	折り曲げ
5	204	193	鉄製小札	溝1・最下層	8.5	4.5	0.3	30.12	平面圖あり、表面に有機質
6	204	193	鉄製小札	溝1・埋土下層	8.6	4.3	0.3	30.36	表面に有機質
7	204	194	鉄製小札	溝1・横出面	[4.3]	4.2	0.2	14.96	表面に有機質
8	205	193	鉄製小札	溝1・最下層	8.6	4.5	0.2	32.47	平面圖あり、切り込み
9	205	193	鉄製小札	溝1・底石・直上	[8.5]	4.1	0.3	21.95	平面圖あり、表面に有機質
10	205	194	鉄製小札	溝1・埋土1~2層	8.7	4.3	0.2	27.7	
11	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[7.9]	4.3	0.3	41.53	表面に有機質
12	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[5.1]	4.5	0.2	20.29	表面に有機質
13a	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[4.1]	[3.2]	0.2	13.88	2個体
13b	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[5.5]	4.2	0.2	14.11	2個体
14	205	194	鉄製小札	溝1・埋土上層	[6.5]	4.3	0.2	21.75	表面に有機質
15	206	194	鉄錐	溝1・埋土上層	[9.3]	2.2	0.9	15.34	
16	206	194	鉄製銛	溝1・埋土1~2層	9.6	1.8	0.5	13.65	
17	206	194	鉄製弓削刀子	SD01・2層	12.50	3.7	0.9	20.41	
18	206	194	鉄製錐	溝1・埋土1~2層	13.1	1.9	0.4	34.10	
19	206	195	鉄製毛抜	溝1・埋土上層	8.6	1.1	0.6	12.06	
20	206	195	鉄製火打金	井戸1・埋土下層(黒色土)	2.8	7.7	0.5	40.24	
21	206	195	鉄製短劍?	溝1・埋土	[9.6]	[2.4]	0.5	19.13	両刃
22	206	195	鉄製刀子	溝1・埋土上層	[11.75]	1.95	0.55	17.84	
23	206	195	馬具?	溝1・1~2層	5.6	1.9	1.1	10.25	鍔の馬具?
24	206	195	鉗	溝1・1~2層	7.8	3.7	1.2	20.79	逆刺頭し

## 田舎車堂前遺跡掲載金属製品(6)一覧

[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
25	206	195	半月状不明 鉄製品	廣1・埋土上層	7.4	4.2	0.2	29.19	
26	206	195	手鏡	廣1・ベルト南東側・埋土中位	[9.2]	[2.0]	1.0	21.30	
27	206	195	不明	廣1・埋土	[5.8]	[2.8]	[1.0]	4.26	神社
28	207	195	鉄鏡	井戸1・埋土上層	[10.7]	[10.2]	0.6	206.72	
29	207	196	刀装具 口金具?	堀1・埋土中～下部	3.6	2.5	1.15	10.14	口金具?
30	207	196	鍔先	廣1・埋土	[9.1]	[2.1]	0.9	18.90	
31	207	196	筋鍔車	廣1・埋土	4.3	[4.35]	1.2	17.40	
32	207	196	網製釘頭	検出面	[4.9]	[7.45]	0.75	8.06	
33	207	196	馬鍐	SI206・No.1	22.4	2.6	1.5	174.39	馬鍐状
34	206	196	短刀(腰刀)	不明	31.0	4.2	2.1	262.24	
35	277	251	刀子	SI403・床面直上	24.5	1.7	0.9	38.68	
36	277	251	小刀?	検出面	[22.15]	3.55	2.6	161.30	
37	277	251	刀子	SI431・No.1	[18.95]	[1.75]	[1.15]	25.60	
38	277	251	刀子	SI204・No.2・埋土	[15.2]	1.8	1.5	26.80	折れ
39	277	251	刀子	SI204・床着(洗土化面)	[11.45]	1.7	0.75	17.85	折れ
40	277	251	刀子	SI201・埋土中位層	[15.1]	[2.4]	[1.2]	49.63	折れ
41	277	251	刀子	SI91・埋土下層	21.2	2.2	1.2	57.58	
42	278	252	小刀?	北中央・検出	[6.8]	[2.2]	0.8	19.60	
43	278	252	小刀?	北中央・検出	[5.7]	2.6	1.7	18.17	
44	278	252	刀子?	SI459・埋土	12.5	1.6	1.0	16.90	
45	278	252	刀子	SI454	[11.8]	[2.6]	0.9	29.40	079と一緒に入っていたもの
46	278	252	刀子?	SI701・埋土最上層	[6.75]	1.6	1.05	8.90	
47	278	252	刀子?	SK202・埋土上層	[5.3]	2.4	1.25	10.30	
48	278	252	馬鍐	SK201・No.1・底面	31.75	4.15	1.95	258.63	馬鍐状
49	278	252	太刀?	SK201・No.3・底面	34.6	6.7	3.0	461.08	

田舎車堂前遺跡掲載金属製品(6)一覧

[残存値]・その他最大値

掲載NoG	図版	写真図版	器種	出土遺物・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
50	278	252	鍔呑金具	SI1202・床面	[2.8]	3.0	2.1	10.71	
51	279	253	太刀	SK718・埴土最下層(4層)	[55.7] [11.2]	6.4 5.75	3.25 2.55	810.7 194.4	2個体
52	279	253	刀装具鉢	SI438・埴土上位	6.4	2.9	0.7	24.30	鉢
53	279	253	刀装具鉢	SI478・埴土	7.2	4.0	0.9	46.23	鉢
54	279	253	刀装具鉢	SI451・埴土	6.0	2.4	0.8	18.6	鉢
55	279	253	刀装具鉢	SF401・埴土	3.9	2.2	0.15	3.42	鉢、鉢割?
56	279	253	刀装具鉢(柄凹)	SK17・埴土	[4.3]	3.6	3.1	37.56	
57	280	254	鐵	SI1501・南西・埴土下層	[7.6]	1.9	0.65	7.97	
58	280	254	鐵	SI439・埴土	[5.1]	1.8	0.5	3.26	鉢身
59	280	254	鐵	IIY4e・T1とT6の間・埴層	7.75	3.4	1.0	22.69	
60	280	254	鐵	SI1203・北側・埴露面	[5.0]	[3.26]	0.35	5.36	無蓋平札式五角形鉢
61	280	254	鐵鐵	SB01・SP306	[2.9]	[2.9]	[0.4]	3.86	鉢身
62	280	254	鐵鐵	SI454・検出面～10cm下	[7.7]	[4.0]	1.0	23.69	
63	280	254	鐵鐵	SI1203・No.3・床面	[5.7]	[3.2]	0.55	9.11	鉢身
64	280	254	鐵	調査区南側・表土～検出面	[3.4]	[2.9]	0.6	6.33	
65	280	254	鐵?	III区・検出面	[5.65]	[3.0]	0.7	10.60	鉢身
66	280	254	鐵	SI201・カマド内	[6.6]	[3.2]	0.5	10.37	鉢身?
67	280	254	鐵鐵	SI708・トレンチ	[5.5]	[2.65]	0.7	7.92	折れ
68	280	254	鐵鐵	SI213・埴土下層	[5.4]	[2.7]	0.6	9.91	
69	280	254	鐵鐵	SI702・埴土最上層	[6.95]	[3.55]	0.7	12.06	鉢身、折れ
70	280	254	鐵鐵	SX201・周辺・検出面	[5.9]	[3.0]	0.6	8.87	鉢身
71	280	254	鐵鐵	SI481・埴土一括	[6.3]	[2.8]	1.0	14.82	鉢身
72	280	254	鐵鐵	SK408・埴土	[6.4]	[3.9]	1.3	13.56	
73	281	255	鐵鐵	SI111・中央・床面直上	11.8	4.0	2.4	26.41	先端鋸二次状
74	281	255	鐵	道路北・表土	[8.3]	[0.9]	0.7	11.26	鉢身無し

## 掲載遺物一覧

田舎車堂前遺跡掲載金属製品(6)一覧

[残存値]・その他最大値

掲載NoG	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
75	281	255	鍔?	SI1458・埋土	[7.6]	1.0	0.8	5.80	
76	281	255	鍔先	調査区北端ライン・表土～検出面	[8.5]	3.2	1.3	45.80	
77	281	255	鍔先?	SX201・北唐・上層	[10.2]	[10.4]	1.5	75.10	板状
78	281	255	鍔先	東側・表土～検出面	14.5	17.0	2.2	268.38	
79	281	255	鍔先	II A7g～10h・検出面	[16.0]	4.0	1.3	84.10	645と一緒に入っていたもの
80	281	255	鍔先	SX201・底面 No.2	16.4	19.0	2.0	402.70	
81	282	256	鍔	SI1445・埋土下層	[9.5]	3.1	0.8	33.94	
82	282	256	鍔	SI1403・床面直上	19.6	4.2	0.8	135.46	
83	282	256	鍔	SI1418・床直	[9.5]	7.05	0.9	76.72	
84	282	256	鍔	SI1460・埋土	[12.4]	3.0	0.8	34.99	
85	282	256	鍔	SI1507・(北西)集中部・埋土下層	[9.5]	3.2	1.2	32.60	
86	282	256	鍔?	SI1202・床土	[4.7]	3.1	0.7	14.40	板状
87	282	256	手鍔	SI1461・埋土	9.4	0.1	1.2	16.94	
88	282	256	手鍔	SD301・埋土	[5.7]	3.0	1.1	17.77	
89	282	256	手鍔	SI1701・ベルト	[5.4]	1.9	1.2	6.06	
90	282	256	鉤	SI1413・埋土	6.1	3.4	1.3	13.56	
91	283	256	鉗具	SI202・是上層	4.6	4.85	1.5	39.19	
92	283	256	不明	SD208・埋土	3.5	3.5	1.5	15.15	板状
93	283	256	不明	SI202・中位	5.2	5.7	1.2	29.08	板状
94	283	256	筋鍔車	段土表探	[4.6]	4.65	[1.2]	16.70	
95	283	257	筋鍔車	メインベルト南東・検出面	[4.85]	[5.0]	[1.5]	36.57	
96	283	257	筋鍔車	SI1461・南西・埋土中位	23.1	6.0	1.1	68.77	
97	283	257	筋鍔車	表土～検出面	[4.9]	5.2	0.95	32.88	
98	283	257	筋鍔車	SPS26・埋土	[4.7]	[4.65]	[0.9]	17.00	板状
99	283	257	鉤	SI1201・埋土中位層	[6.0]	2.1	0.7	11.29	

田舎車堂前遺跡掲載金属製品(6)一覧

[残存値]・その他最大値

掲載No	図版	写真図版	器種	出土遺物・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
100	283	257	不明	S1803・Q3・床直	8.8	2.1	1.4	28.9	細軽状
101	283	257	鉤	S1470・埋土	12.0	8.5	1.5	86.65	近頃あり
102	284	257	鋼鉤	S1427・埋土下位	(口径) 〔21.4〕	(周高) 〔5.5〕	(底径) -	40.98	
103	284	258	不明	S3406・バケルトホーク・1層	6.2	〔5.3〕	1.2	42.62	平板状
104	284	258	錫杖形鉄製品	S1429 No.1	2.35	0.85	0.5	0.82	小鉄鋤あり
105	284	258	錫杖形鉄製品	S1429 No.1	2.85	1.65	1.9	5.98	小鉄鋤あり
106	284	258	小鉄鋤	S1429・埋土	3.6	1.9	0.55	10.24	錫杖形鉄製品付属?
107	284	258	小鉄鋤	S1439・埋土	2.8	1.8	0.45	7.68	錫杖形鉄製品付属?
108	284	258	錫杖形鉄製品	S1429 No.1	[21.1]	[4.25]	4.0	69.21	小鉄鋤あり
109	284	258	錫杖形鉄製品	IIY7e・Ⅱ層	[21.45]	2.9	0.7	65.08	

第10表 田舎車堂前遺跡揭露石製品(H)一覧—古墳時代以降— [残存品]・その他の最大値

掲載No.	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
1	195	188	礫石	SI406・西半・埋土	10.1	8.4	2.0	294.0	白雲片岩の山産 (古墳時代)
2	285	245	管玉	SI202・埋土	2.95	1.2	1.2	7.5	石川県川越市産? (古墳時代中頃)
3	285	245	管玉	SI201・埋土下層	2.35	0.7	1.2	1.8	同上? (古墳時代前半)
4	285	245	管玉	SI726・埋土	2.6	0.55	0.6	1.4	
5	285	245	筋鍔車	SI205・No.5	4.45	4.3	2.35	74.9	
6	287	248	礫石	SI110・北西・埋土下層	[10.3]	[6.2]	[2.6]	212.3	
7	287	248	礫石	SI1507・北東・埋土下層	[9.7]	5.8	[5.2]	347.8	
8	287	248	礫石	SI104・カマド上	[15.0]	[5.9]	[5.0]	757.8	
9	287	248	礫石	SI103・結床下土坑	[14.8]	[4.8]	1.8	192.5	
10	287	248	礫石	SI103・結床下土坑	[8.85]	6.5	2.0	131.6	
11	287	248	礫石	SI103・カマド直上	[9.0]	[7.6]	3.4	345.9	
12	287	248	礫石	SI1420・埋土	[12.9]	[5.7]	5.2	516.1	
13	287	248	礫石	SI1421・P1・埋土	[11.1]	[5.7]	[4.5]	267.2	
14	287	248	礫石	SI1439・埋土	[6.3]	[6.6]	(4.2)	123.2	
15	287	248	礫石	SI1439・埋土	[10.2]	[6.0]	3.1	274.4	
16	287	248	礫石	SI1442・埋土	[7.3]	[10.2]	6.1	710.2	
17	287	248	礫石	SI1444・埋土上層	23.2	5.0	3.4	335.3	
18	287	248	礫石	SI1445・床底	[9.3]	[6.1]	3.2	185.6	
19	287	248	礫石	SI1450・埋土	[7.7]	[6.8]	3.0	176.3	
20	287	248	礫石	SI1456・埋土	[9.75]	7.95	3.0	263.0	
21	288	249	礫石	SI1461・埋土下段	[13.3]	[5.2]	3.4	298.9	
22	288	249	礫石	SI1714・埋土	[6.6]	[6.7]	[2.8]	131.8	
23	288	249	礫石	SI1739・P01・埋土	[8.4]	[4.3]	3.55	188.1	
24	288	249	礫石	SI1739・P01・埋土	[9.0]	[5.9]	3.5	225.8	
25	288	249	礫石	SI1805・瓶方埋土	[19.8]	14.8	4.6	1693.9	

## 田舎車堂前遺跡掲載石製品（H）一覧—古墳時代以降—

[残存値]・その他最大値

掲載No.1	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
26	288	249	砥石	SK418・埋土	19.7	[7.9]	5.7	1268.9	
27	288	249	砥石	SK418・埋土	[8.6]	[7.6]	6.2	482.4	
28	288	249	砥石	SK201・北溝部上・上層	[6.9]	[4.6]	1.4	61.8	
29	288	249	砥石	SB01-P306	[8.4]	[3.0]	[0.8]	34.9	
30	288	250	砥石	埋土	[7.8]	[4.65]	[1.9]	112.6	
31	288	250	砥石	SD207・埴・埋土	[2.5]	3.3	3.2	34.9	
32	288	250	砥石	SD402・2F・埋土最上層	[9.7]	[5.1]	3.0	200.9	
33	288	250	砥石	SD402・F区	[6.0]	[6.0]	[4.3]	142.2	
34	289	250	砥石	SP4723・埋土	[10.7]	6.2	3.6	305.8	
35	289	250	砥石	III33h～51・検出面	[8.1]	[8.2]	[3.0]	235.1	
36	289	250	砥石	西平・検出面	[11.75]	[4.7]	[3.0]	161.4	
37	289	250	砥石	北端・表土～検出面	20.75	14.85	3.4	1630.6	
38	289	250	砥石	道路北・表土	[7.4]	[4.1]	2.0	62.4	
39	289	250	砥石	道路北・表土	[8.8]	4.8	2.2	100.8	
40	289	250	砥石	幅1・西辺・擾乱	[10.4]	[5.9]	4.9	385.4	
41	289	250	砥石	SI715の東・擾乱	[17.7]	[8.3]	3.4	662.5	

## 田舎車堂前遺跡掲載石製品（H）一覧—縄文時代—

[残存値]・その他最大値

掲載No.1	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
42	356	312	勾玉	SI482・埋土	2.5	1.6	0.5	2.1	輝石質
43	356	312	彫飾具	SK804・東平・埋土上位	[2.6]	[1.2]	[0.9]	2.9	
44	356	312	石劍	SD402・C西・埋土下部②	[9.4]	[2.9]	[0.9]	29.2	輝石質
45	356	312	彫飾具	SI474・埋土	[6.4]	1.95	[1.1]	16	ダイサイト
46	356	312	彫飾具	SI822・上層	[3.8]	[3.65]	[1.35]	20.6	
47	356	312	石棒	II76e・検出面	[12.6]	1.6	1.2	47.7	
48	356	312	石棒	SI462・P1	[28.6]	[11.45]	[9.2]	4447.6	22kg
49	357	313	石柱	SI3922・構成石	77.0	14.40	11.1	22000	

第12表 田舎車堂前遺跡掲載鉄貨（I）一覧

【保存値】・その他最大値

＊（ ）内は初回年

掲載No.1	図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
				長さ	幅	厚さ		
1	195	開元通寶	SP5200・埋土上層	2.4	2.4	0.15	4.3	唐 (621)
2	195	開元通寶	SP515・埋土	2.4	2.4	0.1	2.5	唐 (621)
3	195	開元通寶	SP515・埋土	2.4	2.4	0.1	2.5	唐 (621)
4	195	景德元寶	損傷部・縦外検出面	2.2	2.4	0.1	1.7	北宋 (1004)
5	195	祥符元寶	II B 10c・覆瓦	2.4	2.4	0.1	2.9	北宋 (1009)
6	195	天聖元寶	SD402	2.5	2.5	0.1	2.7	北宋 (1023)
7	196	景祐元寶	SI01・埋土上層	2.5	2.5	0.1	2.9	北宋 (1034)
8	196	皇宋通寶	SD401・B地区・埋土上位	[2.1]	[1.4]	0.05	0.4	北宋 (1068)
9	196	皇宋通寶	SP5105・埋土上層	2.4	2.4	0.1	2.4	北宋 (1068)
10	196	治平元寶	SD207・縦・埋土上層	2.4	2.4	0.1	1.6	北宋 (1064)
11	196	治平元寶	SK301	2.4	2.4	0.1	1.7	北宋 (1064)
12	196	治平元寶	SP587・埋土	2.4	2.4	0.15	3.3	北宋 (1064)
13	196	熙寧元寶	SK429・埋土	2.5	2.5	0.1	3.2	北宋 (1068)
14	196	熙寧元寶	SP526・瓶方埋土	[2.4]	2.5	0.1	1.9	北宋 (1068)
15	196	□口元寶	SP510・瓶方埋土下層	[1.0]	[2.1]	0.1	0.8	北宋「治平」△・「熙寧」？
16	196	元豐通寶	SD601・埋土	2.4	2.4	0.1	1.7	北宋 (1078)
17	196	元祐通寶	SD402C・西壁・埋土上層	2.4	2.4	0.1	2.6	北宋 (1078)
18	196	元祐通寶	東側土捨場付近・検出面	2.3	2.3	0.1	1.5	北宋 (1096)
19	197	元祐通寶	SD201 (楓廉邸)	[2.4]	2.5	0.1	2.1	北宋 (1096)
20	197	紹聖元寶	検出面	1.4	1.4	0.05	1.9	北宋 (1094)
21	197	紹聖元寶	SP515・埋土	[2.2]	[1.9]	0.1	1.2	北宋 (1094)
22	197	元符通寶	SK429・埋土	2.4	2.5	0.1	2.9	北宋 (1096)
23	197	聖宋元寶	SI01・西側土坑	-	-	-	[5.4]	北宋 (1101)・2枚重ね
24	197	聖宋元寶	東・検出面	2.3	2.3	0.1	1.7	北宋 (1101)
25	197	聖宋元寶	SP517・瓶方埋土	2.3	2.3	0.1	4.0	北宋 (1101)

田舎車堂前遺跡掲載銭貨（I）一覧

【復元値】・【残存値】

＊（ ）内は初鋳年

掲載NoI	団版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
				長さ	幅	厚さ		
26	197	洪武通寶	SK301	2.4	2.4	0.1	2.1	明 (1368)
27	197	洪武通寶	SP515・埋土	2.3	2.2	0.1	2.7	明 (1368)
28	197	洪武通寶	SP515・埋土	2.4	2.4	0.1	2.4	明 (1368)
29	197	永樂通寶	SD401を切る柱穴	[1.8]	2.3	0.05	0.5	明 (1406) , 銀鋳錢?
30	197	永樂通寶	SP4205	[1.9]	[2.1]	0.05	0.7	明 (1406)
31	198	永樂通寶	木樁・複数	2.5	2.5	0.1	2.6	明 (1406)
32	198	無文錢	SK801・埋土	[2.2]	[2.1]	0.1	0.9	
33	198	(古)寛永通寶	SK213・埋土	2.4	2.4	0.1	1.8	IJP <sup>#</sup> (1636)
34	198	(古)寛永通寶	SK406・西平埋土	2.4	2.4	0.1	3.2	IJP <sup>#</sup> (1636)
35	198	(新)寛永通寶	I Y区・検出面	2.2	2.3	0.1	1.3	IJP <sup>#</sup> (1736)
36	198	(新)寛永通寶	SI212・南西・埋土上層	-	-	-	5.0	IJP <sup>#</sup> (1736) , 2枚重ね
37	198	(新)寛永通寶	SK238	-	-	-	10.2	IJP <sup>#</sup> (1736) , 3枚重ね
38	198	(新)寛永通寶	SP4248	2.3	2.3	0.1	1.6	IJP <sup>#</sup> (1736)
39	198	(新)寛永通寶	表土	2.4	2.4	0.1	2.6	IJP <sup>#</sup> (1736)

第13表 田舎車堂前遺跡掲載かわらけ（A）一覧

（復元値）・（残存値）

掲載NoA	団版	写真 団版	出土状態	特徴	出土状態	出土状態	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	器厚	
1	199	188	唐1・ベルト南西・ 埋土2層目	手づくね・ 口縁部2段ナゲ	非常に綺良	10Y87/4にぶい黄褐色	(14.2)	[2.7]	[0.5]	鉄錆斑明瞭（好用面）
2	199	188	調査区南側トレンド	手づくね・ 口縁部2段ナゲ	非常に綺良	10Y88/2灰白色	(13.0)	[2.4]	[0.5]	口縁部削面取り。
3	199	188	SI205・埋土中位	手づくね・ 口縁部2段ナゲ?	非常に綺良	10Y87/4にぶい黄褐色	(13.9)	[1.6]	[0.4]	部分的に褐色の発色。

第14表 田舎車堂前遺跡鉢輪土製品(J)一覧—古墳時代以降—(復元値)・[推定値]・その他最大値

再倣No.J	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
1	285	245	土玉	SI402・床面・底上	1.1	1.2	1.2	1.5	
2	285	245	土鏡	SI403・北壁道部	3.3	2.0	2.0	11.9	
3	285	245	平瓦	SI207・N5上位・埴土	[9.1]	(7.9)	2.1	161.1	凸面調目,凹面有目
4	285	245	糸巻?	SI205・No.4・床面上	4.05	4.4	4.5	60.2	
5	285	245	筋縫車	SI114・東・埴土	5.3	5.3	1.8	55.3	
6	285	245	筋縫車	SI1205・埴土中位層	[4.5]	(3.4)	1.65	12.2	
7	285	245	筋縫車	SI1216・No.1	5.55	5.65	2.8	90.6	
8	285	246	筋縫車	SI1216・No.2	6.05	6.2	2.05	85.7	轍子目状紋様
9	285	246	筋縫車	SI507・埴土	[5.6]	(3.0)	2.7	39.7	
10	285	246	筋縫車	SI507・北東・埴土下層	5.55	5.7	2.65	90.7	
11	285	246	筋縫車	SI465・埴土	[4.5]	(2.2)	2.2	25.7	
12	285	246	筋縫車	SI418・床底	6.3	6.35	2.7	115.5	
13	285	246	筋縫車	SI733・埴土	[4.7]	(6.1)	2.2	17.7	
14	285	246	筋縫車	SI738・埴土	4.9	(3.1)	1.7	48.9	
15	286	246	筋縫車	SI207・区画D・埴土中層	[5.01]	4.95	2.3	59.4	
16	286	246	筋縫車	J・田層	5.0	(4.2)	(2.1)	33.1	
17	286	246	筋縫車	Jトレ・Kトレ間包含層・遺構検出面	(3.05)	(2.65)	2.05	13.5	
18	286	246	筋縫車	J25d・V層?	6.15	4.9	2.1	84.9	
19	286	246	筋縫車	道路北・表土	6.55	6.35	2.7	115.5	
20	286	247	筋縫車	IIA(S17)・表土検出面	[9.0]	9.8	1.3	95.4	
21	286	247	羽口	SI441・カマド付近・埴土	[13.4]	6.8	7.1	454.8	
22	286	247	羽口	SI441・カマド付近・埴土	[9.1]	8.8	8.0	439.6	
23	276	247	埴輪	表土～検出面	[3.45]	[5.1]	1.1	16.4	内外面ハケ
24	276	247	埴輪	SI718・埴土下層	[3.25]	[5.7]	0.85	11.4	内外面ハケ

第15表 田舎車堂前遺跡揭露土製品（J）一覧－弥生・縄文時代－（復元値）・〔残存値〕・その他最大値

揭露NoJ	図版	写真図版	種別	出土遺物・位置・層位	寸法(cm)			重さ(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
25	294	265	不明	SI715南行近・Ⅳ層	[5.9]	[4.5]	[2.65]	42.9	角生土器の脚部？
26	294	265	動物形	SIYI・埋土	[2.65]	[2.4]	[2.65]	7.8	
27	294	265	動物形	SI704・埋土(トレンチ)	[2.2]	1.6	[2.4]	7.1	
28	294	265	円盤形	II A3e～5f・検出面	[3.6]	3.6	1.25	9.9	
29	354	310	耳飾	SI425・埋土下部	6.3	6.4	3.1	90.3	円盤状・刺突列
30	354	310	耳飾	SI485・埋土	4.7	4.7	2.3	28.6	円盤状・刺突列
31	354	310	耳飾	SI493・埋土	5.9	5.8	2.4	77.2	円盤状・刺突列・ヒレ状突起
32	354	310	耳飾	SF801・ベルトA-A'・3層	[4.5]	[2.3]	2.2	17.4	円盤状・刺突列
33	354	310	耳飾	II Z1e・検出面	5.0	5.0	2.7	72.1	円盤状・刺突列・ヒレ状突起
34	354	310	耳飾	I Z10f・埋土下部	[4.2]	[3.5]	[1.3]	18.5	椎形状・刺突列
35a	354	310	耳飾	SI471・貼付	[3.8]	[1.9]	[2.3]	14.9	刺突列
35b	354	310	耳飾	SI471・埋土	[2.6]	[1.8]	[1.1]	3.2	刺突列
36	354	310	土偶	SI488・埋土	[5.15]	3.1	2.55	32.0	
37	354	310	土偶	SI480・埋土	[5.45]	[4.4]	[1.4]	23.7	比類・縄文
38	354	310	キノコ形	SI902・Q3・埋土上位	[3.8]	[1.65]	-	32.7	
39	354	310	キノコ形	II 26e	[2.3]	[1.4]	-	34.9	
40	354	310	キノコ形	II A6c	[3.0]	[1.7]	-	30.4	
41	355	311	キノコ形	SI425・埋土中位	[3.2]	4.7	-	34.4	
42	355	311	キノコ形	SI485・埋土	4.3	5.2	-	9.9	
43	355	311	キノコ形	SI906・Q4・埋土上位	[2.5]	[5.8]	[5.3]	3.5	
44	355	311	キノコ形	SI493・埋土	[2.05]	[4.1]	[4.3]	26.9	
45	355	311	キノコ形	SI412・埋土	4.0	3.2	[2.8]	17.9	
46	355	311	キノコ形	SK904・埋土上位	[2.1]	4.8	4.6	6.7	
47	355	311	斧状	SI406・埋土	[11.35]	3.9	2.4	89.0	貫通孔・縄文
48	355	311	斧状	SI754・埋土中位	[10.45]	[4.6]	2.8	143.9	貫通孔・刻み目
49	355	302	円盤状	SI493・埋土	3.0	3.55	0.95	10.6	土器片再加工
50	355	312	匙形	SF801・ベルトA-A'・1層	7.1	(6.0)	(3.0)	[33.9]	一面に突起